

* * * * *

**磐田市 子育て世帯の生活に関する
実態調査報告書**

* * * * *

**平成 30 年 2 月
磐 田 市**

* * * 目 次 * * *

I 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の項目	1
(3) 調査の設計	1
(4) 回収状況	1
(5) 本調査における貧困層の定義	2
(6) 報告書を見る際の注意事項	3
II 調査結果	5
(1) 回答者の続柄	5
1 世帯の状況について	5
(2) 居住中学校区	5
(3) 世帯人数	6
(4) 児童人数	7
(5) 同居家族	8
(6) 近くに子どもの預りを頼める人がいるか	9
(7) 子どもの預りを頼める人	10
(8) ひとり親世帯に該当するか	11
2 お子さんのことについて	12
(9) 子どもの性別	12
(10) 子どもの年齢（平成 29 年 4 月 1 日時点）	12
(11) 通学先	13
(12) 家で子どもと過ごす時間が長い人	14
(13) 子どもとの頻度	15
(14) 子どものむし歯有無	24
(15) 治療していない理由	25
(16) 希望する子どもの進学先	25
(17) 希望通りの学校まで進むと思うか	27
(18) 希望通りの学校に進むと思わない理由	28
(19) 子どもが頼りにしている大人	29
(20) 子どもの成績 ※小学生以上	30
(21) 不登校になった経験 ※小学生以上	31
(22) 経済的な理由で遠足や修学旅行に参加させることができなかつた頻度 ※小学生以上	32
(23) おおむね 1 年間での経験 ※小学生以上	33

3	あなたとあなたの配偶者のことについて	41
(24)	年齢	41
(25)	現在の仕事	42
(26)	就業形態	43
(27)	経験をしたこと	45
(28)	最終学歴	47
4	あなたのことについて	49
(29)	子育てで特に大変だと感じること	49
(30)	子どもに関する悩み	52
(31)	自身の悩み	53
(32)	悩みの相談先	54
(33)	相談しない(しなかった)理由	55
(34)	現在の生活意識	56
5	経済的な状況について	65
(35)	世帯の手取り収入	65
(36)	住居	67
(37)	借入金の種類	69
(38)	現在生活をまかなっているもの	70
(39)	家計において負担を感じる経費	71
(40)	おおむね半年の間に、経済的な理由で経験したもの	73
(41)	現在の暮らしの経済的状況	76
(42)	満足度の高い磐田市の子育て支援等サービス	78
(43)	子育てや子育て世帯に必要または重要度の高いと思う支援	79
Ⅲ	調査のまとめ	83
	調査結果のまとめ	83
(1)	子どもの貧困率について	83
(2)	本市の貧困層の特徴	84
Ⅳ	調査票	87

I 調査概要

(1) 調査の目的

磐田市内で 18 歳未満のお子さんがある世帯に、子どもの生活実態や、家庭の状況を含めた子育て世帯の生活環境や経済状況を聞き、今後の子育て支援施策に反映させるための基礎資料として実施しました。

(2) 調査の項目

No.	項目
1	世帯の状況について
2	宛名のお子さんのことについて
3	あなたとあなたの配偶者のことについて
4	あなたのことについて
5	経済的な状況について

(3) 調査の設計

調査対象	磐田市内にお住まいの 18 歳未満のお子さんがある世帯
調査方法	無作為抽出による郵送配布・郵送回収
調査期間	平成 29 年 11 月 1 日～平成 29 年 11 月 17 日
発送数	3,000 人

(4) 回収状況

発送数	回収数	有効回収数 [※]	有効回収率
3,000	1,893	1,892	63.1%

※回収数から回答が全くない票（白票）を除いた数。

(5) 本調査における貧困層の定義

厚生労働省が公表している算出方法では、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分（貧困線）に満たない世帯を「相対的貧困層」としています。

本市調査においては、問2で世帯人数を、問28で可処分所得についての回答を得ています。貧困線の算出方法は上記ですが、アンケート調査においてより多くの回答を得るため、可処分所得を数値で記入するのではなく、100万円区分の選択方式にて回答いただきました。

このため、平成23年度「親と子の生活意識に関する調査」(内閣府)分析結果の貧困線を参考に、世帯人員別の貧困層区分を下記のように設定しました。

<世帯人数ごとの貧困層となる区分>

世帯人員	内閣府調査における貧困線	貧困層となる区分	1 100万円未満	2 100万円以上 200万円未満	3 200万円以上 300万円未満	4 300万円以上 400万円未満	5 400万円以上 500万円未満	6～11 500万円以上	12 わからない 無回答
2人	177万円	200万円未満	貧困層	非貧困層	非貧困層	非貧困層	非貧困層	非貧困層	非貧困層
3人	217万円	200万円未満							
4人	250万円	200万円未満							
5人	280万円	300万円未満							
6人	306万円	300万円未満							
7人	331万円	300万円未満							
8人以上	354万円	400万円未満							
無回答									



- ・有効回答1,892件の内訳
 - 判定可能：1,498件
 - 判定不可：394件
- ・判定可能回答1,498件より
 - 子どもがいる現役世帯の貧困層世帯：191件（12.8%）
 - 子どもがいる現役世帯の非貧困層世帯：1,307件（87.3%）
- ・子どもがいる現役世帯の貧困率：13.5%（882/6,540）
- ・子どもの貧困率：13.6%（401/2,951）

（参考）2016年の「国民生活基礎調査」（2015年時点）

- 子どもがいる現役世帯※の貧困率：12.9% ※世帯主が18歳以上65歳未満で子どもがいる世帯
- 子どもの貧困率：13.9%

※本結果は目安であり、子どもがいる現役世帯の貧困層世帯に該当したすべての世帯が、必ずしも実際の生活で困難を抱えているというわけではありません。

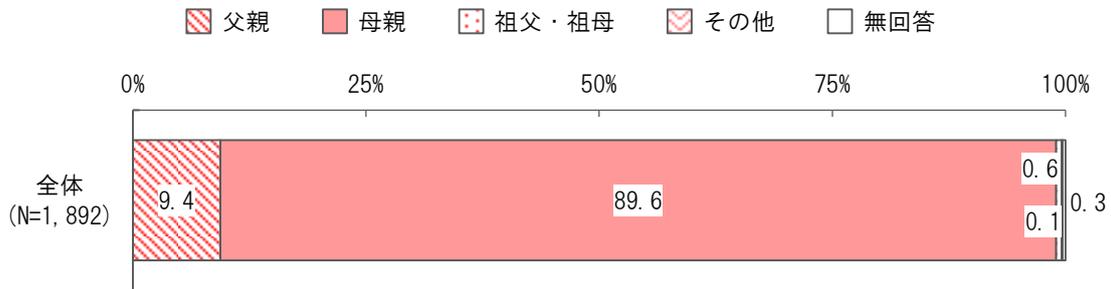
(6) 報告書を見る際の注意事項

- ※回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。
- ※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ※グラフにおいて、選択肢を省略して掲載している場合があります。

II 調査結果

(1) 回答者の続柄

この調査に回答いただいている方（あなた）の、宛名のお子さんからみた続柄について教えてください。（1つだけに○）

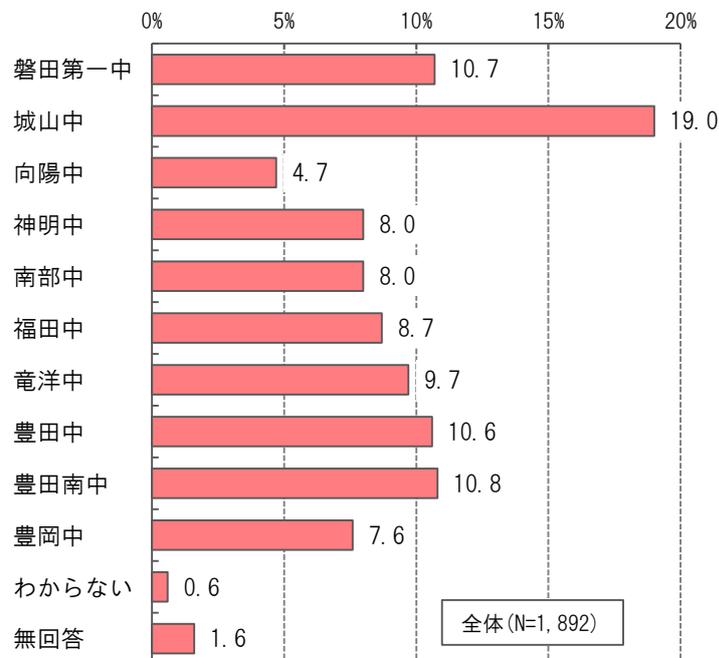


- 全体で見ると、回答者の続柄は「母親」89.6%が最も多く、以下「父親」9.4%、「祖父・祖母」0.6%となっています。

1 世帯の状況について

(2) 居住中学校区

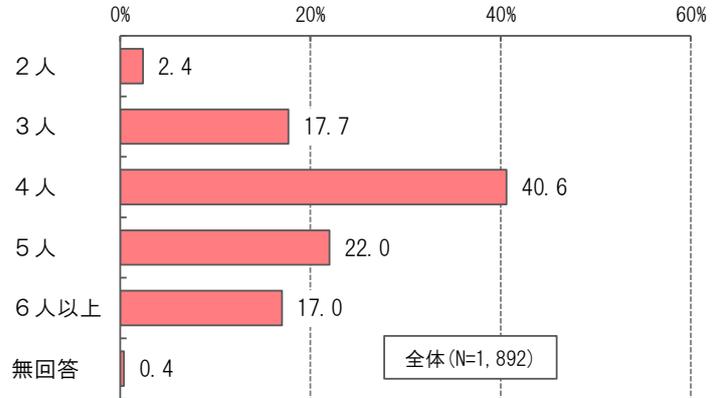
問1 あなたのお住まいの中学校区についてお答えください。（1つだけに○）



- 全体で見ると、居住中学校区は「城山中」19.0%が最も多く、以下「豊田南中」10.8%、「磐田第一中」10.7%、「豊田中」10.6%となっています。

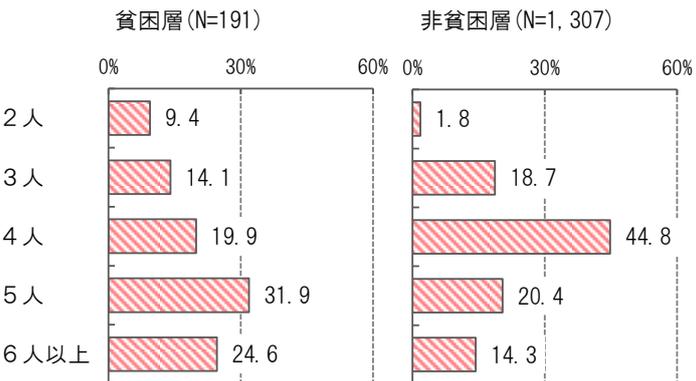
(3) 世帯人数

問2 世帯の人数を教えてください。※普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）の人数を、あなたを含めてお答えください。

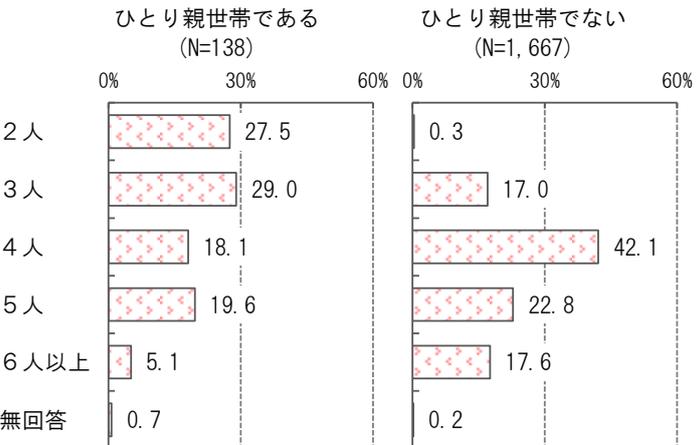


■ 全体で見ると、世帯人数は「4人」40.6%が最も多く、以下「5人」22.0%、「3人」17.7%、「6人以上」17.0%、「2人」2.4%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別



■ 世帯状況別

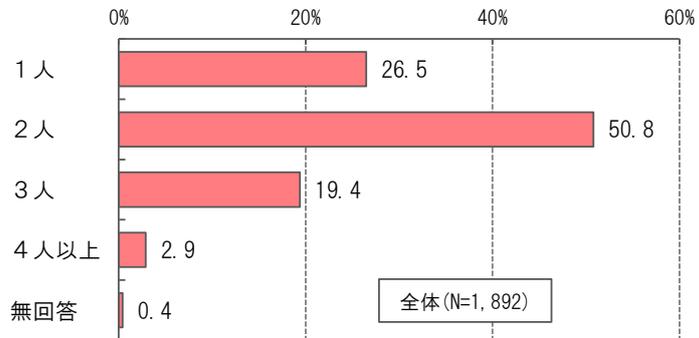


■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は「5人」31.9%が最も多く、非貧困層は「4人」44.8%が最も多くなっています。

■ 世帯状況別で見ると、ひとり親世帯であるは「3人」29.0%や「2人」27.5%が多く、いずれも約3割を占めています。一方、ひとり親世帯でないは「4人」42.1%が最も多くなっています。

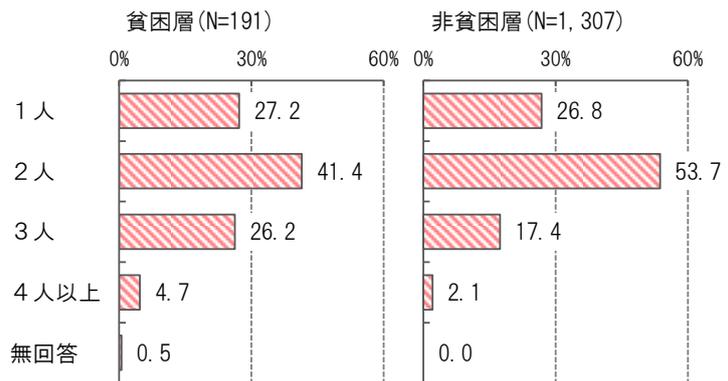
(4) 児童人数

問3 世帯員のうち、児童（平成29年4月1日現在で0歳から18歳未満の方）の人数について教えてください。

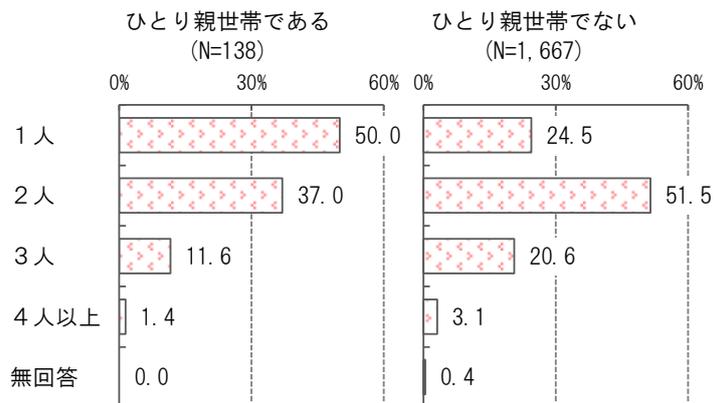


■ 全体で見ると、児童人数は「2人」50.8%が最も多く、以下「1人」26.5%、「3人」19.4%、「4人以上」2.9%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



■ 世帯状況別 ■



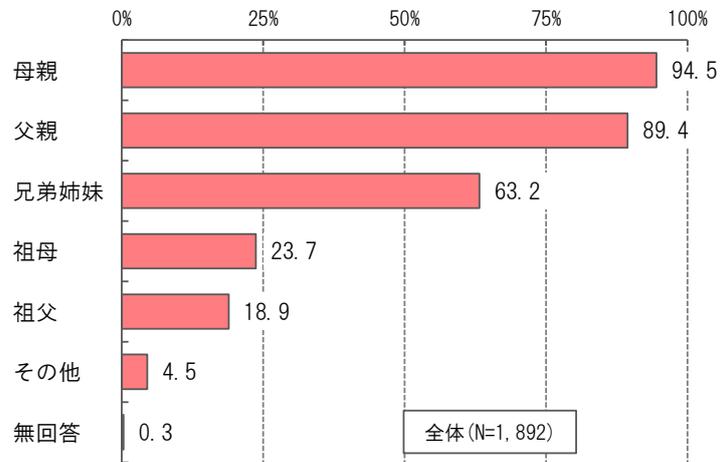
■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「3人」26.2%が非貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。

■ 世帯状況別で見ると、ひとり親世帯であるは、「1人」50.0%が半数を占め、ひとり親世帯でないは「2人」51.5%が半数を超えています。

(5) 同居家族

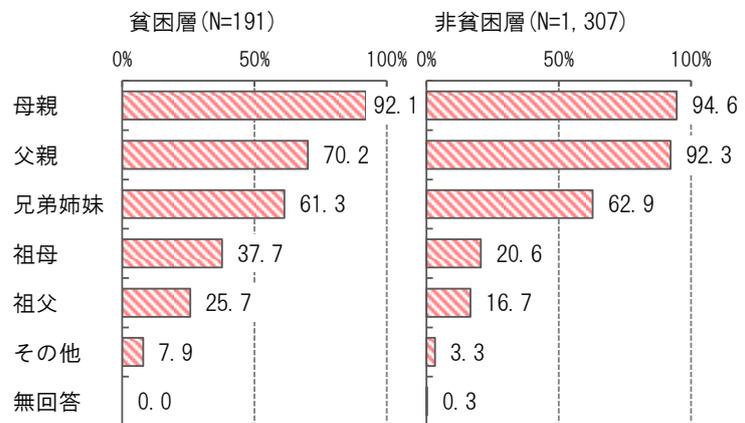
問4 同居している家族について、お子さんからみた続柄をご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)



- 全体で見ると、同居家族は「母親」94.5%が最も多く、以下「父親」89.4%、「兄弟姉妹」63.2%、「祖母」23.7%、「祖父」18.9%となっています。

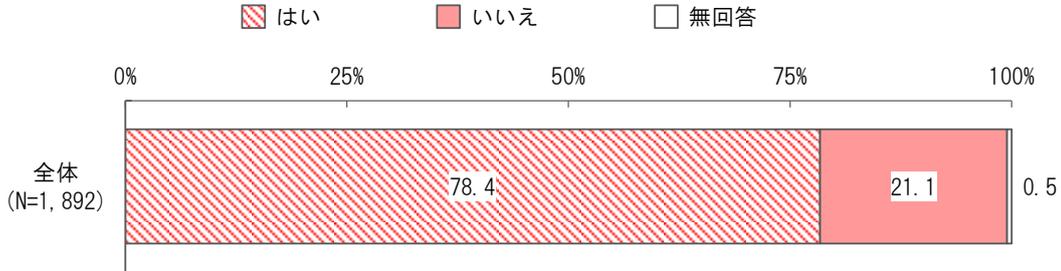
■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



- 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、非貧困層は、「母親」94.6%と「父親」92.3%がいずれも9割を超えています。一方、貧困層は、「父親」70.2%が非貧困層と比べて少なく、「祖母」37.7%や「祖父」25.7%は多い傾向がみられます。

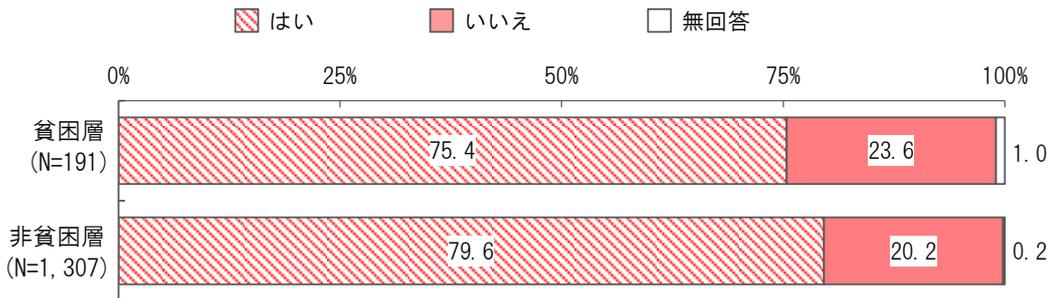
(6) 近くに子どもの預りを頼める人がいるか

問5 住まいの近く（おおむね 30 分以内で行き来できる範囲）に、子どもを預かってもらうよう頼める人などがいますか。（1つだけに○）

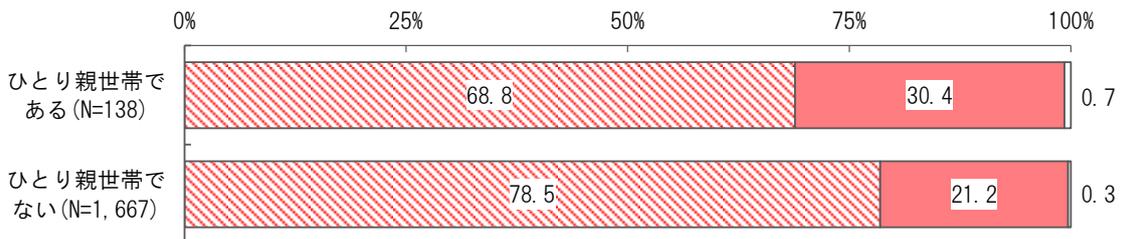


- 全体でみると、近くに子どもの預りを頼める人がいるかは「はい」が 78.4%、「いいえ」が 21.1% となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



■ 世帯状況別 ■



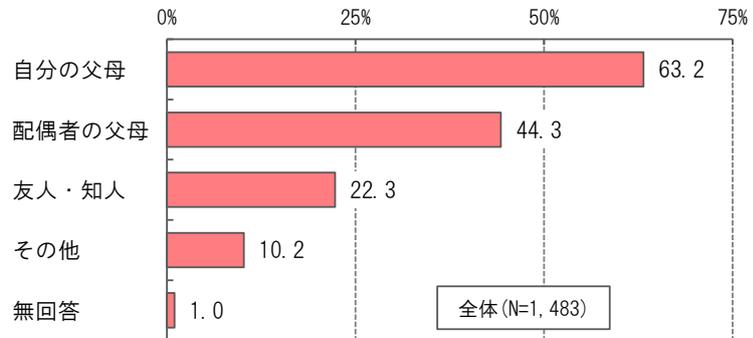
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、非貧困層は、「はい」79.6%が約8割を占め、貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、「はい」68.8%がひとり親世帯でないと比べてやや少なく、「いいえ」30.4%はやや多い傾向がみられます。

(7) 子どもの預りを頼める人

問5-1 あなたが、子どもを預かってもらうよう頼める方はどなたですか。

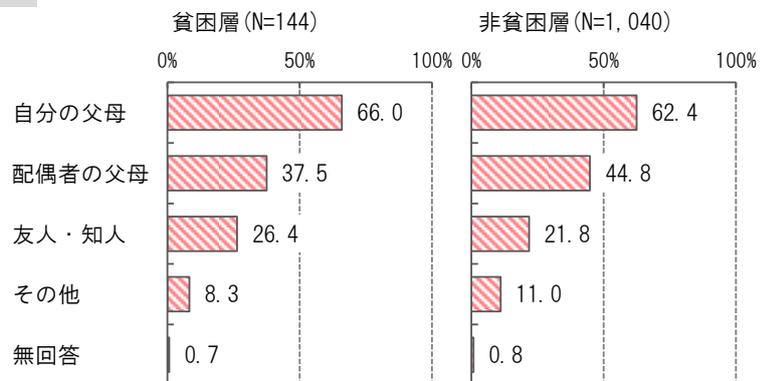
(あてはまるものすべてに○)

※問5で「はい」と答えた方のみ。



- 全体で見ると、子どもの預りを頼める人は「自分の父母」63.2%が最も多く、以下「配偶者の父母」44.3%、「友人・知人」22.3%、「その他」10.2%となっています。

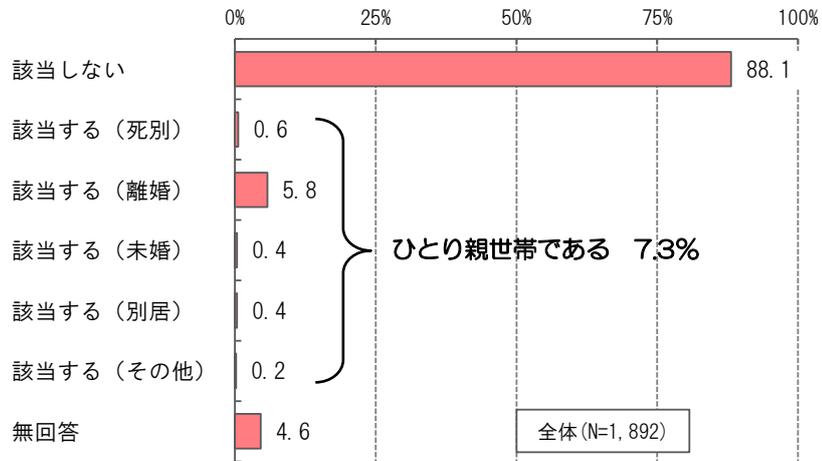
■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



- 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「友人・知人」26.4%が非貧困層と比べてやや多く、「配偶者の父母」37.5%はやや少ない傾向がみられます。

(8) ひとり親世帯に該当するか

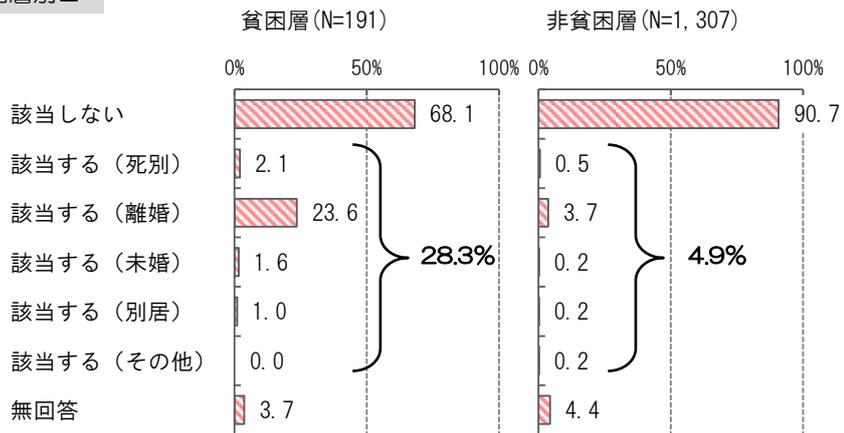
問6 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(1つだけに○)



※小数点第2位以下四捨五入しているため、合計値が合わないことがあります。

- 全体で見ると、ひとり親世帯に該当するかは「該当しない」88.1%が最も多くなっています。「該当する (死別)」0.6%、「該当する (離婚)」5.8%、「該当する (未婚)」0.4%、「該当する (別居)」0.4%、「該当する (その他)」0.2%を合わせた“ひとり親世帯である”は7.3%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



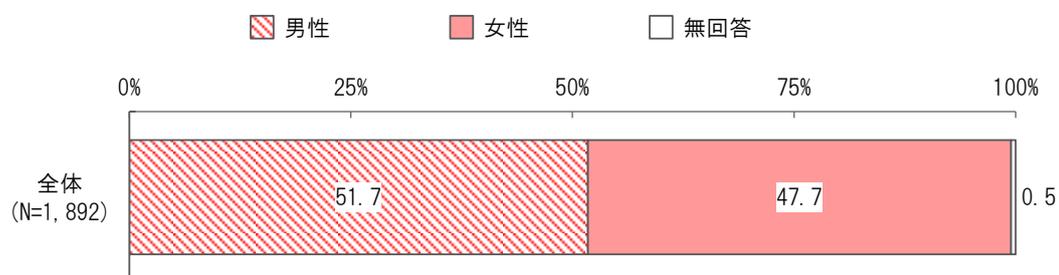
※小数点第2位以下四捨五入しているため、合計値が合わないことがあります。

- 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「該当しない」68.1%が非貧困層と比べて少なく、「該当する (離婚)」23.6%は多い傾向がみられます。貧困層は“ひとり親世帯である”が28.3%、非貧困層は4.9%となっています。

2 お子さんのことについて

(9) 子どもの性別

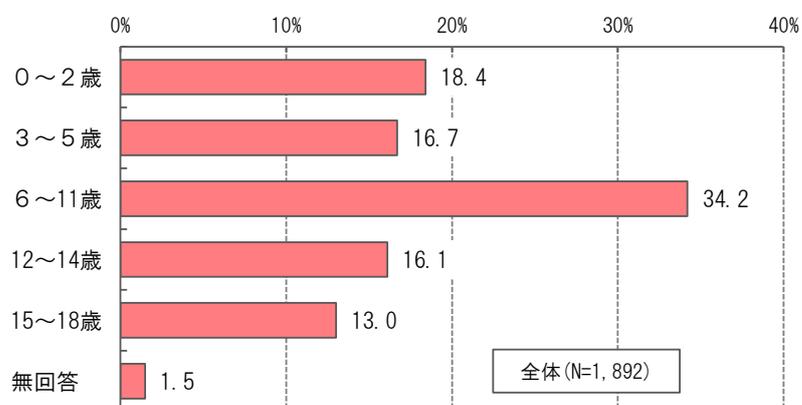
問7 お子さんの性別を教えてください。(1つだけに○)



■ 全体で見ると、子どもの性別は「男性」が51.7%、「女性」が47.7%となっています。

(10) 子どもの年齢 (平成29年4月1日時点)

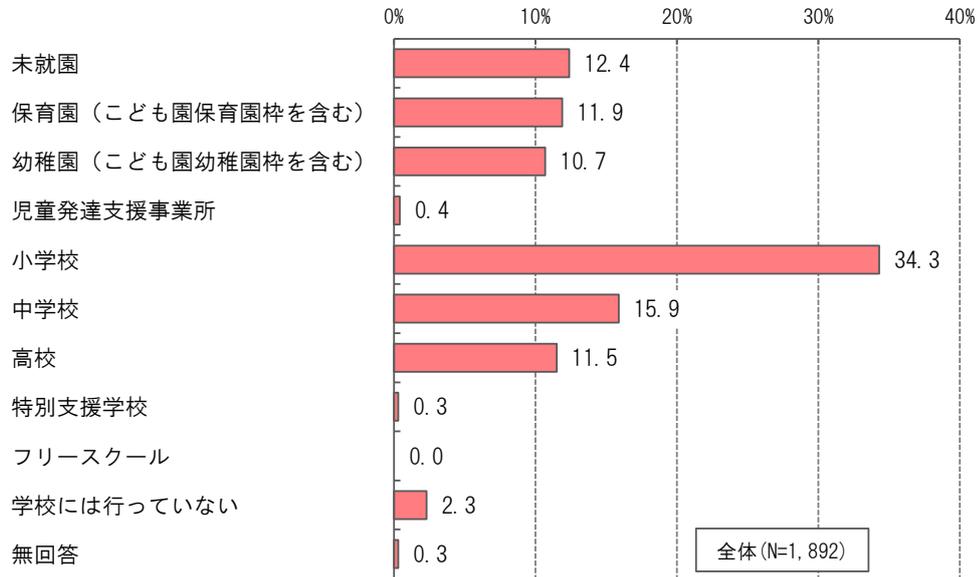
問8 お子さんの年齢を教えてください。



■ 全体で見ると、子どもの年齢 (平成29年4月1日時点) は「6～11歳」34.2%が最も多く、以下「0～2歳」18.4%、「3～5歳」16.7%、「12～14歳」16.1%、「15～18歳」13.0%となっています。

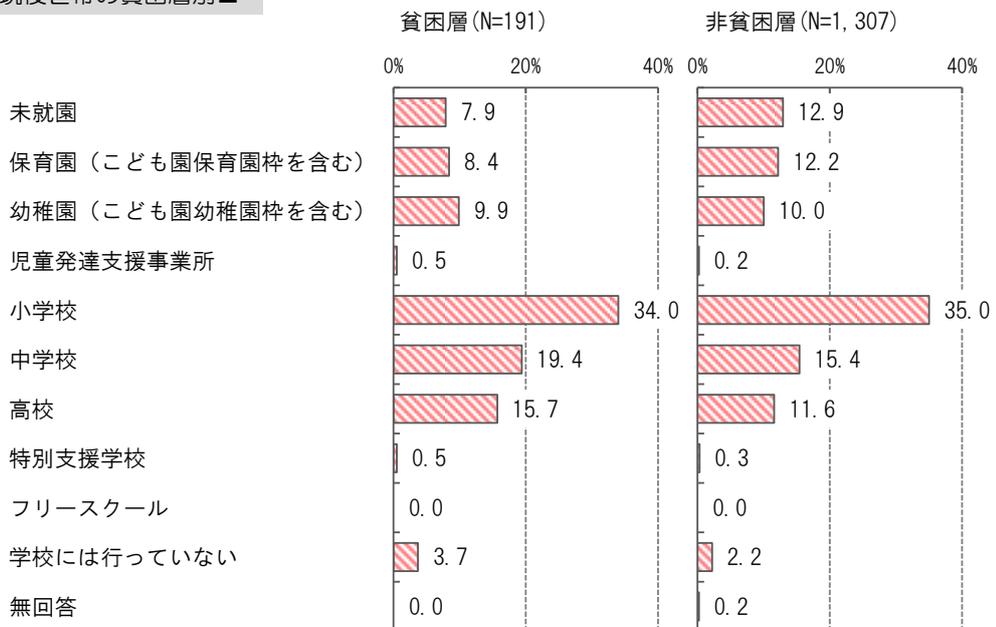
(11) 通学先

問9 お子さんが現在通っている学校教育機関等を教えてください。(1つだけに○)



- 全体で見ると、通学先は「小学校」34.3%が最も多く、以下「中学校」15.9%、「未就園」12.4%、「保育園 (こども園保育園枠を含む)」11.9%、「高校」11.5%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

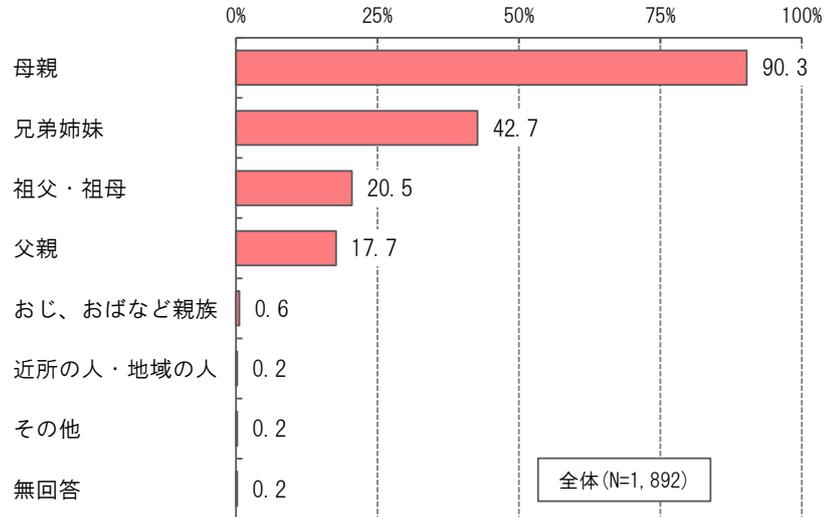


- 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、非貧困層は、「未就園」12.9%が貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。

(12) 家で子どもと過ごす時間が長い人

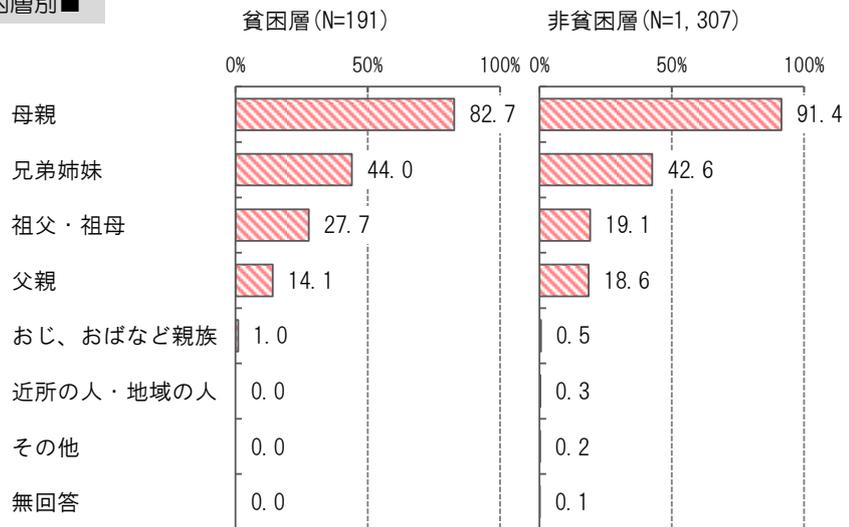
問 10 お子さんが家にいるとき、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。

(あてはまるものすべてに○)



- 全体で見ると、家で子どもと過ごす時間が長い人は「母親」90.3%が最も多く、以下「兄弟姉妹」42.7%、「祖父・祖母」20.5%、「父親」17.7%、「おじ、おばなど親族」0.6%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■

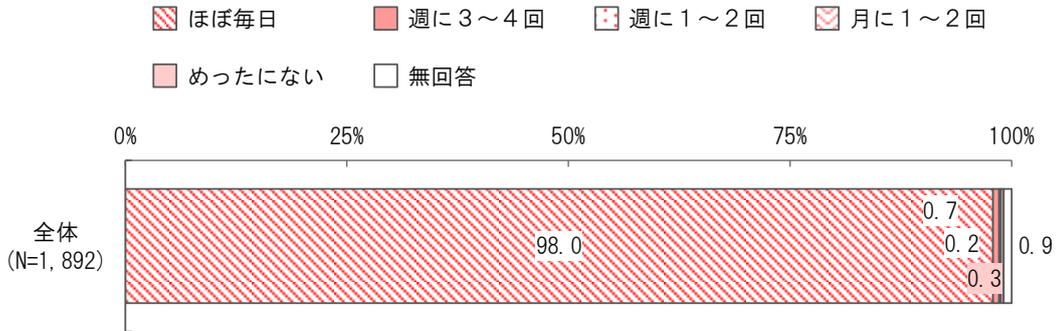


- 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、非貧困層は、「母親」91.4%が9割を超えています。一方、貧困層は、「母親」82.7%や「父親」14.1%が非貧困層と比べてやや少なく、「祖父・祖母」27.7%はやや多い傾向がみられます。

(13) 子どもとの頻度

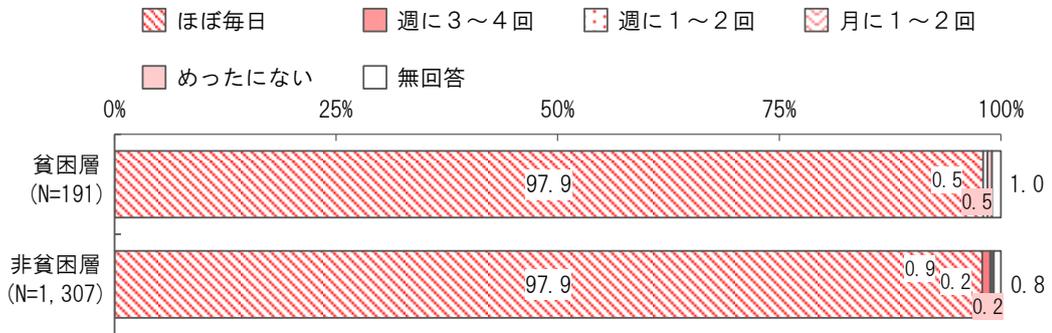
問 11 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。
(それぞれ1つに○)

①子どもとあいさつや日常会話をする頻度

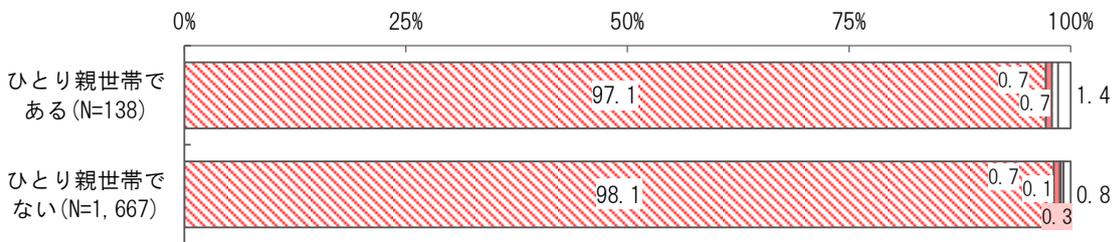


■ 全体でみると、子どもとあいさつや日常会話をする頻度は「ほぼ毎日」98.0%が最も多く、以下「週に3~4回」0.7%、「めったにない」0.3%、「週に1~2回」0.2%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別



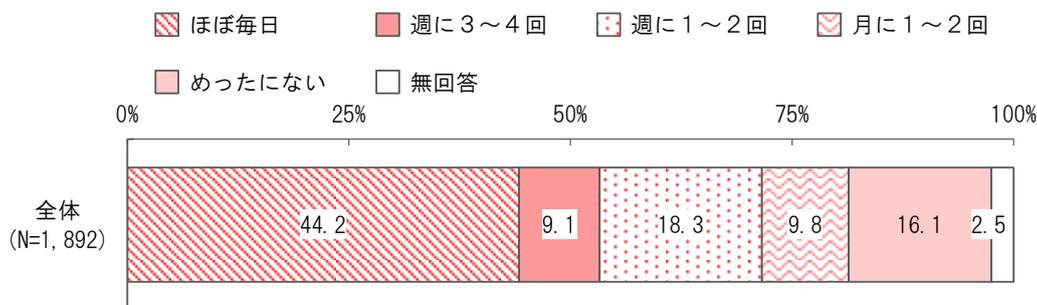
■世帯状況別



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみた結果は、グラフの通りとなっています。

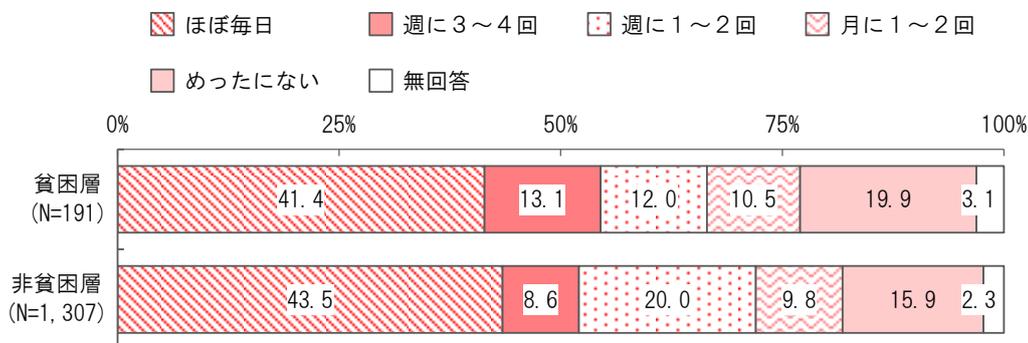
■ 世帯状況別でみた結果は、グラフの通りとなっています。

②子どもと一緒に遊ぶ頻度

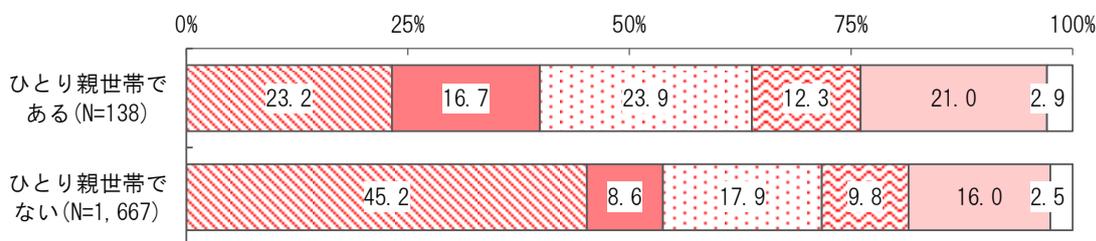


- 全体でみると、子どもと一緒に遊ぶ頻度は「ほぼ毎日」44.2%が最も多く、以下「週に1~2回」18.3%、「めったにない」16.1%、「月に1~2回」9.8%、「週に3~4回」9.1%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

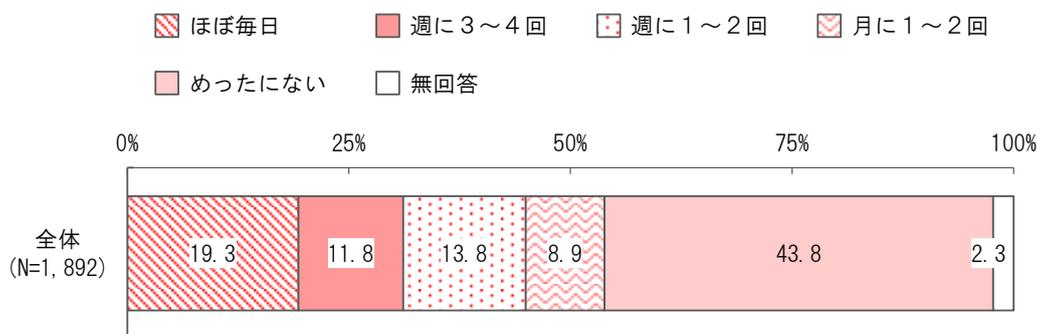


■世帯状況別■



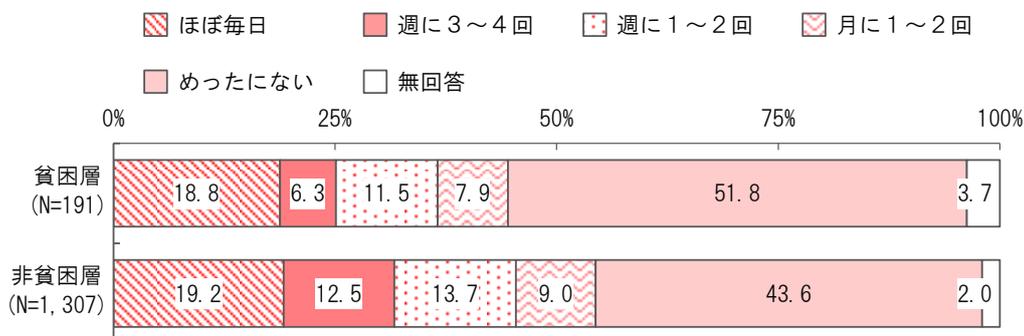
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、非貧困層は、「週に1~2回」20.0%が貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯でないは、「ほぼ毎日」45.2%が最も多く、ひとり親世帯であるの約2倍となっています。

③子どもに絵本や本の読み聞かせをする頻度

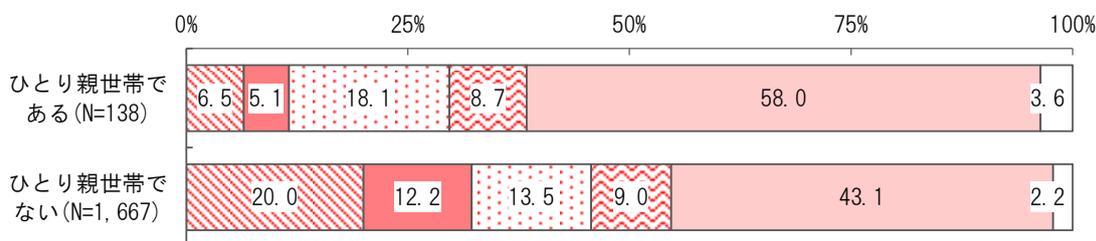


- 全体でみると、子どもに絵本や本の読み聞かせをする頻度は「めったにない」43.8%が最も多く、以下「ほぼ毎日」19.3%、「週に1~2回」13.8%、「週に3~4回」11.8%、「月に1~2回」8.9%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

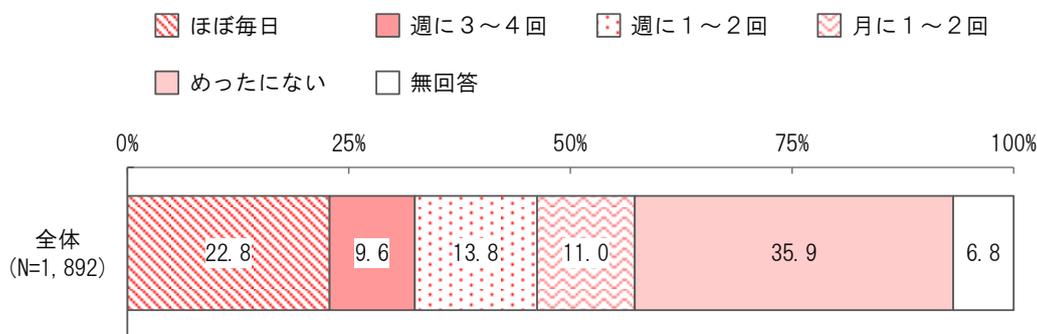


■世帯状況別■



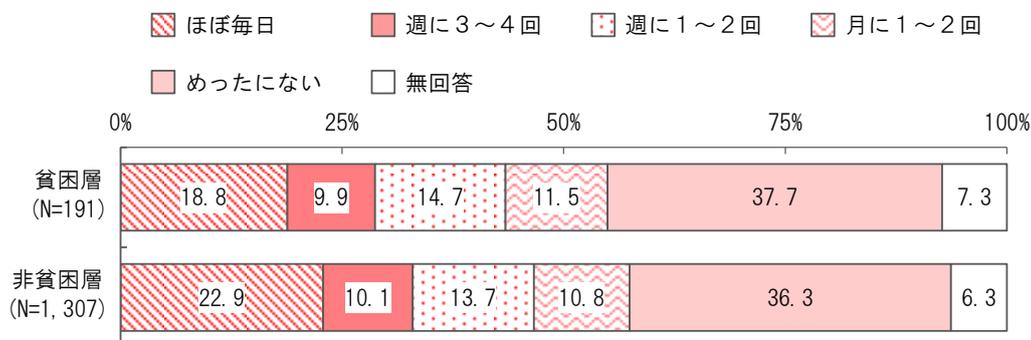
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「めったにない」51.8%が半数を超えています。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、「めったにない」58.0%が約6割を占めています。一方、ひとり親世帯でないは、「ほぼ毎日」20.0%や「週に3~4日」12.2%がひとり親世帯であると比べて多い傾向がみられます。

④子どもの勉強をみる頻度

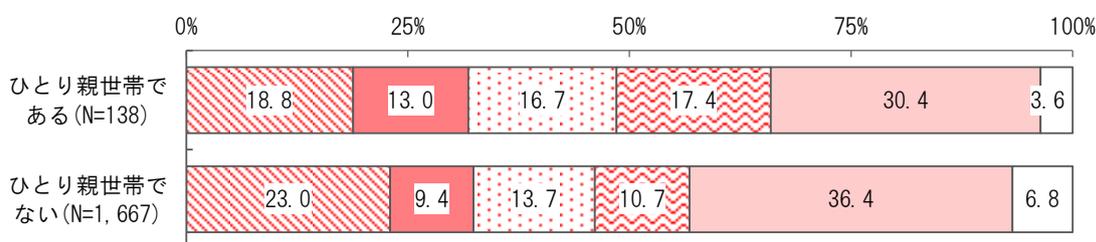


- 全体でみると、子どもの勉強をみる頻度は「めったにない」35.9%が最も多く、以下「ほぼ毎日」22.8%、「週に1~2回」13.8%、「月に1~2回」11.0%、「週に3~4回」9.6%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

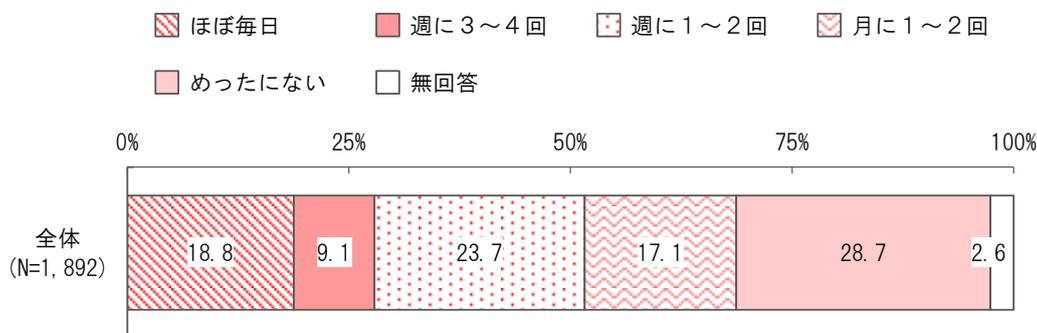


■世帯状況別■



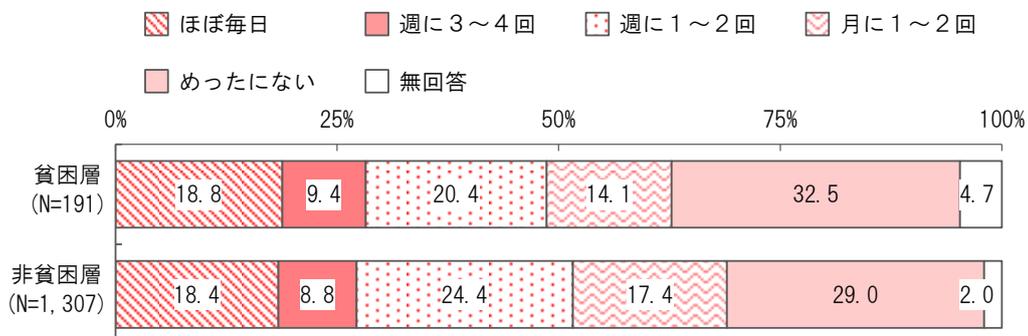
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、非貧困層は、「ほぼ毎日」22.9%が貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯でないは、「めったにない」36.4%がひとり親世帯と比べてやや多い傾向がみられます。

⑤子どもと一緒にからだを動かす頻度

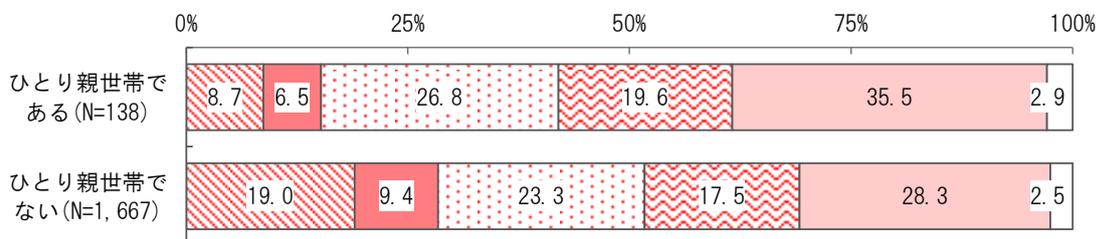


- 全体でみると、子どもと一緒にからだを動かす頻度は「めったにない」28.7%が最も多く、以下「週に1~2回」23.7%、「ほぼ毎日」18.8%、「月に1~2回」17.1%、「週に3~4回」9.1%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

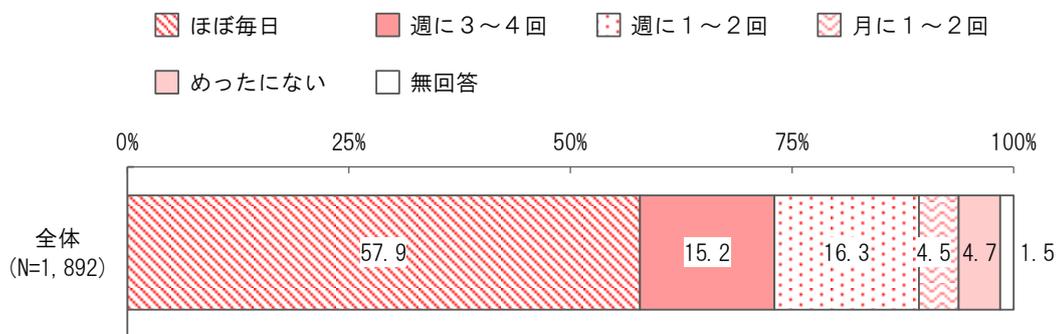


■世帯状況別■



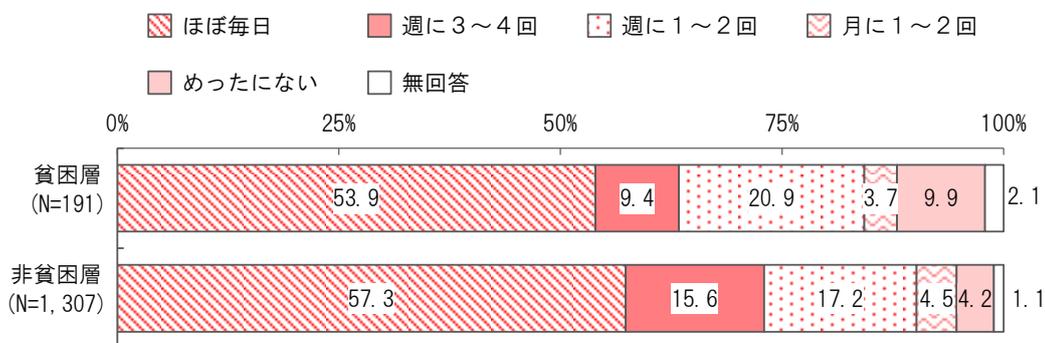
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、非貧困層は、「週に1~2回」24.4%が貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、「ほぼ毎日」8.7%がひとり親世帯であると比べて少なく、「めったにない」35.5%はやや多い傾向がみられます。

⑥子どもと一緒にテレビやDVDを見る頻度

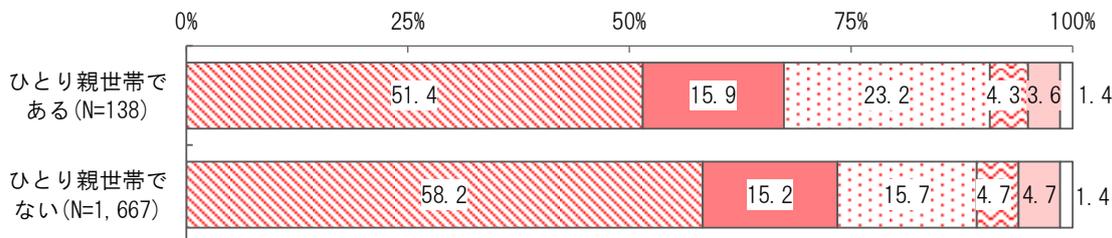


- 全体でみると、子どもと一緒にテレビやDVDを見る頻度は「ほぼ毎日」57.9%が最も多く、以下「週に1~2回」16.3%、「週に3~4回」15.2%、「めったにない」4.7%、「月に1~2回」4.5%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

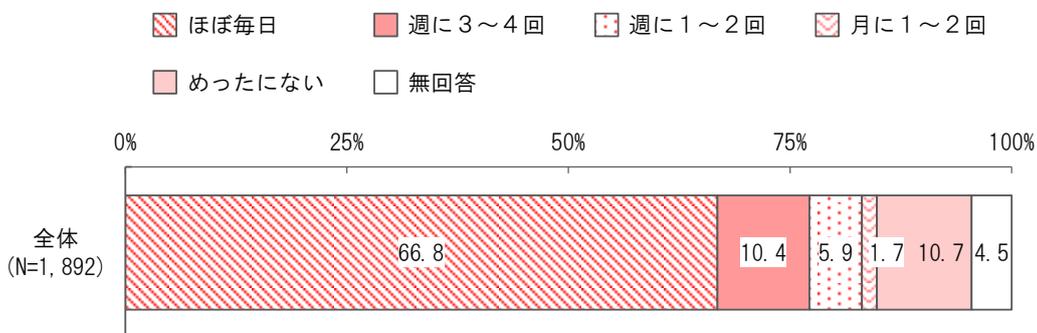


■世帯状況別■



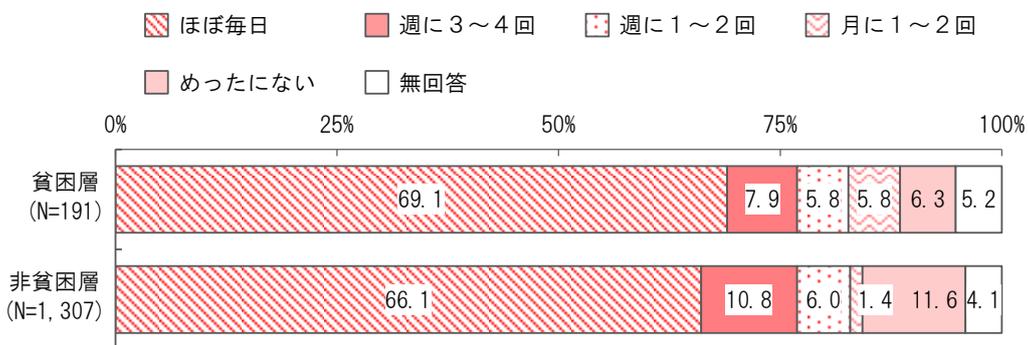
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、非貧困層は、「週に3~4回」15.6%が貧困層よりもやや多い傾向がみられます。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、「ほぼ毎日」51.4%がひとり親世帯でないと比べてやや少なく、「週に1~2回」23.2%はやや多い傾向がみられます。

⑦子どもと学校や園の話をする頻度

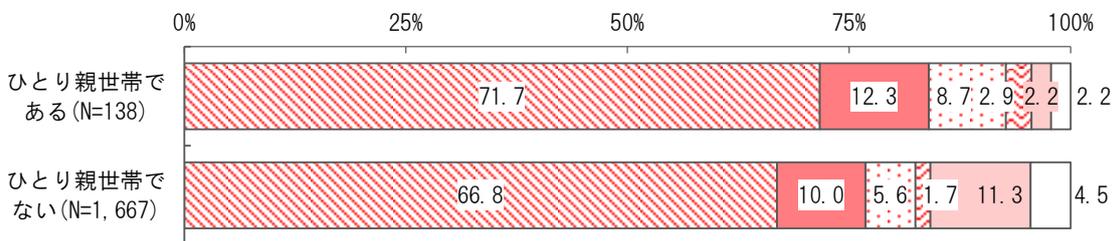


■ 全体でみると、子どもと学校や園の話をする頻度は「ほぼ毎日」66.8%が最も多く、以下「めったにない」10.7%、「週に3~4回」10.4%、「週に1~2回」5.9%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



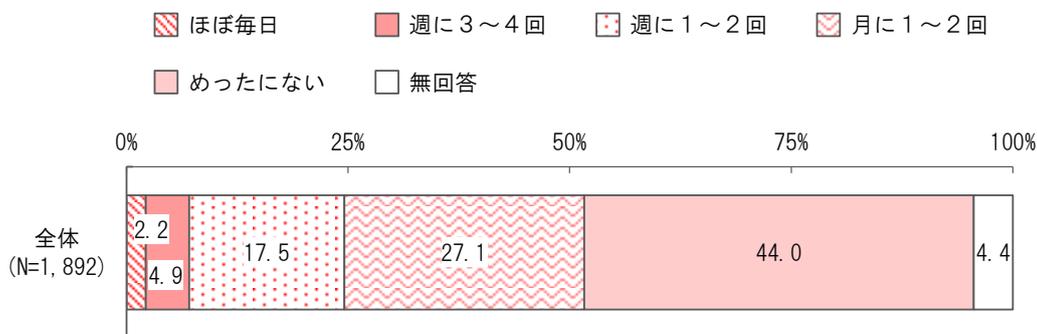
■世帯状況別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、非貧困層は、「めったにない」11.6%が貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。

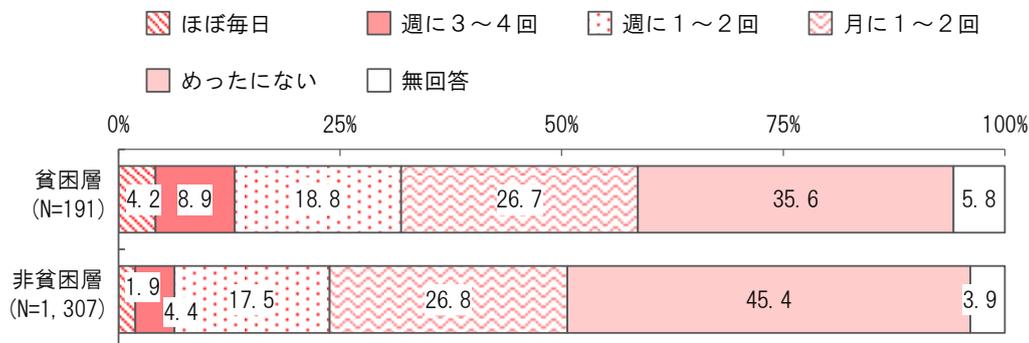
■ 世帯状況別でみると、ひとり親世帯でないは、「ほぼ毎日」66.8%がひとり親世帯と比べてやや少なく、「めったにない」11.3%はやや多い傾向がみられます。

⑧子どもと一緒に料理をする頻度

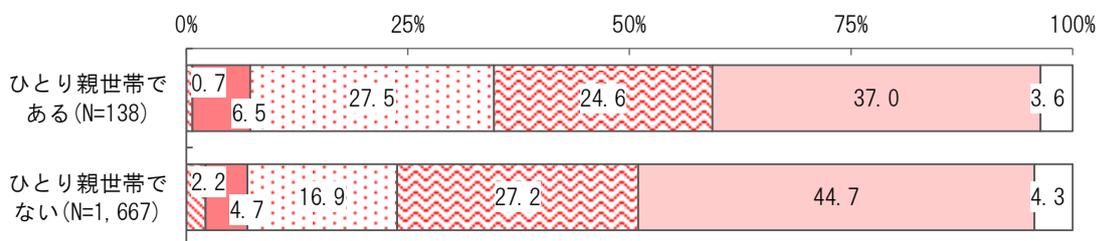


■ 全体でみると、子どもと一緒に料理をする頻度は「めったにない」44.0%が最も多く、以下「月に1~2回」27.1%、「週に1~2回」17.5%、「週に3~4回」4.9%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



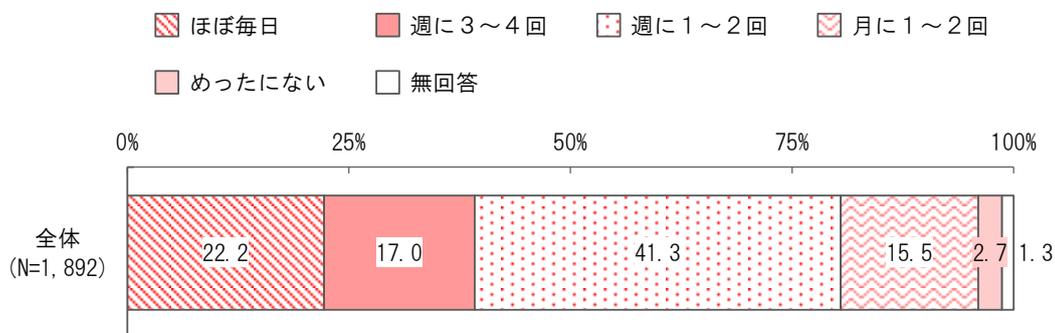
■世帯状況別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、非貧困層は、「めったにない」45.4%が貧困層と比べて多い傾向がみられます。

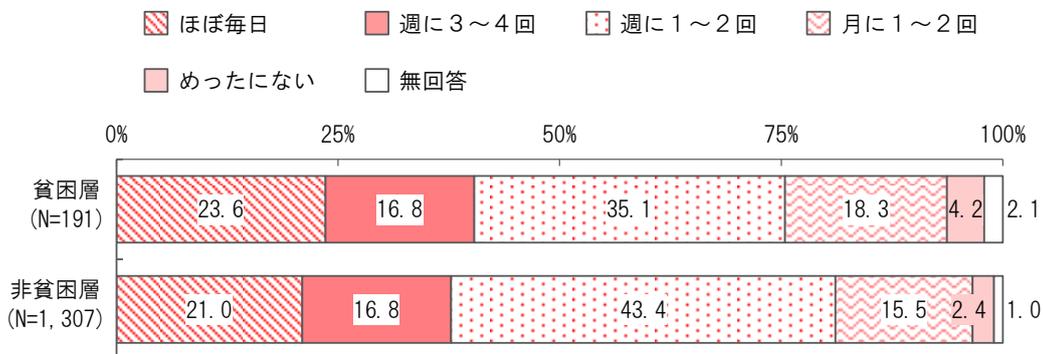
■ 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、「週に1~2回」27.5%がひとり親世帯でないと比べて多く、「めったにない」37.0%はやや少ない傾向がみられます。

⑨子どもと一緒に外出をする頻度

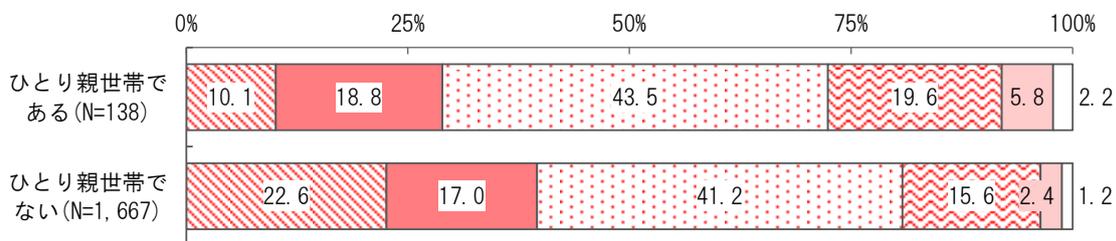


■ 全体でみると、子どもと一緒に外出をする頻度は「週に1~2回」41.3%が最も多く、以下「ほぼ毎日」22.2%、「週に3~4回」17.0%、「月に1~2回」15.5%、「めったにない」2.7%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■世帯状況別■

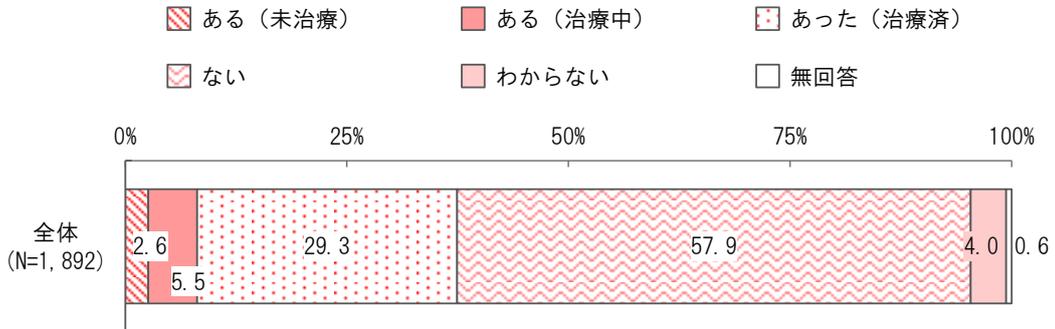


■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、非貧困層は、「週に1~2回」43.4%が貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。

■ 世帯状況別でみると、ひとり親世帯でないは、「ほぼ毎日」22.6%がひとり親世帯であると比べて多い傾向がみられます。

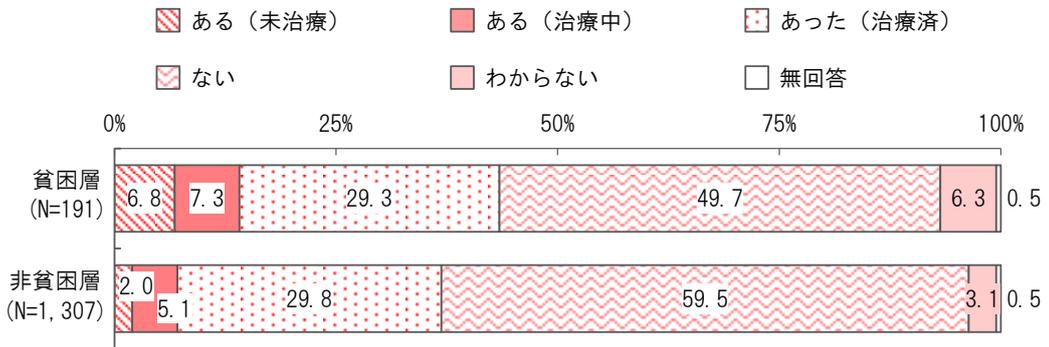
(14) 子どものむし歯有無

問 12 お子さんに、むし歯はありますか。(1つだけに○)



■ 全体でみると、子どものむし歯有無は「ない」57.9%が最も多く、以下「あった (治療済)」29.3%、「ある (治療中)」5.5%、「わからない」4.0%、「ある (未治療)」2.6%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

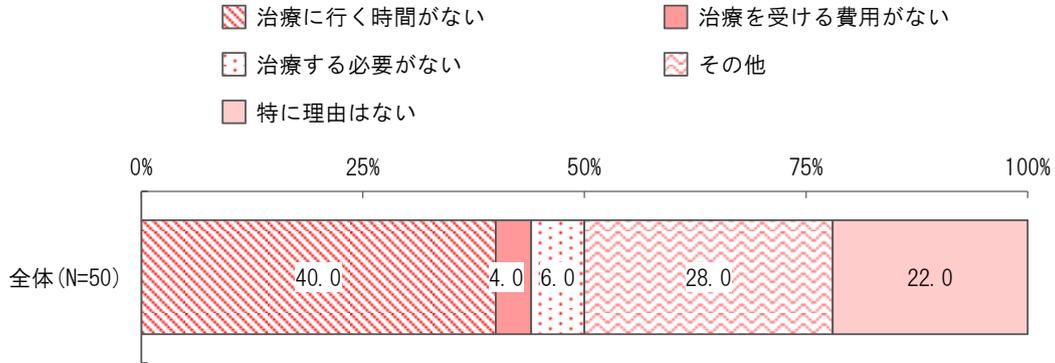


■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、非貧困層は、「ない」59.5%が約6割を占めており、貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。

(15) 治療していない理由

問 12-1 治療していない理由は何ですか。(1つだけに○)

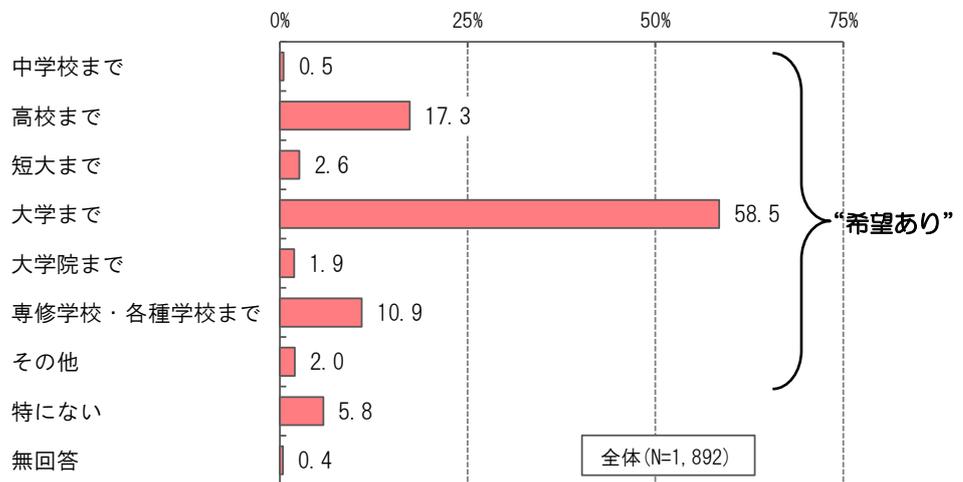
※問 12で「ある(未治療)」と答えた方のみ。



■ 全体で見ると、治療していない理由は「治療に行く時間がない」40.0%が最も多くなっています。

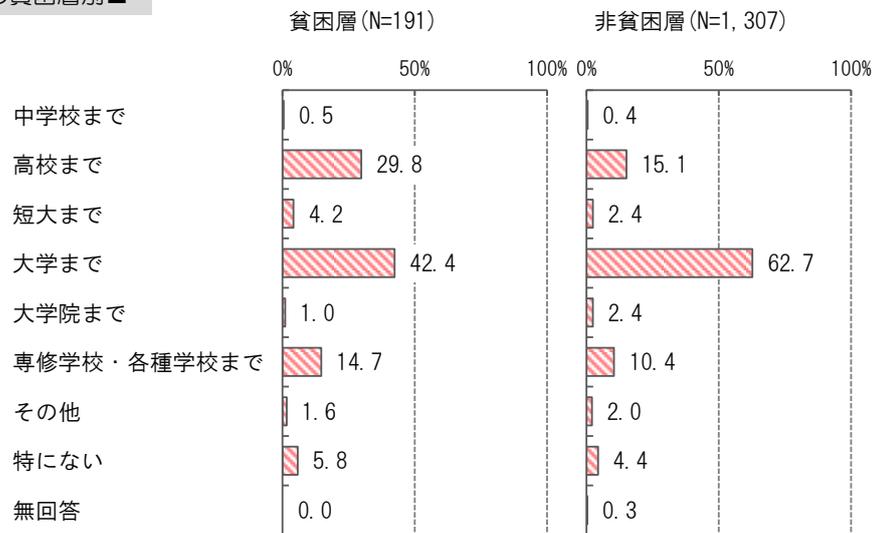
(16) 希望する子どもの進学先

問 13 お子さんの進学は、希望としては、どこまでを考えていますか。(1つだけに○)

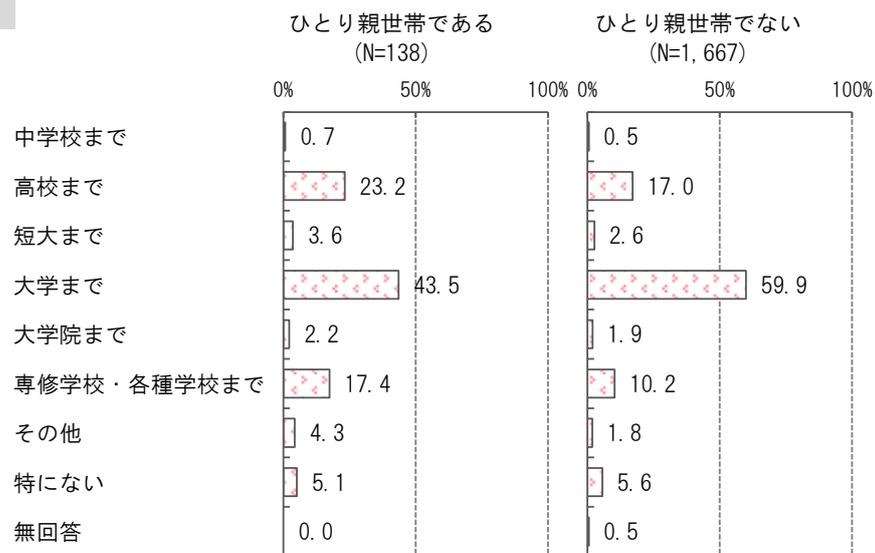


■ 全体で見ると、希望する子どもの進学先は「大学まで」58.5%が最も多く、以下「高校まで」17.3%、「専修学校・各種学校まで」10.9%、「特にない」5.8%、「短大まで」2.6%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■世帯状況別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「大学まで」42.4%が非貧困層と比べて少なく、「高校まで」29.8%や「専修学校・各種学校まで」14.7%は多い傾向がみられます。

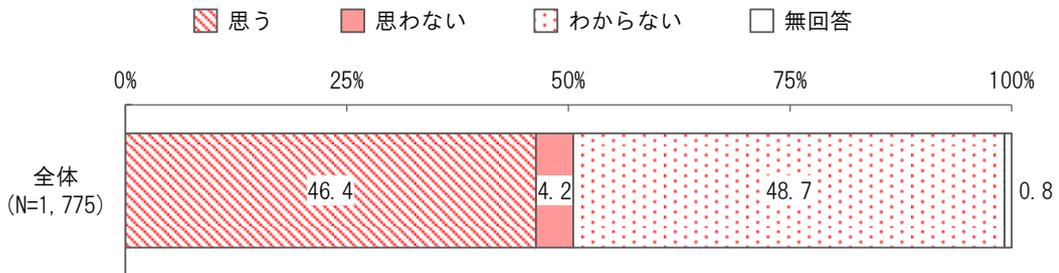
■ 世帯状況別で見ると、ひとり親世帯であるは、「大学まで」43.5%がひとり親世帯でないと比べて少なく、「高校まで」23.2%や「専修学校・各種学校まで」17.4%は多い傾向がみられます。

(17) 希望通りの学校まで進むと思うか

問 13-1 あなたは、お子さんが問 13 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。

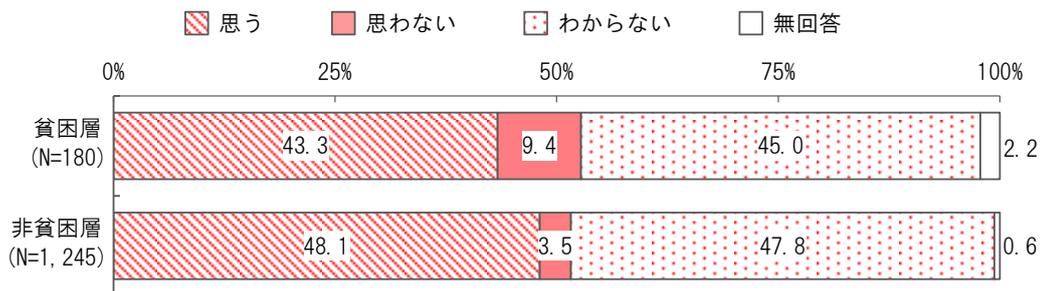
(あてはまるものすべてに○)

※問 13 で“希望あり”と答えた方のみ。

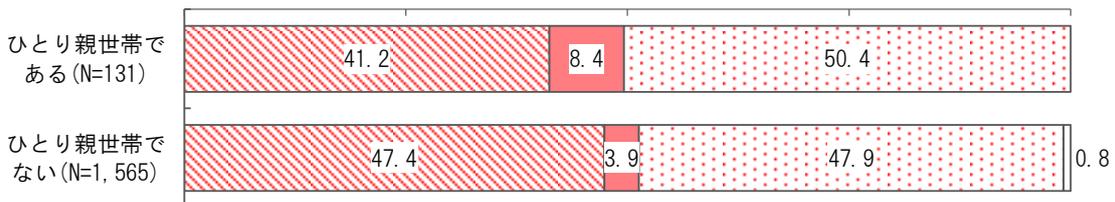


- 全体でみると、希望通りの学校まで進むと思うかは「わからない」48.7%が最も多く、以下「思う」46.4%、「思わない」4.2%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



■ 世帯状況別 ■

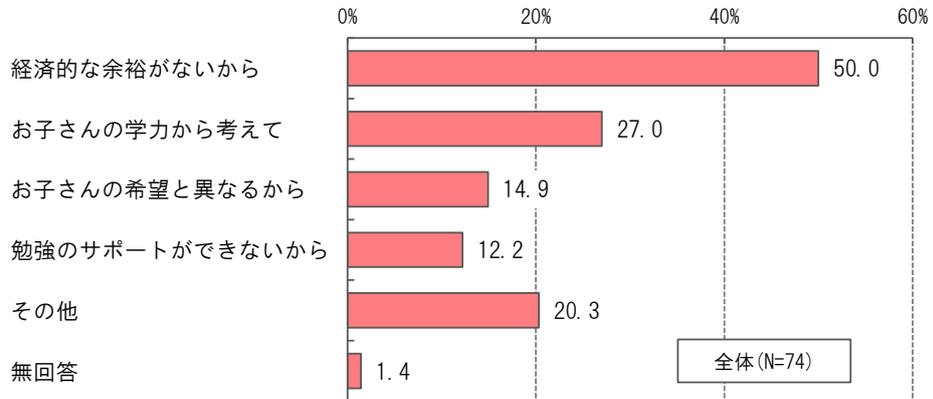


- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「思わない」9.4%が非貧困層と比べてやや多い傾向がみられます。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、「思う」41.2%がひとり親世帯でないと比べてやや少なく、「思わない」8.4%はやや多い傾向がみられます。

(18) 希望通りの学校に進むと思わない理由

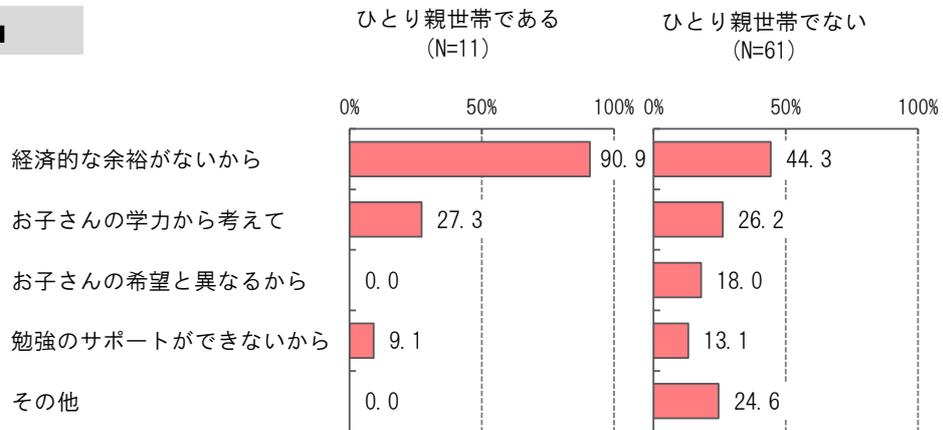
問 13-2 その理由について教えてください（あてはまるものすべてに○）

※問 13-1 で「思わない」と答えた方のみ。



- 全体で見ると、希望通りの学校に進むと思わない理由は「経済的な余裕がないから」50.0%が最も多く、以下「お子さんの学力から考えて」27.0%、「お子さんの希望と異なるから」14.9%、「勉強のサポートができないから」12.2%となっています。

■ 世帯状況別 ■

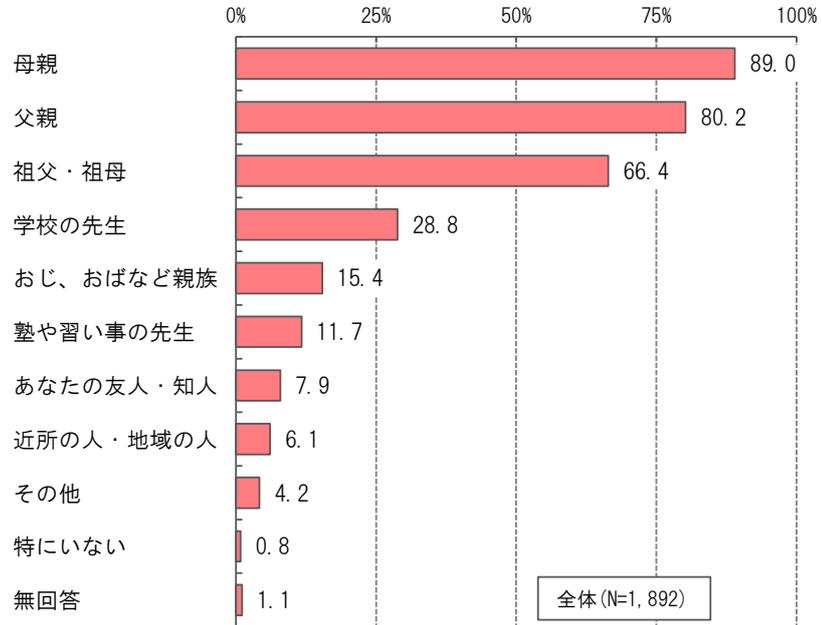


- 世帯状況別で見ると、ひとり親世帯であるは、「経済的余裕がないから」が9割を超えています。

(19) 子どもが頼りにしている大人

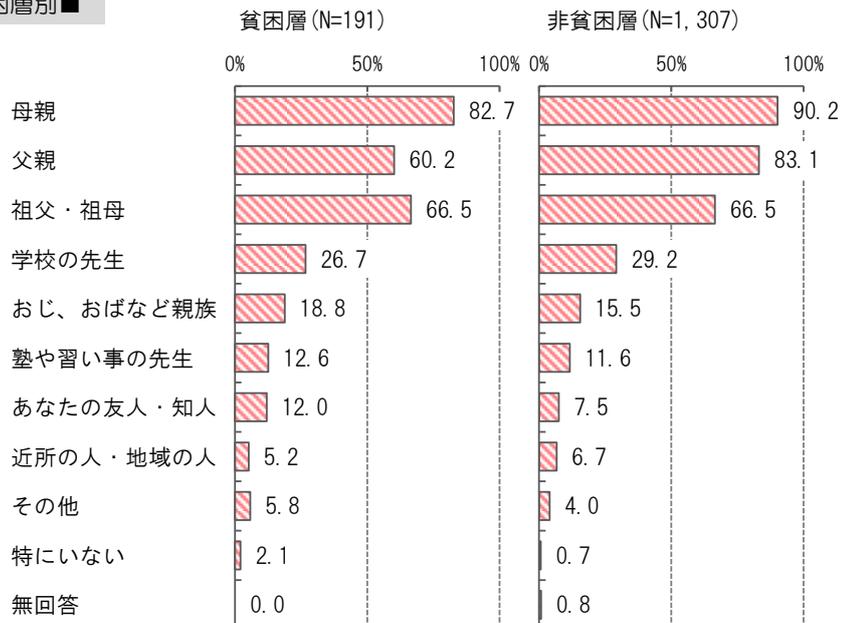
問 14 あなたから見て、お子さんが頼りにしていると思われる大人がいますか。

(あてはまるものすべてに○)



- 全体でみると、子どもが頼りにしている大人は「母親」89.0%が最も多く、以下「父親」80.2%、「祖父・祖母」66.4%、「学校の先生」28.8%、「おじ、おばなど親族」15.4%となっています。

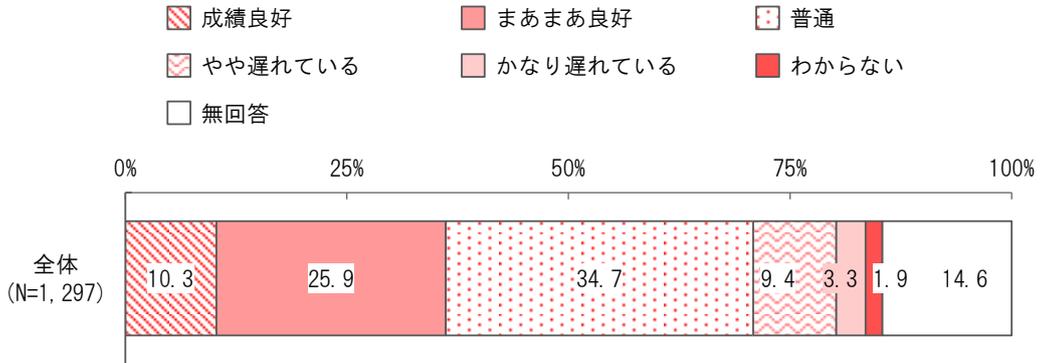
■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「母親」82.7%や「父親」60.2%が非貧困層と比べて少なく、「あなたの友人・知人」12.0%はやや多い傾向がみられます。

(20) 子どもの成績※小学生以上

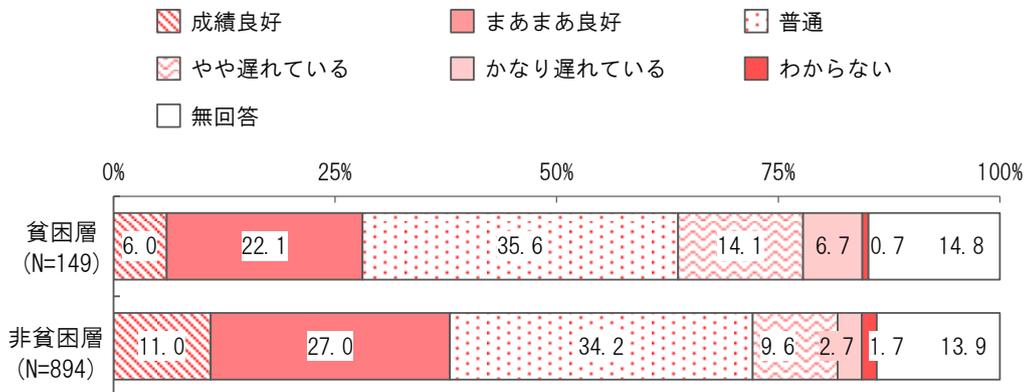
問 15 お子さんの成績は、学年の中でどれくらいですか。(1つだけに○)



■ 全体で見ると、子どもの成績は「普通」34.7%が最も多く、以下「まあまあ良好」25.9%、「成績良好」10.3%、「やや遅れている」9.4%となっています。

「成績良好」と「まあまあ良好」を合わせた“良好”は36.2%、「やや遅れている」と「かなり遅れている」を合わせた“遅れている”は12.7%となっています。

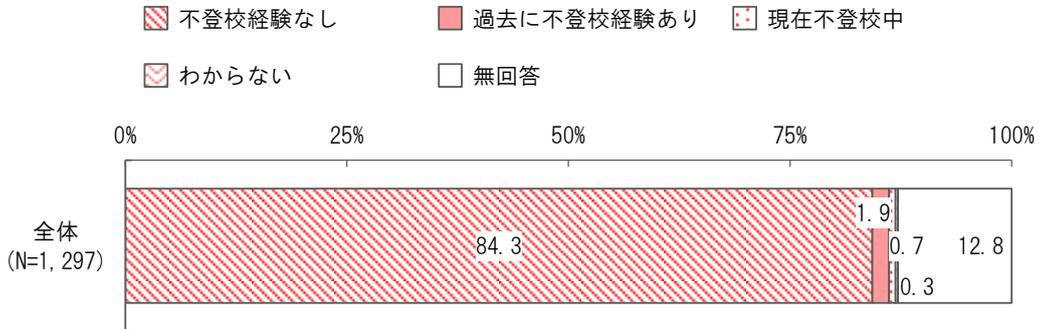
■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は“良好”が28.1%、“遅れている”が20.8%となっています。一方、非貧困層は“良好”が38.0%、“遅れている”が12.3%となっています。

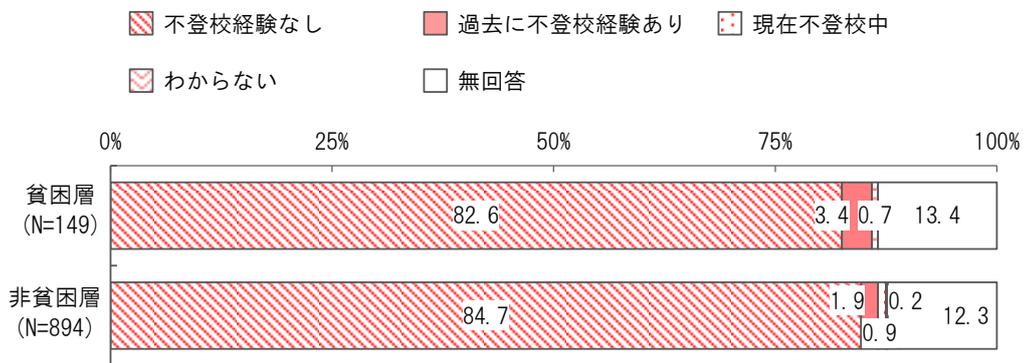
(21) 不登校になった経験※小学生以上

問 16 お子さんは、これまで不登校になったことはありますか。(1つだけに○)



■ 全体でみると、不登校になった経験は「不登校経験なし」84.3%が最も多く、以下「過去に不登校経験あり」1.9%、「現在不登校中」0.7%、「わからない」0.3%となっています。

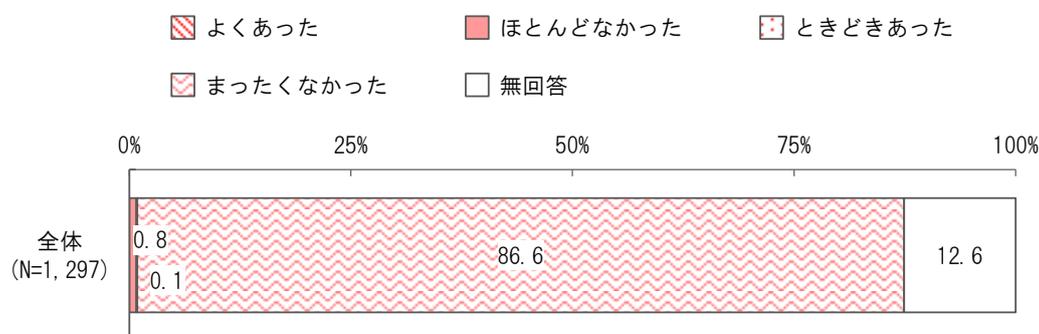
■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみた結果は、グラフの通りとなっています。

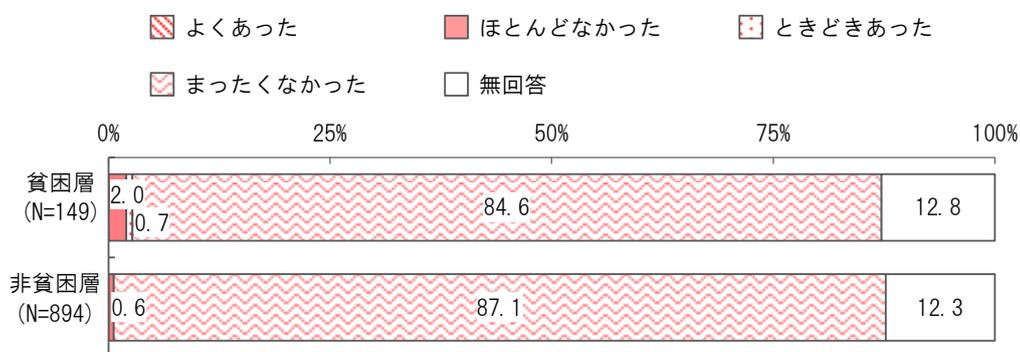
(22) 経済的な理由で遠足や修学旅行に参加させることができなかった頻度※小学生以上

問 17 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由により、お子さんが学校の遠足や修学旅行に参加させることができないことがありましたか。(1つだけに○)



■ 全体でみると、過去1年間に経済的な理由で遠足や修学旅行に参加させることができなかった頻度は「まったくなかった」86.6%が最も多く、以下「ほとんどなかった」0.8%、「ときどきあった」0.1%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

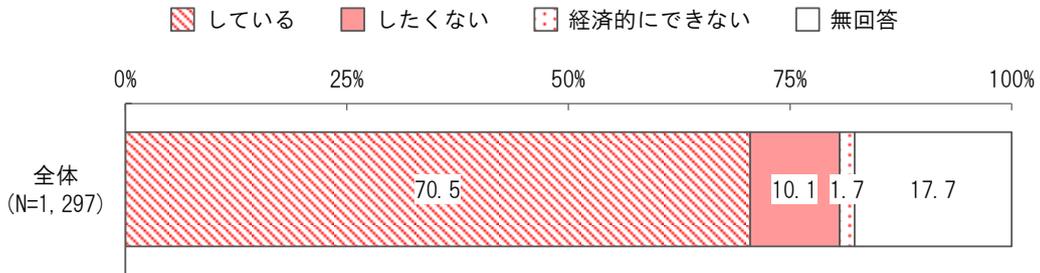


■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみた結果は、グラフの通りとなっています。

(23) おおむね1年間での経験※小学生以上

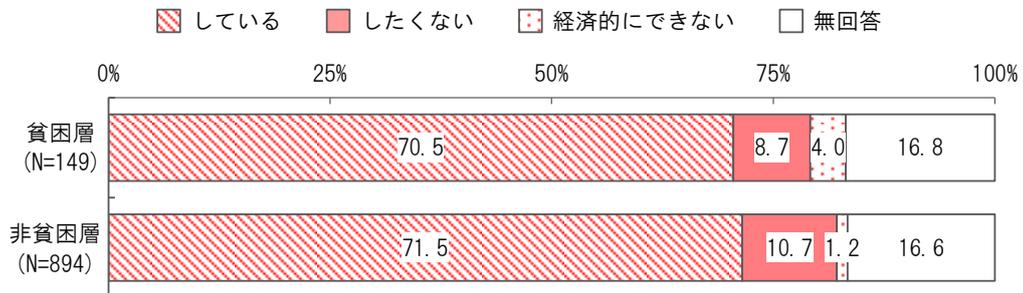
問 18 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、次のような経験をされたことがありますか。
(それぞれ1つに○)

①子どもを地域の少年団活動や学校の部活動に参加させる経験



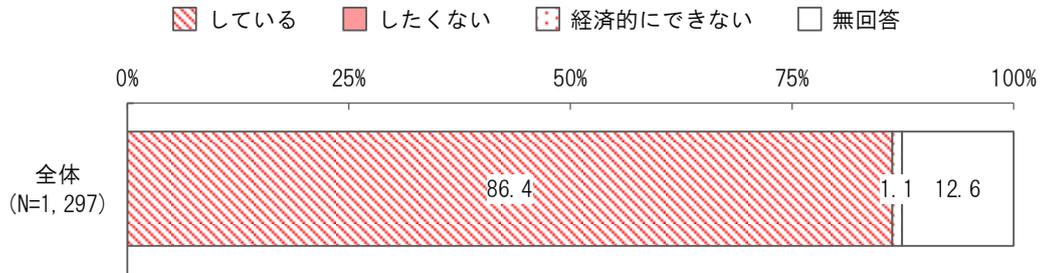
■ 全体でみると、子どもを地域の少年団活動や学校の部活動に参加させる経験は「している」70.5%が最も多く、以下「したくない」10.1%、「経済的にできない」1.7%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



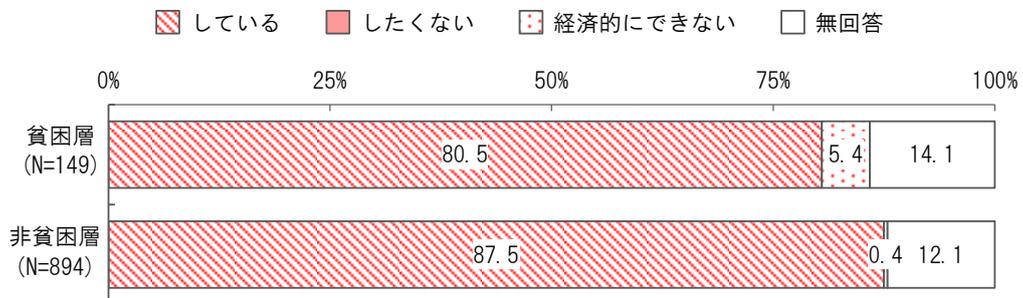
■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみた結果は、グラフの通りとなっています。

②子どものために本、服や靴を買う経験



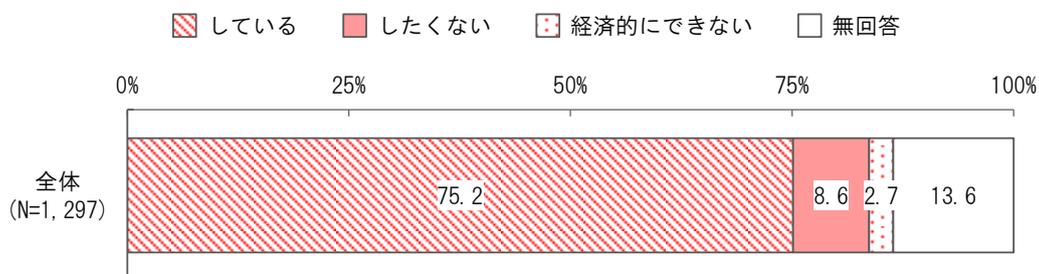
- 全体でみると、子どものために本、服や靴を買う経験は「している」が 86.4%、「経済的にできない」が 1.1%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



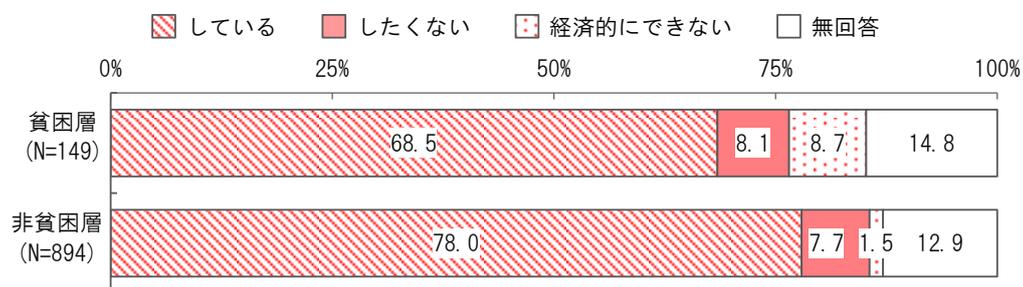
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「している」80.5%が非貧困層と比べてやや少なく、「経済的にできない」5.4%はやや多い傾向がみられます。

③子どもにこづかいを渡す経験



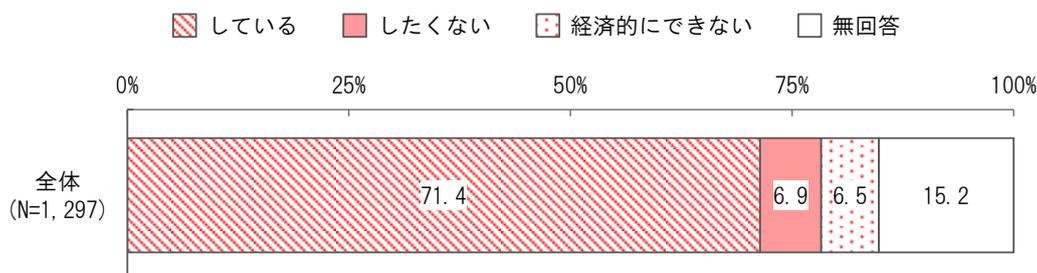
- 全体で見ると、子どもにこづかいを渡す経験は「している」75.2%が最も多く、以下「したくない」8.6%、「経済的にできない」2.7%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



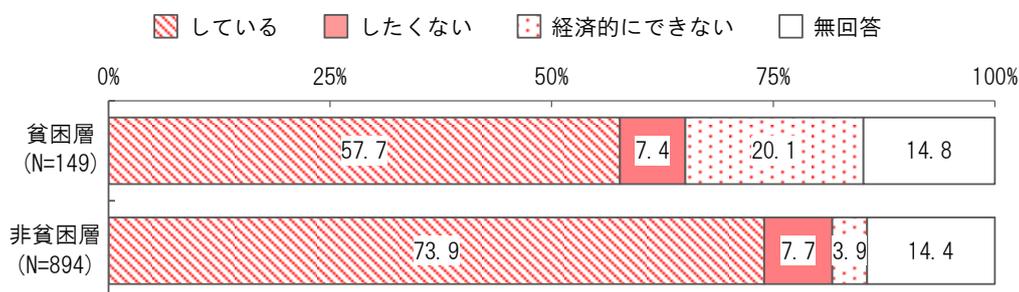
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「している」68.5%が非貧困層と比べてやや少なく、「経済的にできない」8.7%はやや多い傾向がみられます。

④子どもを学習塾や習い事に通わせる経験

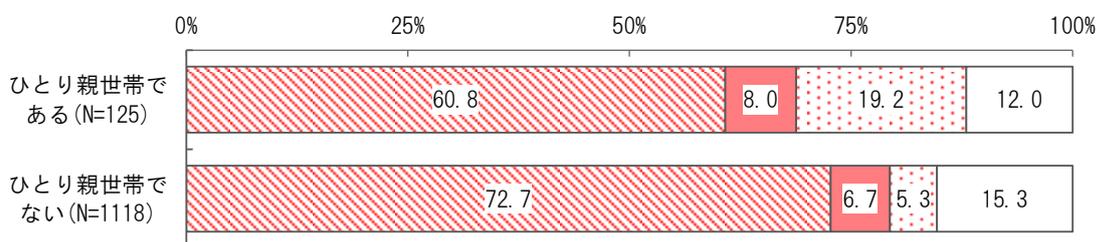


- 全体でみると、子どもを学習塾や習い事に通わせる経験は「している」71.4%が最も多く、以下「したくない」6.9%、「経済的にできない」6.5%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別

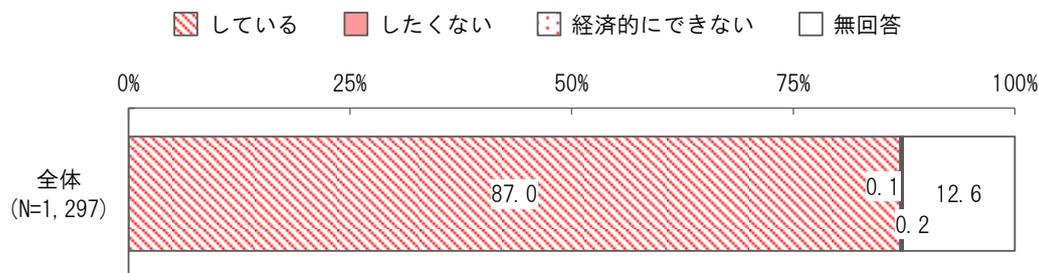


■世帯状況別



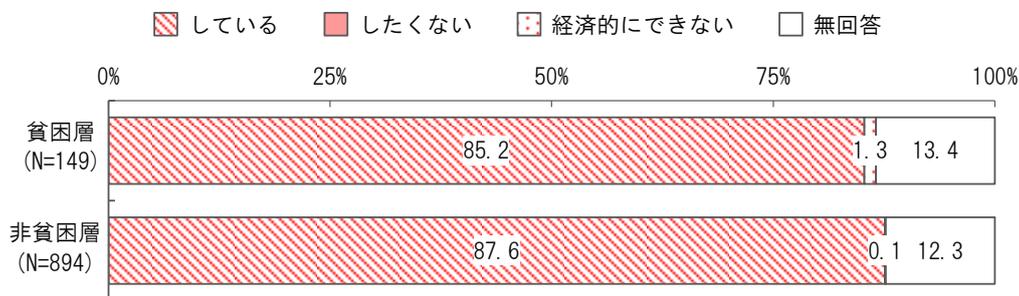
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「している」57.7%が非貧困層と比べて少なく、「経済的にできない」20.1%は多い傾向がみられます。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、「している」60.8%がひとり親世帯でないと比べて少なく、「経済的にできない」19.2%は多い傾向がみられます。

⑤子どもが必要とする文具や教材を買う経験



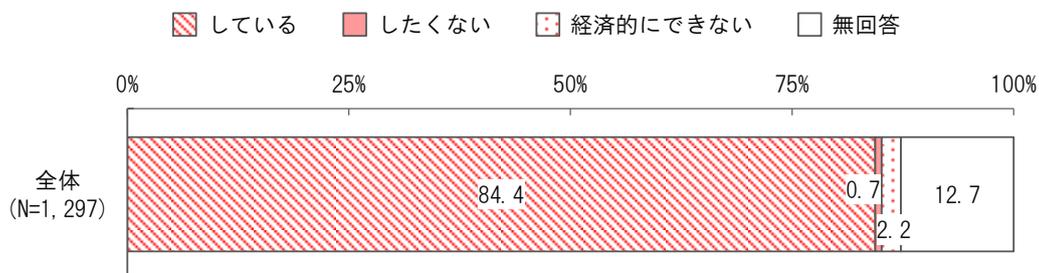
- 全体で見ると、子どもが必要とする文具や教材を買う経験は「している」87.0%が最も多く、以下「経済的にできない」0.2%、「したくない」0.1%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



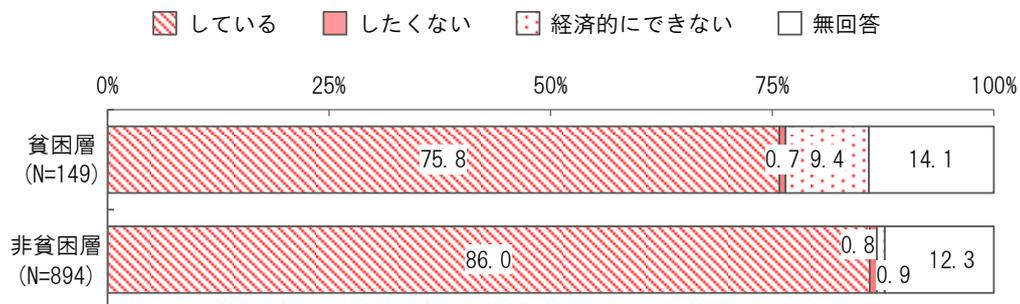
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみた結果は、グラフの通りとなっています。

⑥子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげる経験



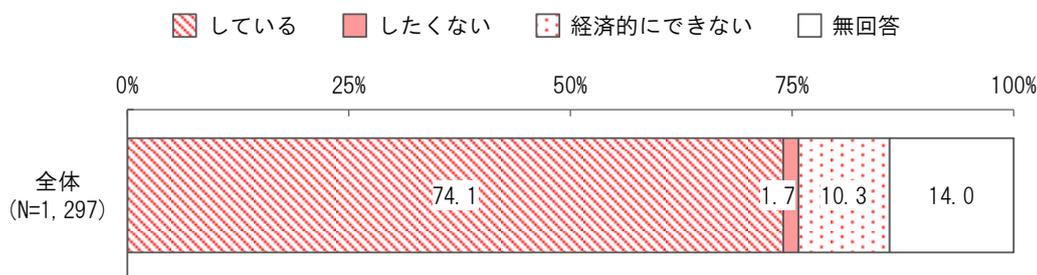
- 全体でみると、子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげる経験は「している」84.4%が最も多く、以下「経済的にできない」2.2%、「したくない」0.7%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



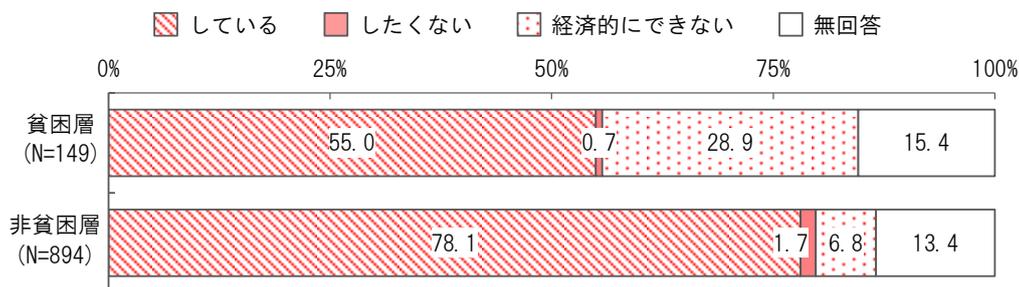
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「している」75.8%が非貧困層と比べて少なく、「経済的にできない」9.4%はやや多い傾向がみられます。

⑦家族旅行に行く経験

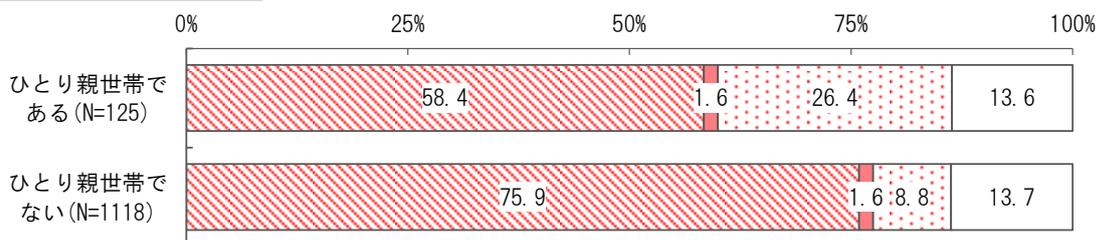


- 全体でみると、家族旅行に行く経験は「している」74.1%が最も多く、以下「経済的にできない」10.3%、「したくない」1.7%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

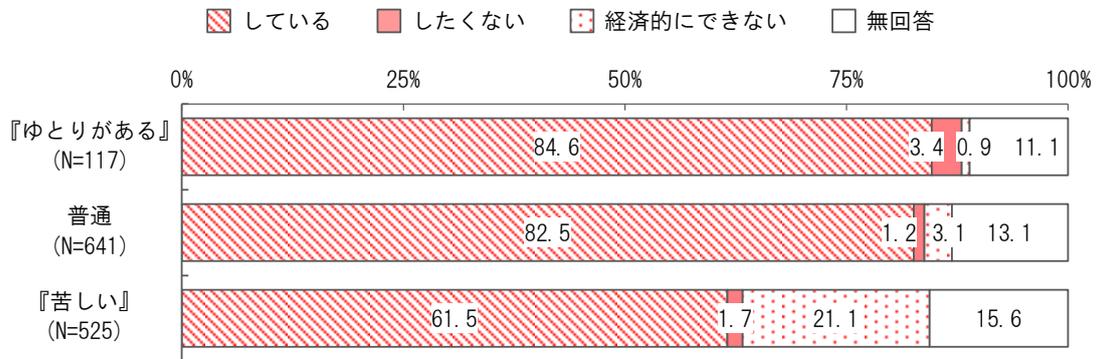


■世帯状況別■



- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「している」55.0%が非貧困層と比べて少なく、「経済的にできない」28.9%は多い傾向がみられます。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、「している」58.4%がひとり親世帯でないと比べて少なく、「経済的にできない」26.4%は多い傾向がみられます。

■ 経済的状況別 ■



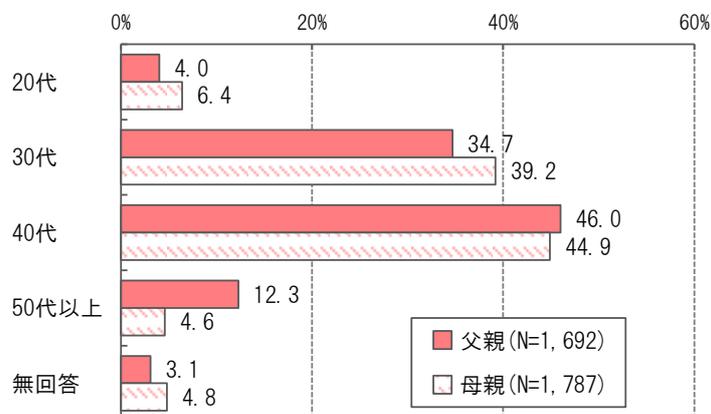
※ 『ゆとりがある』は、問 34 現在の暮らしの経済的状況で、「大変ゆとりがある」または「ややゆとりがある」と回答した人。『苦しい』は、「やや苦しい」または「大変苦しい」と回答した人。

- 経済的状況別でみると、『ゆとりがある』や普通は、「している」が8割を超えています。一方、『苦しい』は、「している」61.5%が少なく、「経済的にできない」21.1%は多い傾向がみられます。

3 あなたとあなたの配偶者のことについて

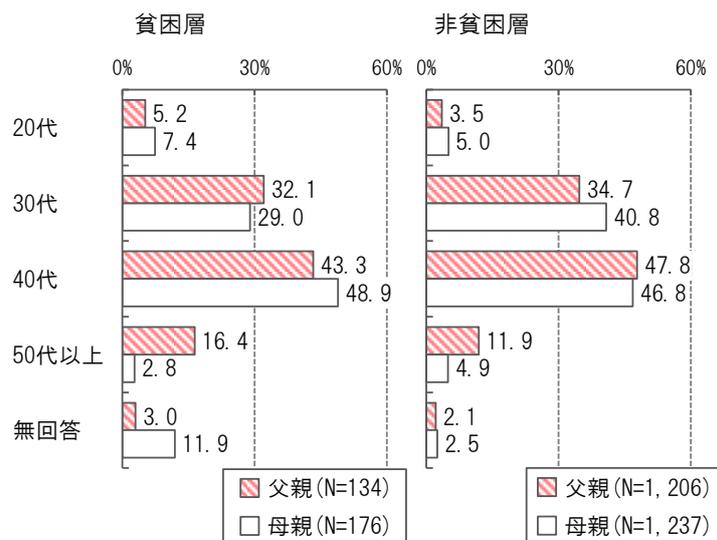
(24) 年齢

問 19 あなたとあなたの配偶者の年齢は現在おいくつですか。



- 全体で見ると、父親の年齢は「40代」46.0%が最も多く、以下「30代」34.7%、「50代以上」12.3%、「20代」4.0%となっています。
- 一方、母親は、「40代」44.9%が最も多く、以下「30代」39.2%、「20代」6.4%、「50代以上」4.6%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■

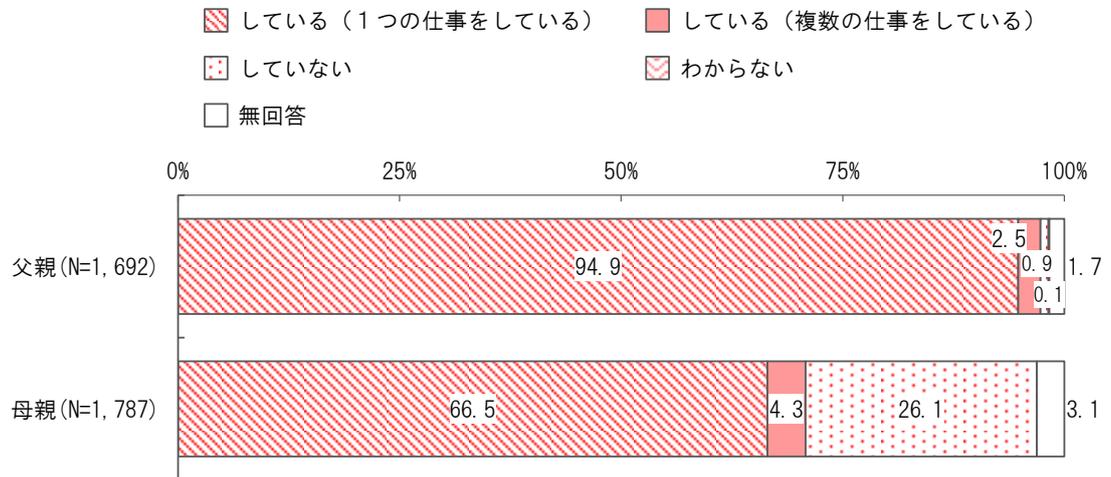


- 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、非貧困層の母親は、「30代」や「40代」で4割を超えています。

(25) 現在の仕事

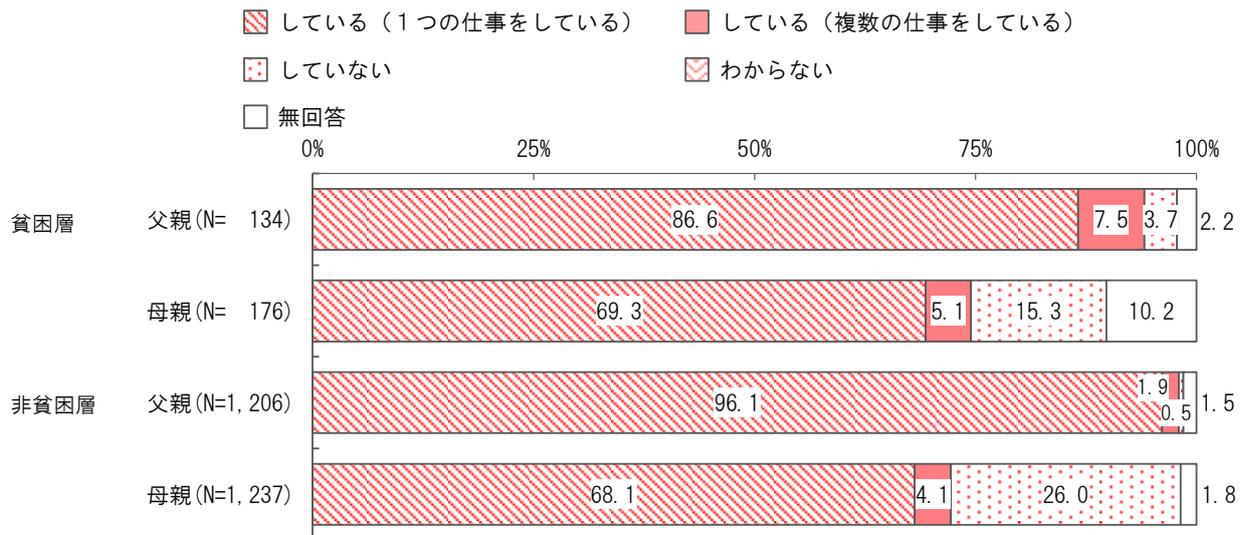
問 20 あなたとあなたの配偶者は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。

(それぞれ1つだけに○)



- 全体で見ると、父親の現在の仕事は「している (1つの仕事をしている)」94.9%が最も多く、以下「している (複数の仕事をしている)」2.5%、「していない」0.9%となっています。一方、母親は、「している (1つの仕事をしている)」66.5%が最も多く、以下「していない」26.1%、「している (複数の仕事をしている)」4.3%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

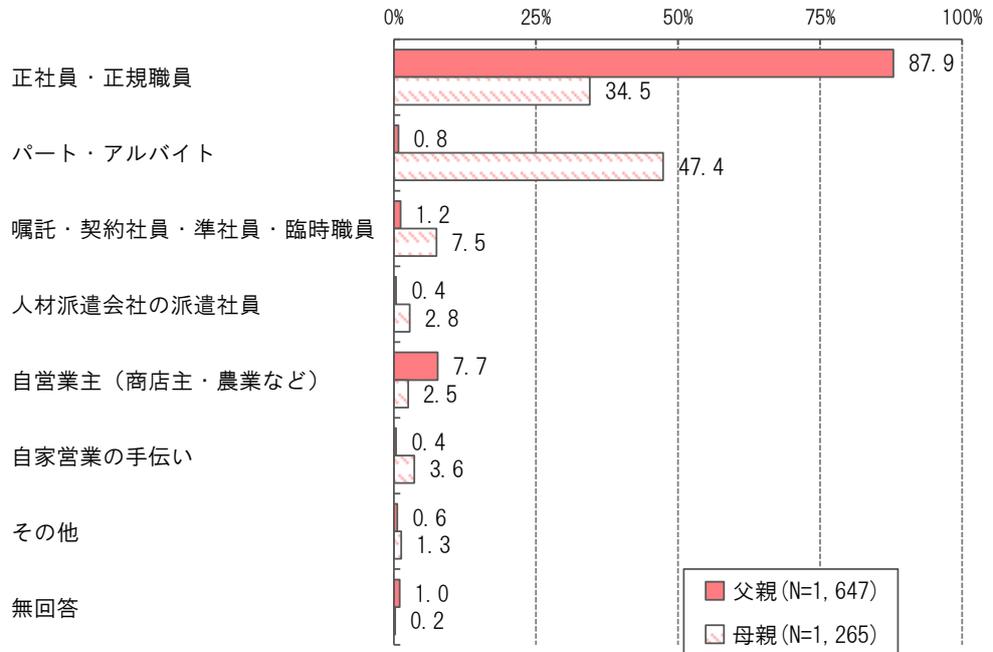


- 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層の父親は、「している (1つの仕事をしている)」86.6%が非貧困層の父親と比べてやや少ない傾向がみられます。一方、貧困層の母親は、「していない」15.3%が非貧困層の母親と比べて少ない傾向がみられます。

(26) 就業形態

問 20-1 あなたとあなたの配偶者の現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか。
(それぞれ1つだけに○)

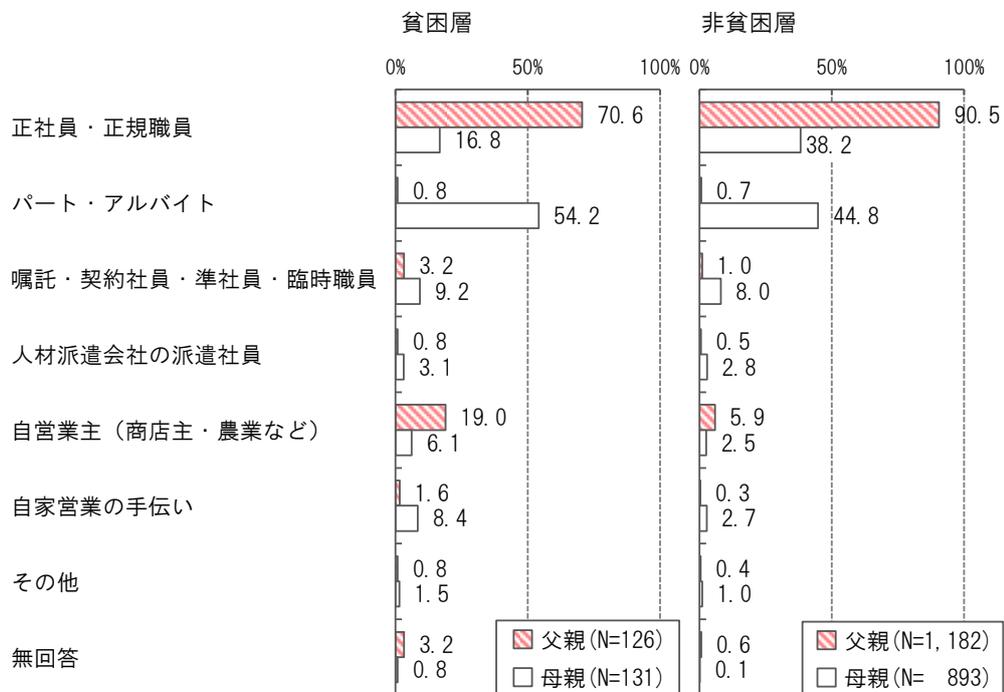
※問 20 で、「している(1つの仕事をしている)」または「している(複数の仕事をしている)」と答えた方のみ。



■ 全体で見ると、父親の就業形態は「正社員・正規職員」87.9%が最も多く、以下「自営業主(商店主・農業など)」7.7%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」1.2%、「パート・アルバイト」0.8%となっています。

一方、母親は「パート・アルバイト」47.4%が最も多く、以下「正社員・正規職員」34.5%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」7.5%、「自家営業の手伝い」3.6%、「人材派遣会社の派遣社員」2.8%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



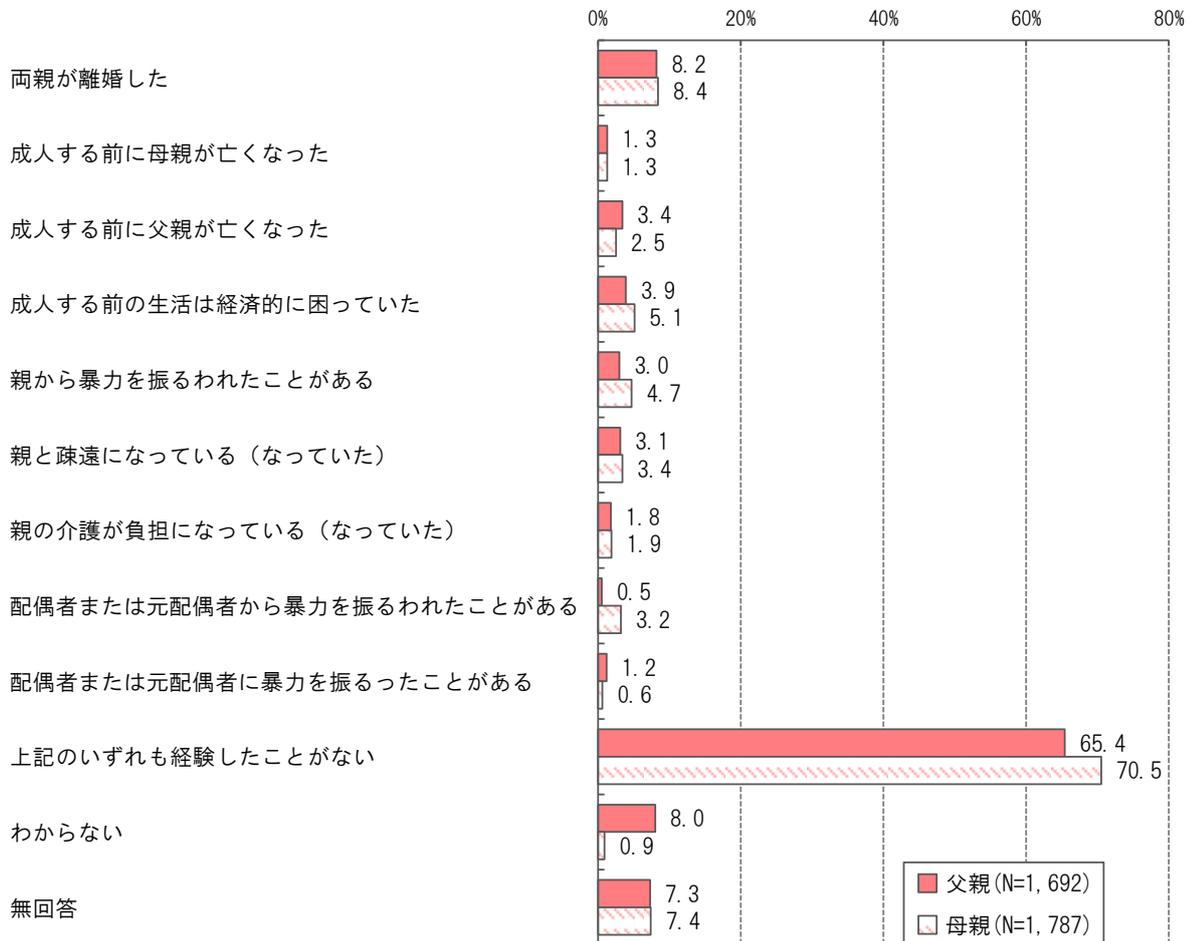
■子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層の父親は、「正社員・正規職員」70.6%が非貧困層の父親と比べて少なく、「自営業主（商店主・農業など）」19.0%は多い傾向がみられます。

一方、貧困層の母親は、「正社員・正規職員」16.8%が非貧困層の母親と比べて少なく、「パート・アルバイト」54.2%や「自家営業の手伝い」8.4%はやや多い傾向がみられます。

(27) 経験をしたこと

問 21 あなたとあなたの配偶者は、以下のような経験をしたことがありますか。

(それぞれあてはまるものすべてに○)



■ 全体で見ると、父親の経験をしたことは「両親が離婚した」8.2%が多く、以下「成人する前の生活は経済的に困っていた」3.9%となっています。一方、「上記のいずれも経験したことがない」は65.4%となっています。

母親は「両親が離婚した」8.4%が多く、以下「成人する前の生活は経済的に困っていた」5.1%、「親から暴力を振るわれたことがある」4.7%となっています。一方、「上記のいずれも経験したことがない」は70.5%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

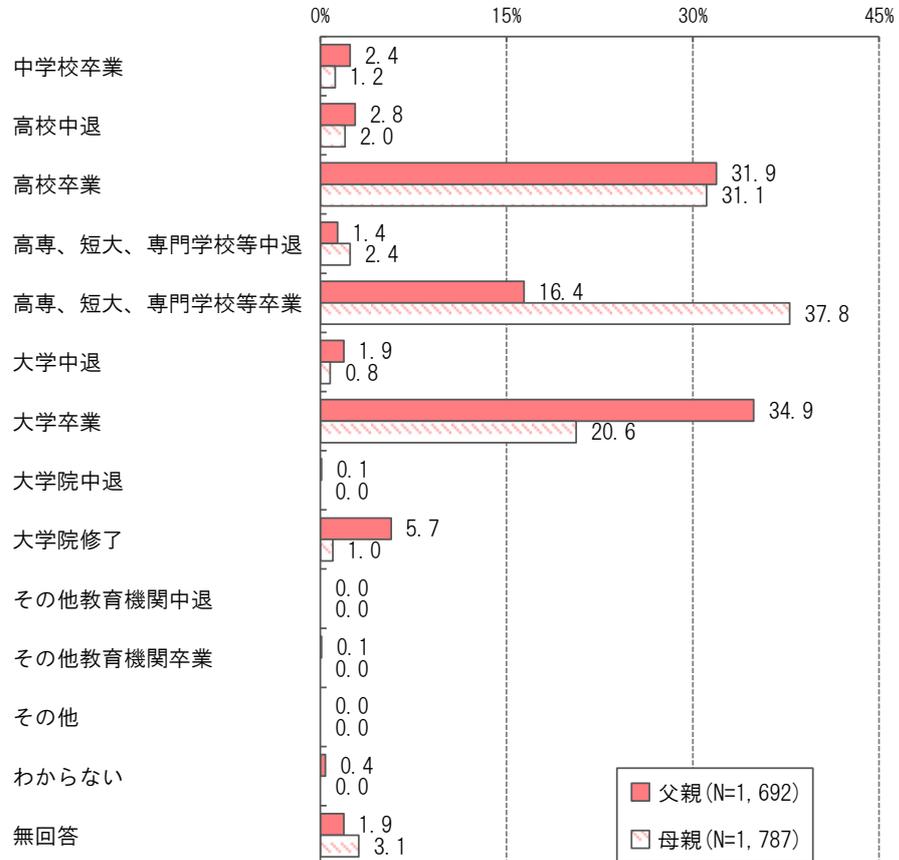


■子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層の父親は、「上記のいずれも経験したことがない」61.2%が非貧困層の父親と比べてやや少なく、「両親が離婚した」14.9%や「成人する前の生活は経済的に困っていた」7.5%はやや多い傾向がみられます。

一方、貧困層の母親は、「上記のいずれも経験したことがない」55.1%が非貧困層の母親と比べて少なく、「成人する前の生活は経済的に困っていた」10.8%や「親と疎遠になっている (なっていた)」8.0%はやや多い傾向がみられます。

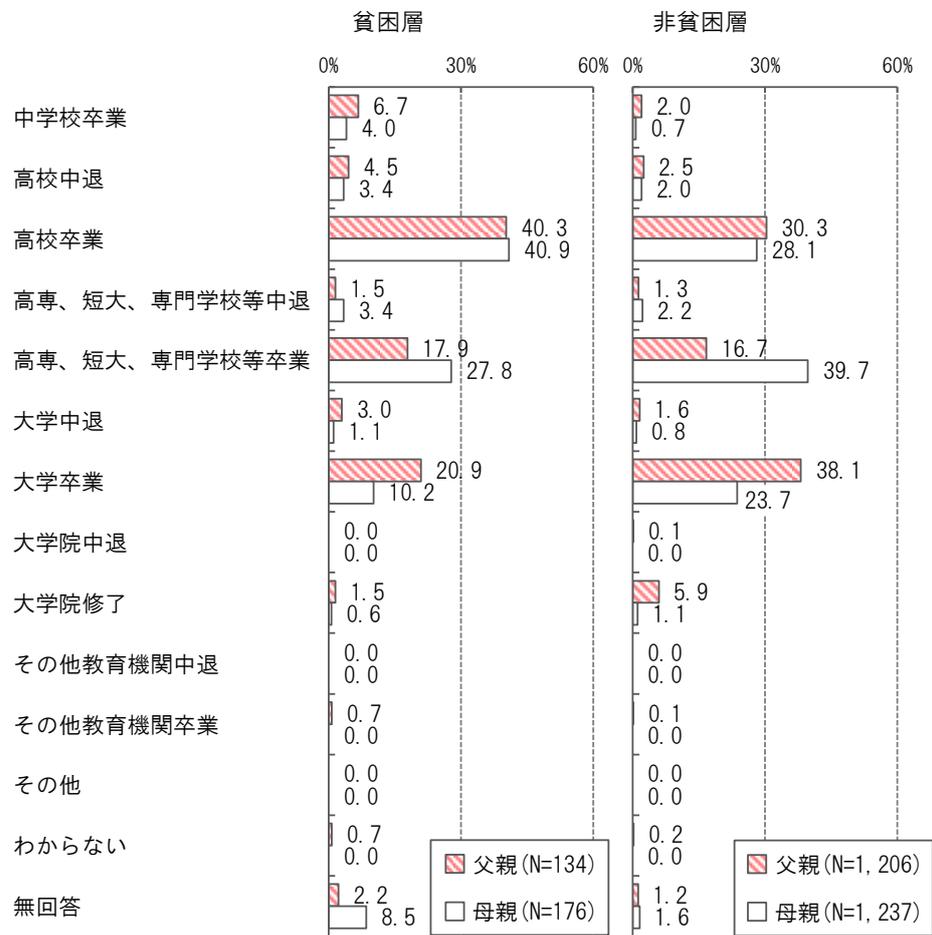
(28) 最終学歴

問 22 あなたとあなたの配偶者の最終学歴は以下のうちどれですか。(それぞれ1つだけに○)



- 全体で見ると、父親の最終学歴は「大学卒業」34.9%が最も多く、以下「高校卒業」31.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」16.4%、「大学院修了」5.7%、「高校中退」2.8%となっています。一方、母親は「高専、短大、専門学校等卒業」37.8%が最も多く、以下「高校卒業」31.1%、「大学卒業」20.6%、「高専、短大、専門学校等中退」2.4%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



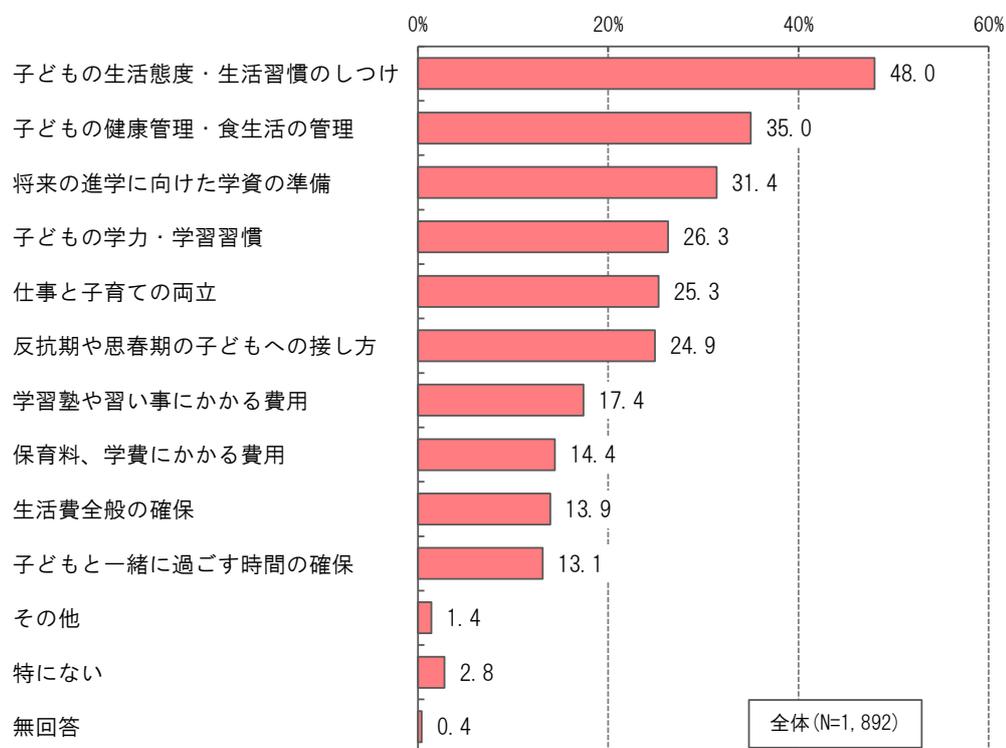
■子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層の父親は、「高校卒業」40.3%や「中学校卒業」6.7%が、非貧困層の父親と比べてやや多く、「大学卒業」20.9%や「大学院修了」1.5%は少ない傾向がみられます。

一方、貧困層の母親は、「高校卒業」40.9%が、非貧困層の母親と比べて多く、「高専、短大、専門学校等卒業」27.8%や「大学卒業」10.2%は少ない傾向がみられます。

4 あなたのことについて

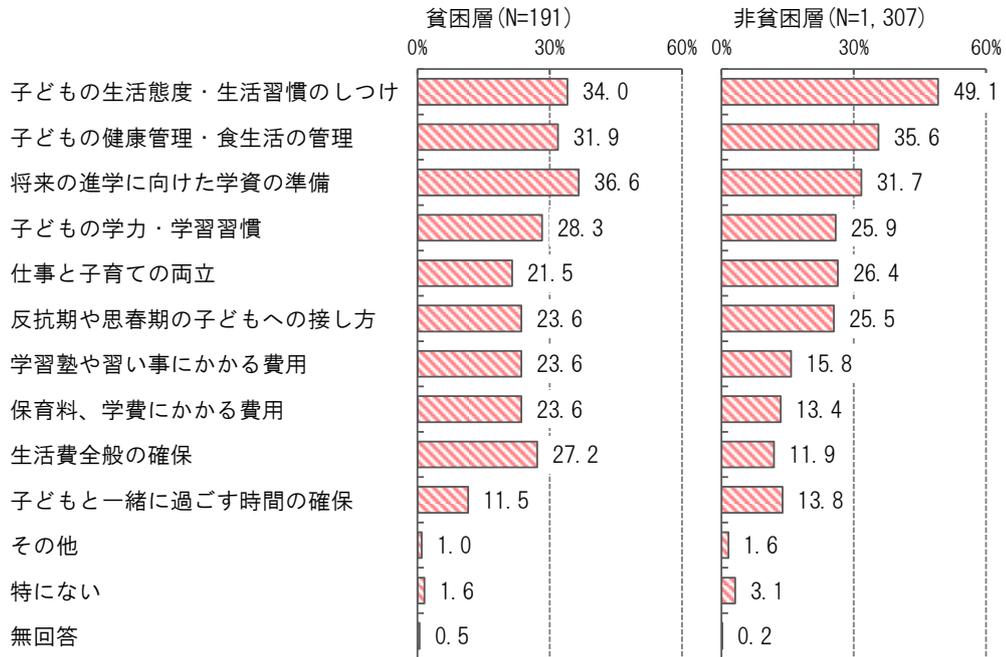
(29) 子育てで特に大変だと感じること

問 23 子育てをされていて特に大変だと感じることは何ですか。(○は3つまで)

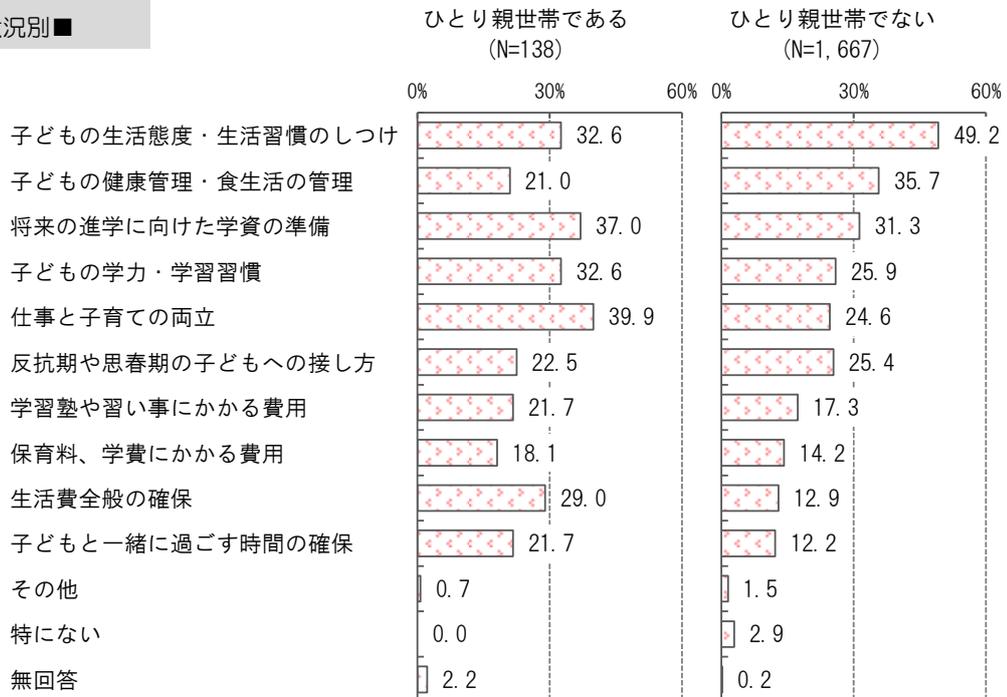


- 全体で見ると、子育てで特に大変だと感じることは「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」48.0%が最も多く、以下「子どもの健康管理・食生活の管理」35.0%、「将来の進学に向けた学資の準備」31.4%、「子どもの学力・学習習慣」26.3%、「仕事と子育ての両立」25.3%となっています。

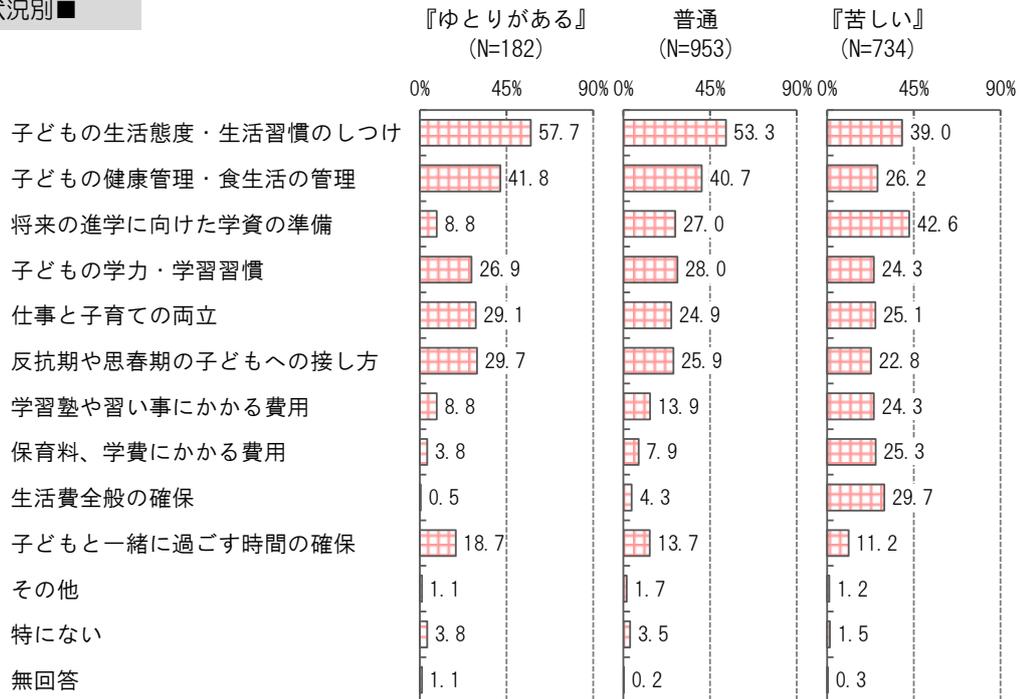
■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■世帯状況別■



■経済的状況別■

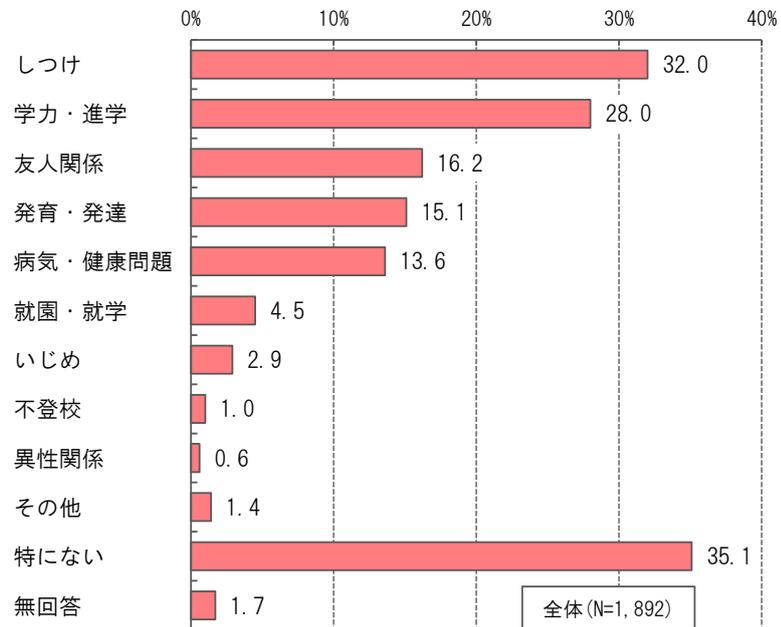


※『ゆとりがある』は、問 34 現在の暮らしの経済的状況で、「大変ゆとりがある」または「ややゆとりがある」と回答した人。『苦しい』は、「やや苦しい」または「大変苦しい」と回答した人。

- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「将来の進学に向けた学資の準備」36.6%が最も多く、非貧困層と比べて「学習塾や習い事にかかる費用」と「保育料、学費にかかる費用」23.6%や、「生活費全般の確保」27.2%は多い傾向がみられます。
一方、非貧困層は、「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」49.1%が最も多く、貧困層と比べて「仕事と子育ての両立」26.4%はやや多い傾向がみられます。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、「仕事と子育ての両立」39.9%が最も多く、ひとり親世帯でない人と比べて「将来の進学に向けた学資の準備」37.0%、「子どもの学力・学習習慣」32.6%、「学習塾や習い事にかかる費用」21.7%、「生活費全般の確保」29.0%、「子どもと一緒に過ごす時間の確保」21.7%は多い傾向がみられます。
- 経済的状況別でみると、『ゆとりがある』は、「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」、「仕事と子育ての両立」、「反抗期や思春期の子どもへの接し方」、「子どもと一緒に過ごす時間の確保」が、普通や『苦しい』と比べてやや多い傾向がみられます。
一方、経済状況が『苦しい』は、「将来の進学に向けた学資の準備」、「学習塾や習い事にかかる費用」、「保育料、学費にかかる費用」、「生活費全般の確保」が、『ゆとりがある』や普通と比べて多い傾向がみられます。

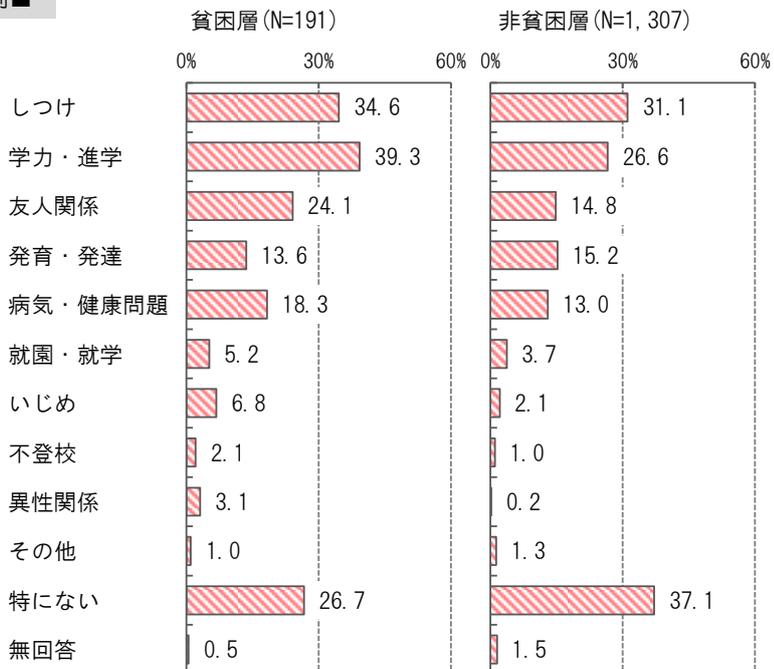
(30) 子どもに関する悩み

問 24 お子さんに関する次のような悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)



■ 全体でみると、子どもに関する悩みは「しつけ」32.0%が多く、以下「学力・進学」28.0%、「友人関係」16.2%、「発育・発達」15.1%となっています。一方、「特にない」は35.1%となっています。

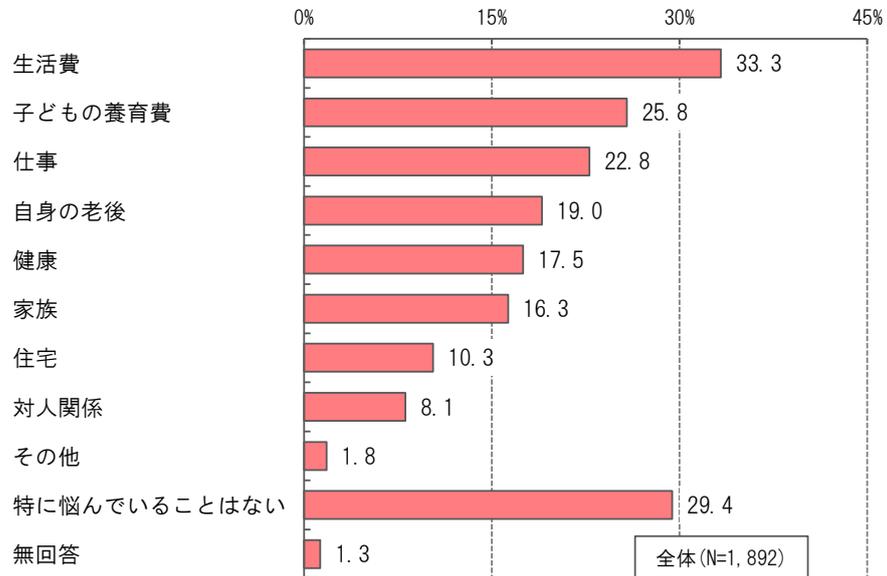
■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「学力・進学」39.3%が最も多く、非貧困層と比べて「学力・進学」、「友人関係」、「病気・健康問題」、「いじめ」はやや多い傾向がみられます。一方、非貧困層は、「特にない」37.1%が最も多くなっています。

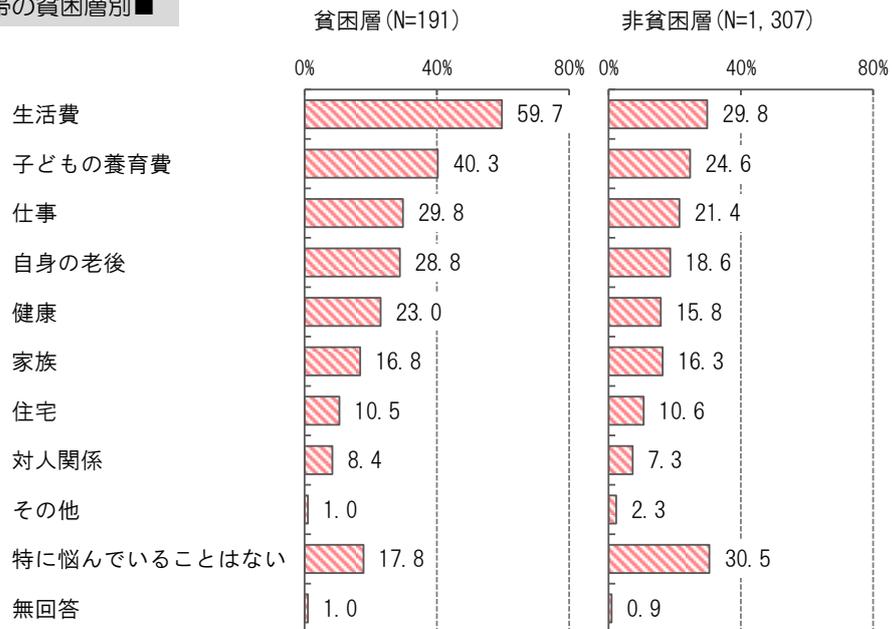
(31) 自身の悩み

問 25 あなたは、現在、ご自身の生活に関して、どのようなことについて悩んでいますか。
(あてはまるものすべてに○)



■ 全体でみると、自身の悩みは「生活費」33.3%が最も多く、以下「子どもの養育費」25.8%、「仕事」22.8%、「自身の老後」19.0%となっています。一方、「特に悩んでいることはない」は29.4%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

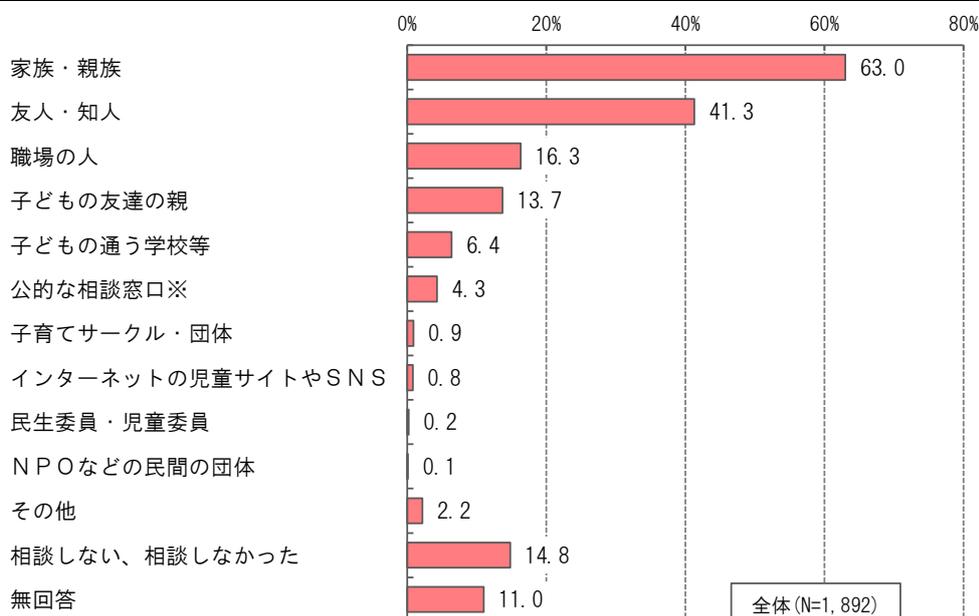


■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「生活費」59.7%が最も多く、非貧困層と比べて「生活費」、「子どもの養育費」、「仕事」、「自身の老後」、「健康」はやや多い傾向がみられます。一方、非貧困層は、「特に悩んでいることはない」30.5%が最も多くなっています。

(32) 悩みの相談先

問 26 あなたは、問 24・25 の悩みをどなた（どこ）に相談していますか（しましたか）。

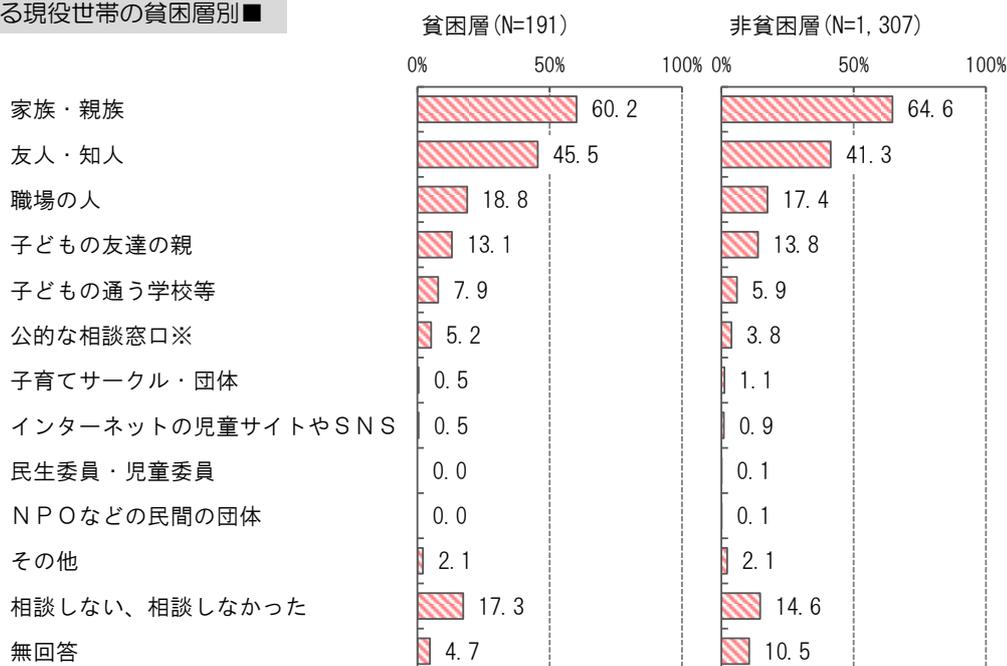
（あてはまるものすべてに○）



※選択肢省略：公的な相談窓口（市役所、子育て支援センター、こども相談室等）

- 全体でみると、悩みの相談先は「家族・親族」63.0%が最も多く、以下「友人・知人」41.3%、「職場の人」16.3%、「子どもの友達の親」13.7%となっています。一方、「相談しない、相談しなかった」は14.8%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



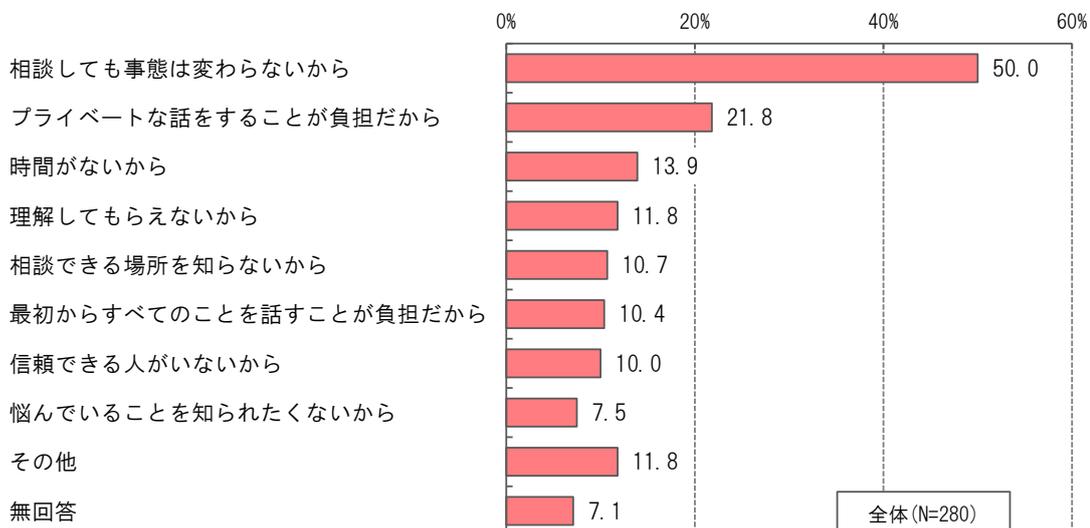
※選択肢省略：公的な相談窓口（市役所、子育て支援センター、こども相談室等）

- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「家族・親族」60.2%が非貧困層と比べてやや少なく、「友人・知人」45.5%はやや多くなっています。

(33) 相談しない（しなかった）理由

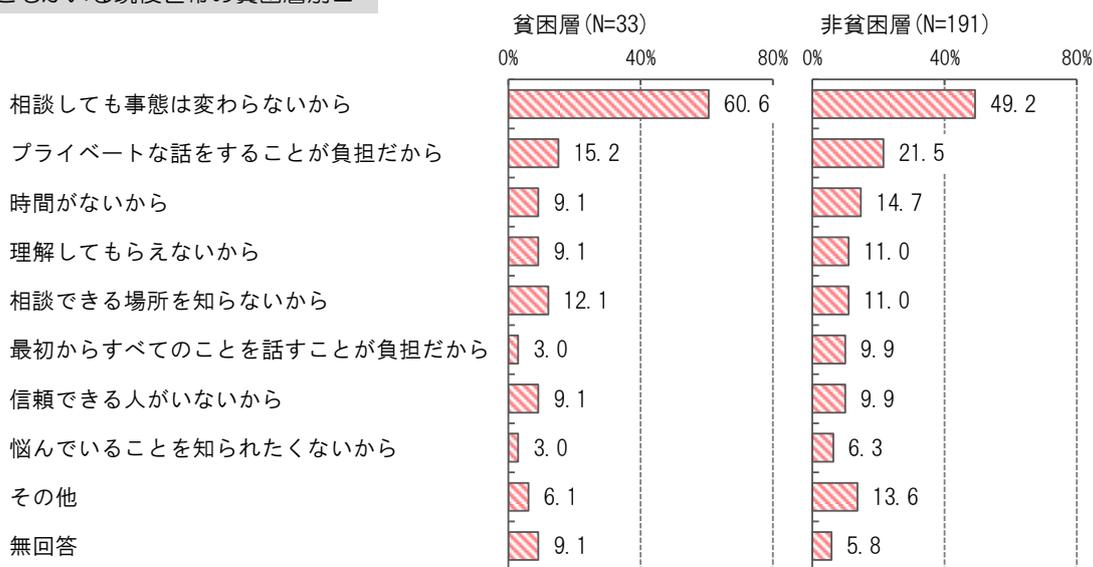
問 26-1 その理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

※問 26 で「相談しない、相談しなかった」と答えた方のみ。



- 全体で見ると、相談しない（しなかった）理由は「相談しても事態は変わらないから」50.0%が最も多く、以下「プライベートな話をすることが負担だから」21.8%、「時間がないから」13.9%、「理解してもらえないから」と「その他」が11.8%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■

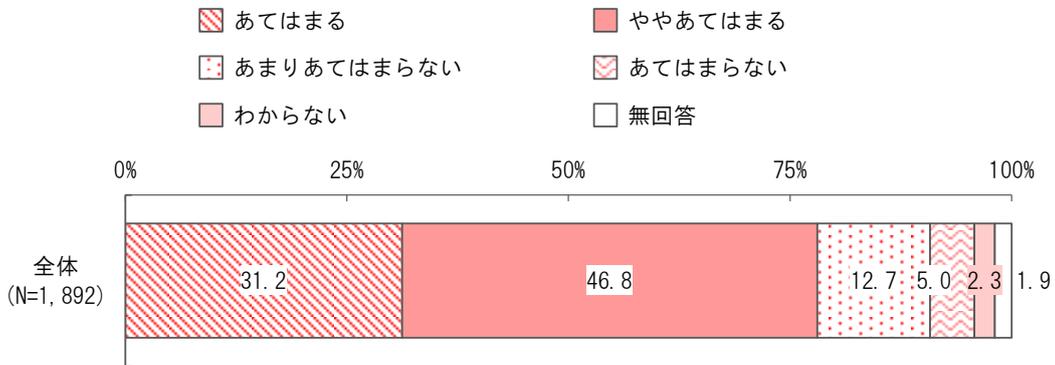


- 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、非貧困層は、「相談しても事態は変わらないから」49.2%が貧困層と比べて少なく、「プライベートな話をすることが負担だから」、「時間がないから」、「最初からすべてのことを話すことが負担だから」はやや多い傾向がみられます。

(34) 現在の生活意識

問 27 あなたの現在の生活意識について教えてください。(それぞれ1つに○)

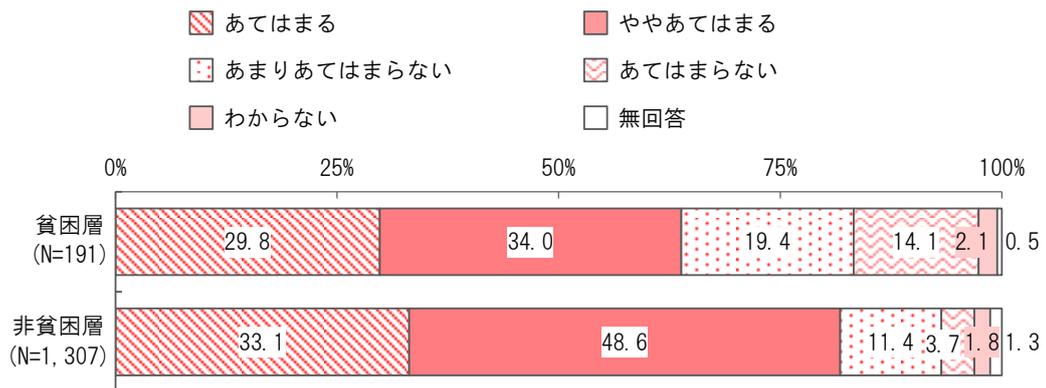
① 現在自分の生活は充実している



■ 全体でみると、現在自分の生活は充実しているは「ややあてはまる」46.8%が最も多く、以下「あてはまる」31.2%、「あまりあてはまらない」12.7%、「あてはまらない」5.0%、「わからない」2.3%となっています。

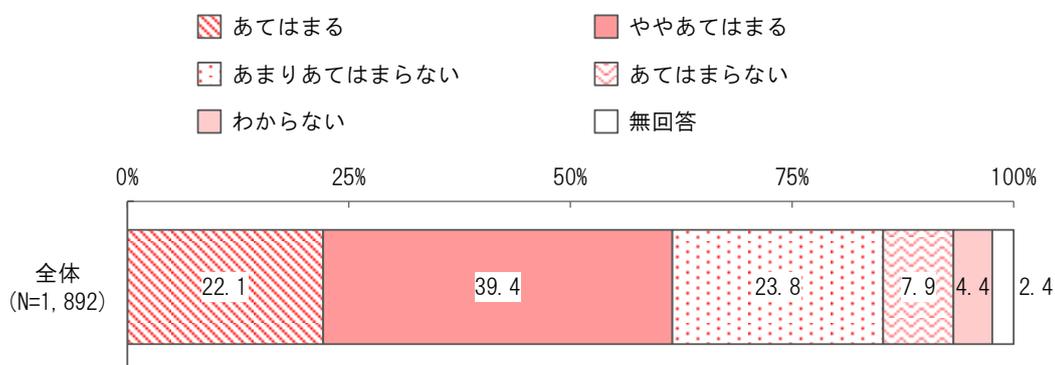
「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた“あてはまる”は78.0%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”は17.7%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、“あてはまる”が63.8%、“あてはまらない”が33.5%となっています。一方、非貧困層は、“あてはまる”が81.7%、“あてはまらない”が15.1%となっています。

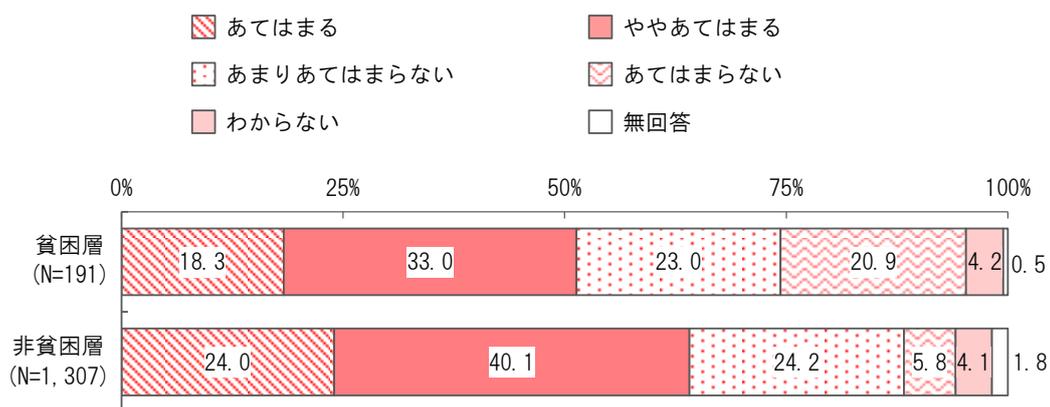
②将来に希望をもっている



- 全体でみると、将来に希望をもっているは「ややあてはまる」39.4%が最も多く、以下「あまりあてはまらない」23.8%、「あてはまる」22.1%、「あてはまらない」7.9%、「わからない」4.4%となっています。

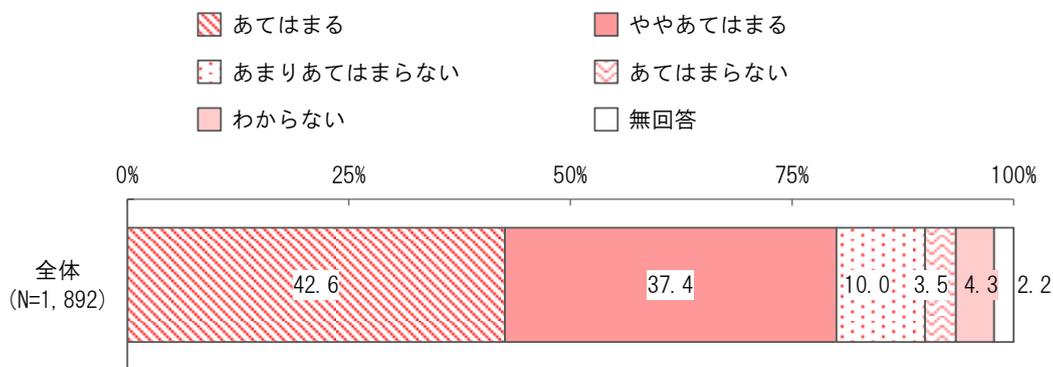
「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた“あてはまる”は61.5%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”は31.7%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、“あてはまる”が51.3%、“あてはまらない”が43.9%となっています。一方、非貧困層は、“あてはまる”が64.1%、“あてはまらない”が30.0%となっています。

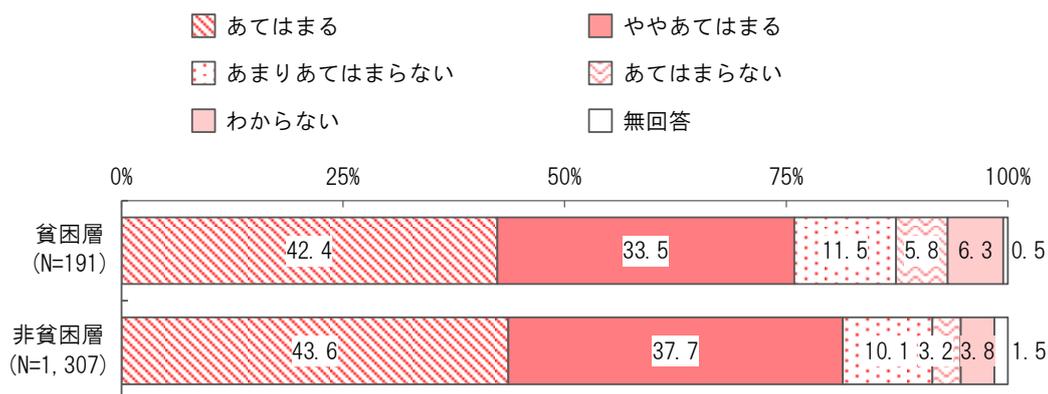
③ありのままの自分を認めてくれる人がいる



■ 全体でみると、ありのままの自分を認めてくれる人がいるは「あてはまる」42.6%が最も多く、以下「ややあてはまる」37.4%、「あまりあてはまらない」10.0%、「わからない」4.3%、「あてはまらない」3.5%となっています。

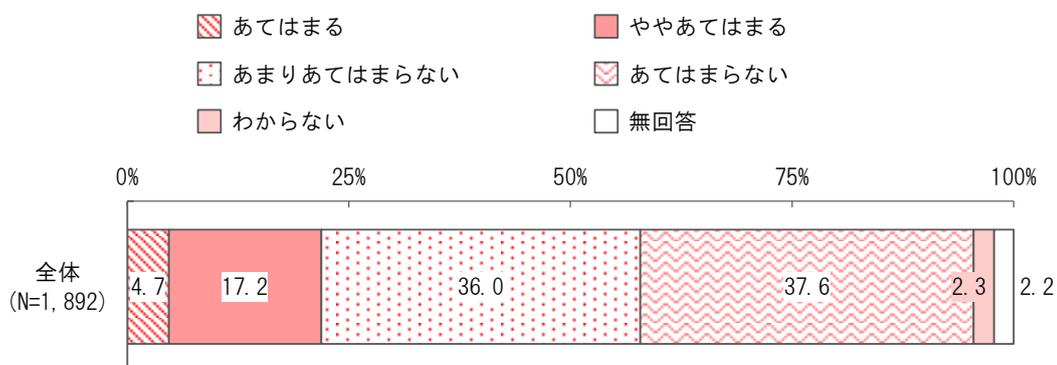
「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた“あてはまる”は80.0%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”は13.5%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、“あてはまる”が75.9%、“あてはまらない”が17.3%となっています。一方、非貧困層は、“あてはまる”が81.3%、“あてはまらない”が13.3%となっています。

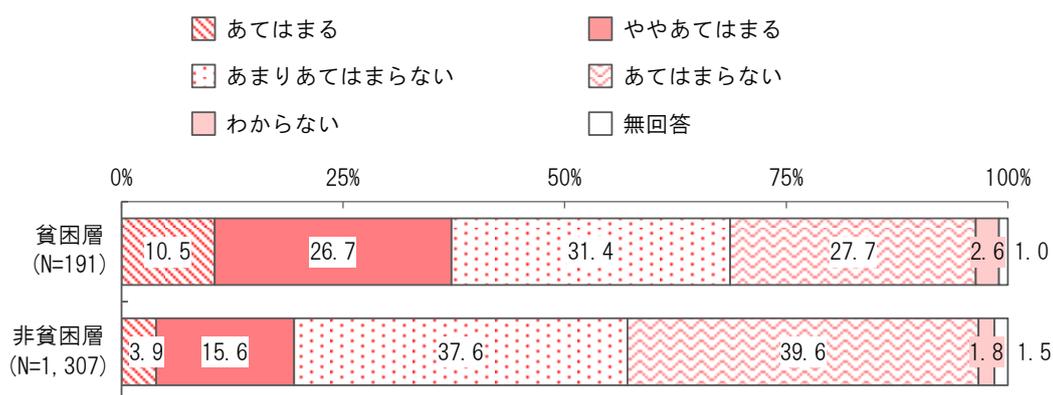
④今の生活はつらいことの方が多い



■ 全体でみると、今の生活はつらいことの方が多いは「あてはまらない」37.6%が最も多く、以下「あまりあてはまらない」36.0%、「ややあてはまる」17.2%、「あてはまる」4.7%、「わからない」2.3%となっています。

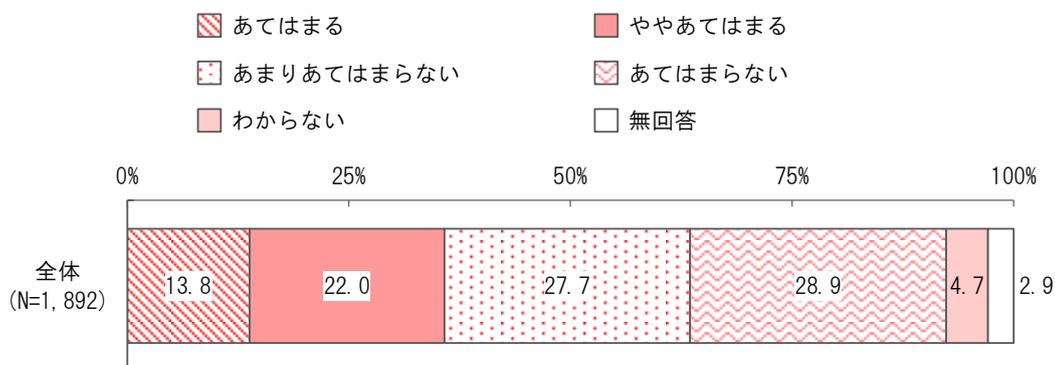
「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた“あてはまる”は21.9%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”は73.6%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、“あてはまる”が37.2%、“あてはまらない”が59.1%となっています。一方、非貧困層は、“あてはまる”が19.5%、“あてはまらない”が77.2%となっています。

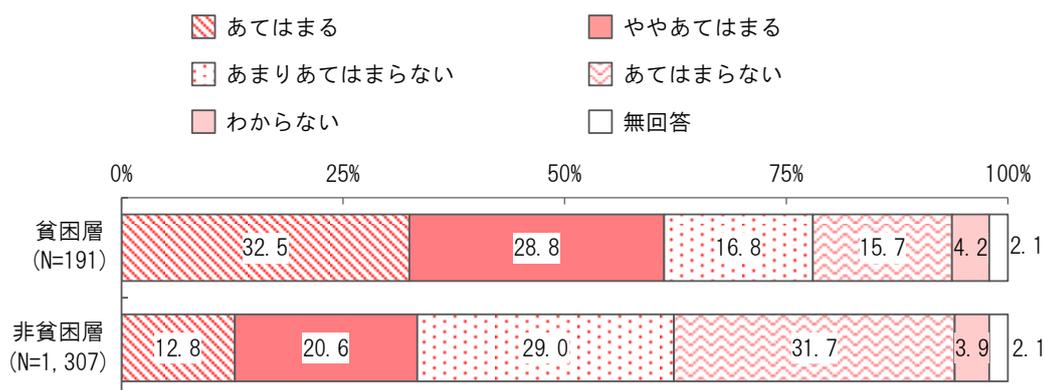
⑤働いても働いても生活が楽にならない



■全体でみると、働いても働いても生活が楽にならないは「あてはまらない」28.9%が最も多く、以下「あまりあてはまらない」27.7%、「ややあてはまる」22.0%、「あてはまる」13.8%、「わからない」4.7%となっています。

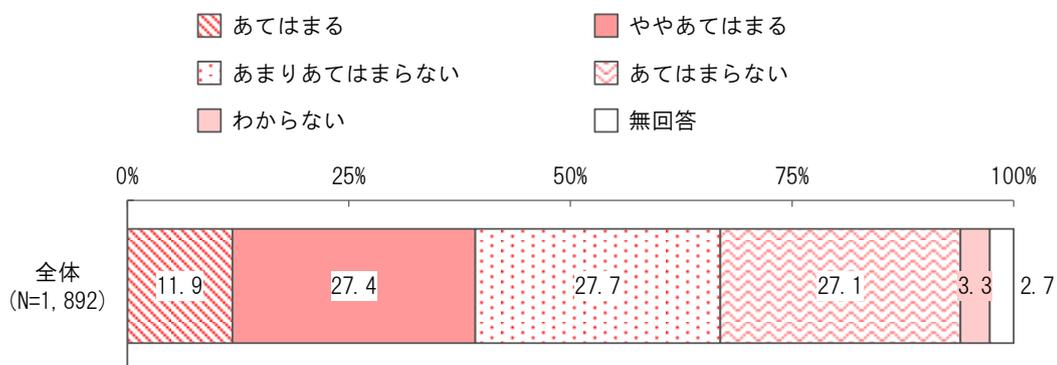
「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた“あてはまる”は35.8%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”は56.6%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



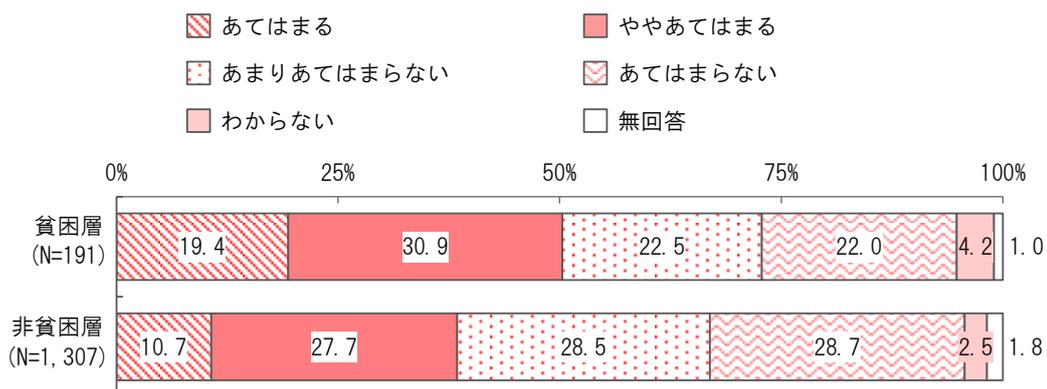
■子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、“あてはまる”が61.3%、“あてはまらない”が32.5%となっています。一方、非貧困層は、“あてはまる”が33.4%、“あてはまらない”が60.7%となっています。

⑥仕事と子育てで心身ともに余裕がない



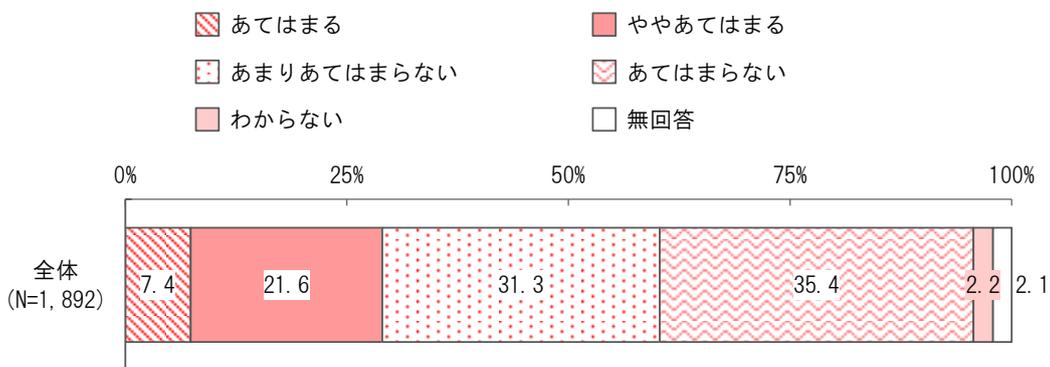
- 全体でみると、仕事と子育てで心身ともに余裕がないは「あまりあてはまらない」27.7%が最も多く、以下「ややあてはまる」27.4%、「あてはまらない」27.1%、「あてはまる」11.9%、「わからない」3.3%となっています。
- 「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた“あてはまる”は39.3%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”は54.8%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



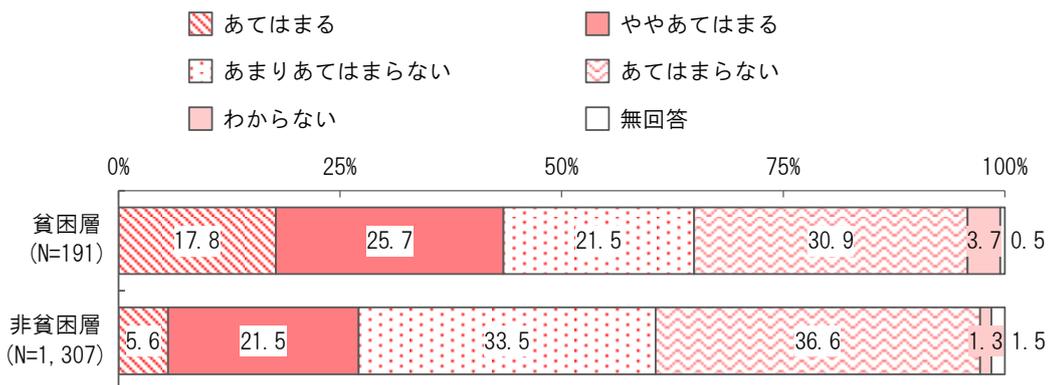
- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、“あてはまる”が50.3%、“あてはまらない”が44.5%となっています。一方、非貧困層は、“あてはまる”が38.4%、“あてはまらない”が57.2%となっています。

⑦ いろんなプレッシャーに押しつぶされそうな気持ちになる



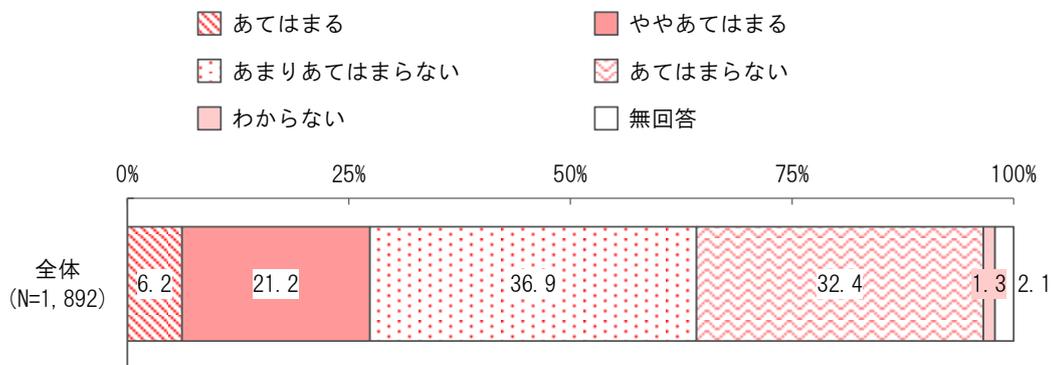
- 全体でみると、いろんなプレッシャーに押しつぶされそうな気持ちになるは「あてはまらない」35.4%が最も多く、以下「あまりあてはまらない」31.3%、「ややあてはまる」21.6%、「あてはまる」7.4%、「わからない」2.2%となっています。
 「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた“あてはまる”は29.0%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”は66.7%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、“あてはまる”が43.5%、“あてはまらない”が52.4%となっています。一方、非貧困層は、“あてはまる”が27.1%、“あてはまらない”が70.1%となっています。

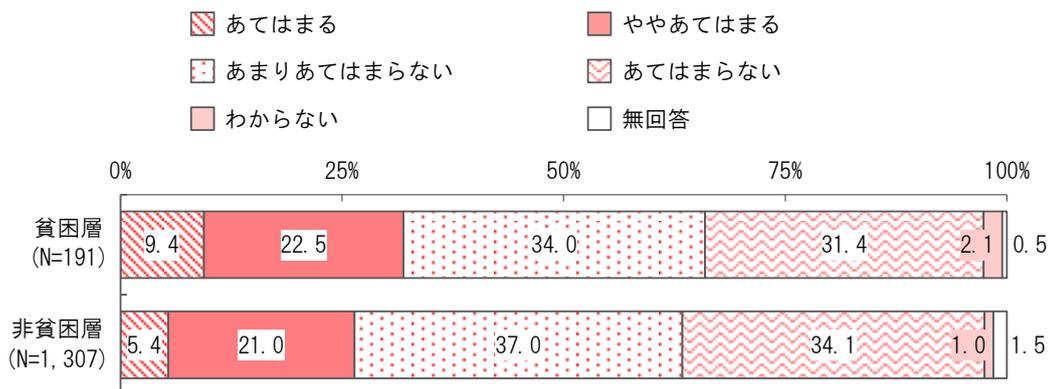
⑧いつもまわりの人の目が気になる



■ 全体で見ると、いつもまわりの人の目が気になるは「あまりあてはまらない」36.9%が最も多く、以下「あてはまらない」32.4%、「ややあてはまる」21.2%、「あてはまる」6.2%となっています。

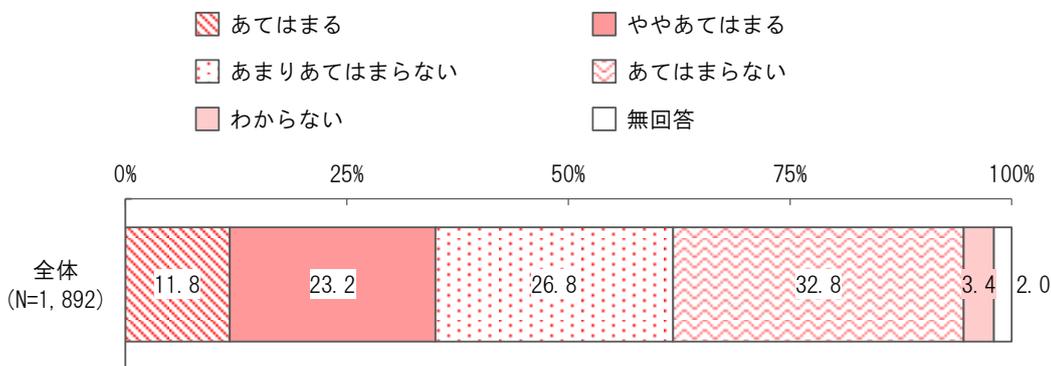
「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた“あてはまる”は27.4%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”は69.3%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



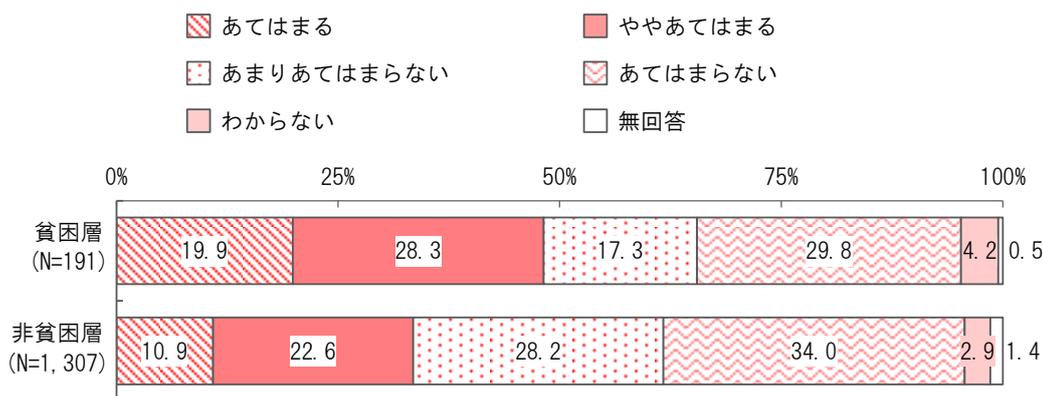
■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、“あてはまる”が31.9%、“あてはまらない”が65.4%となっています。一方、非貧困層は、“あてはまる”が26.4%、“あてはまらない”が71.1%となっています。

⑨どこまでがんばればよいのかわからない



- 全体でみると、どこまでがんばればよいのかわからないは「あてはまらない」32.8%が最も多く、以下「あまりあてはまらない」26.8%、「ややあてはまる」23.2%、「あてはまる」11.8%、「わからない」3.4%となっています。
- 「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた“あてはまる”は35.0%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”は59.6%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■

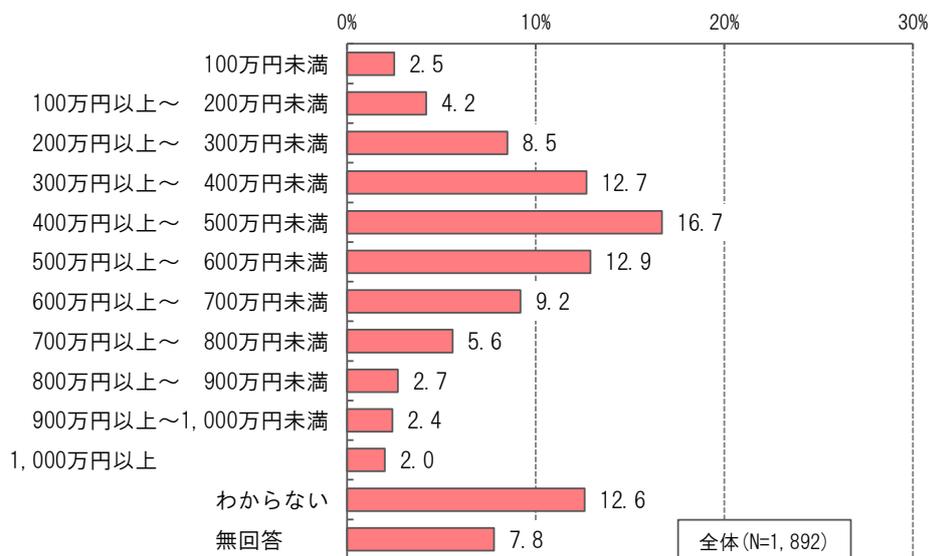


- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、“あてはまる”が48.2%、“あてはまらない”が47.1%となっています。一方、非貧困層は、“あてはまる”が33.5%、“あてはまらない”が62.2%となっています。

5 経済的な状況について

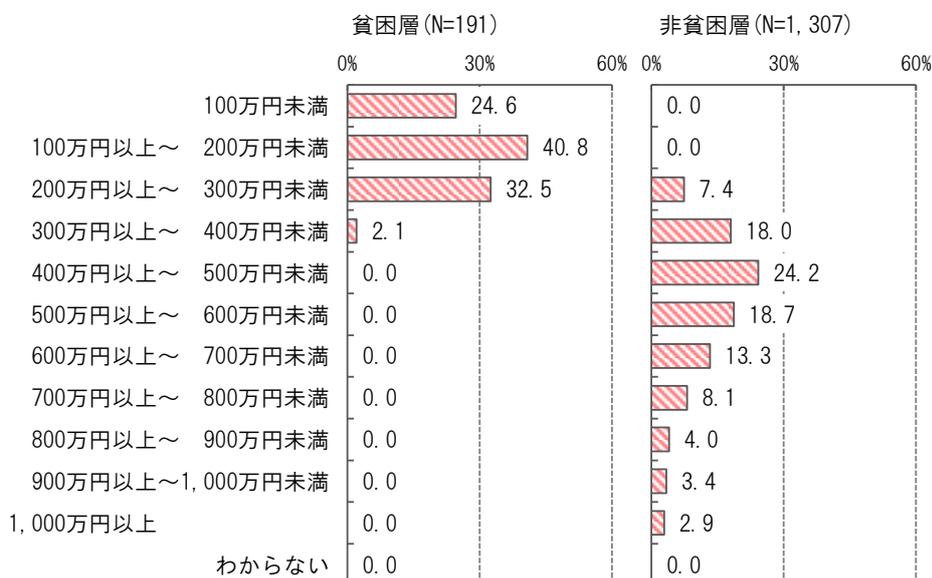
(35) 世帯の手取り収入

問 28 前年（平成 28 年）のあなたの世帯の手取り収入（いわゆる可処分所得）の合計額は、およそいくらでしたか。世帯の収入から、税金や社会保険料の額を差し引いた後の額で教えてください。（1つだけに○）

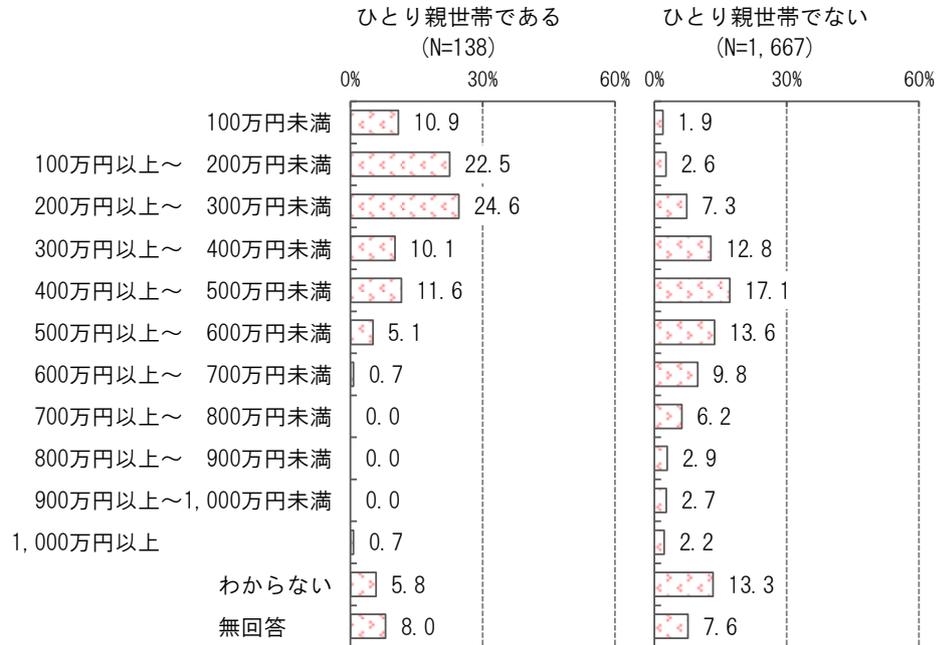


- 全体で見ると、世帯の手取り収入は「400 万円以上～500 万円未満」16.7%が最も多く、以下「500 万円以上～600 万円未満」12.9%、「300 万円以上～400 万円未満」12.7%、「600 万円以上～700 万円未満」9.2%となっています。

■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



■世帯状況別■

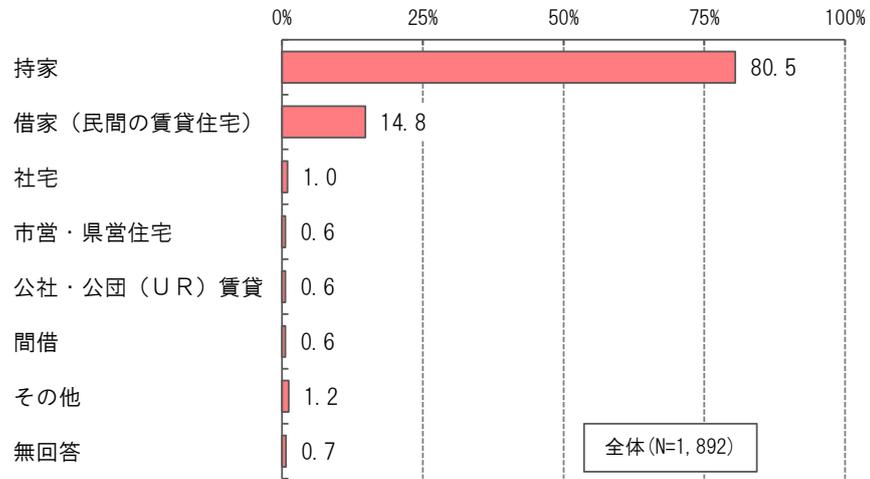


■子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「100万円以上～200万円未満」40.8%が最も多く、以下「200万円以上～300万円未満」32.5%、「100万円未満」24.6%となっています。一方、非貧困層は、「400万円以上～500万円未満」24.2%が最も多く、以下「500万円以上～600万円未満」18.7%、「300万円以上～400万円未満」18.0%となっています。

■世帯状況別で見ると、ひとり親世帯であるは、「200万円以上～300万円未満」24.6%が最も多く、以下「100万円以上～200万円未満」22.5%、「400万円以上～500万円未満」11.6%となっています。一方、ひとり親世帯でないは、「400万円以上～500万円未満」17.1%が最も多く、以下「500万円以上～600万円未満」13.6%、「300万円以上～400万円未満」12.8%となっています。

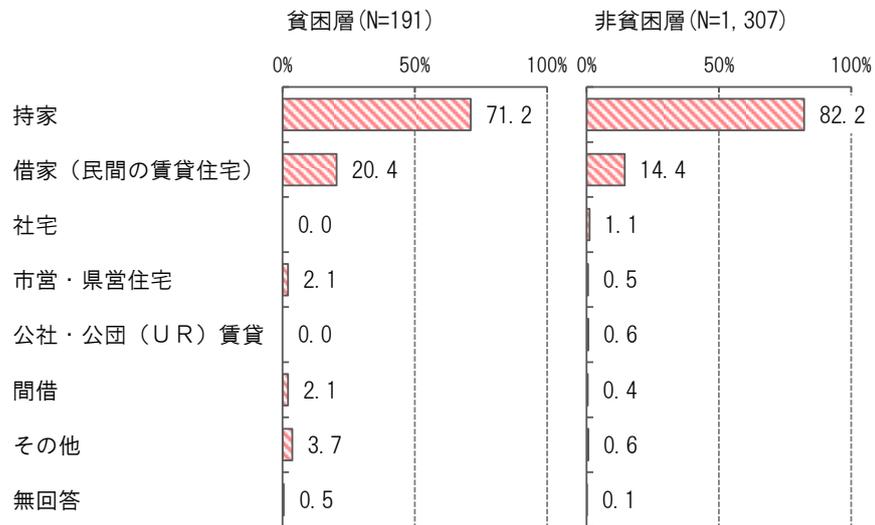
(36) 住居

問 29 あなたのお住まいについてお答えください。(1つだけに○)



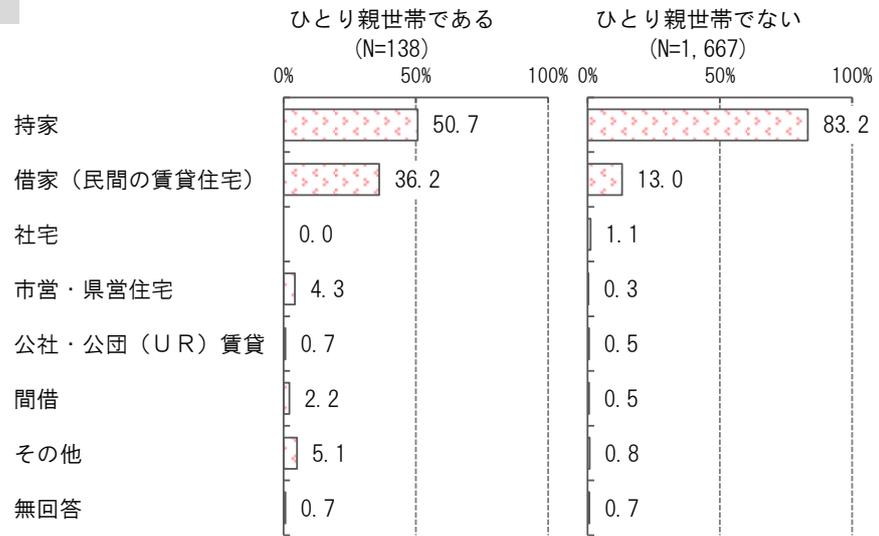
■ 全体で見ると、住居は「持家」80.5%が最も多く、以下「借家 (民間の賃貸住宅)」14.8%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「持家」71.2%が非貧困層と比べて少なく、「借家 (民間の賃貸住宅)」20.4%はやや多い傾向がみられます。

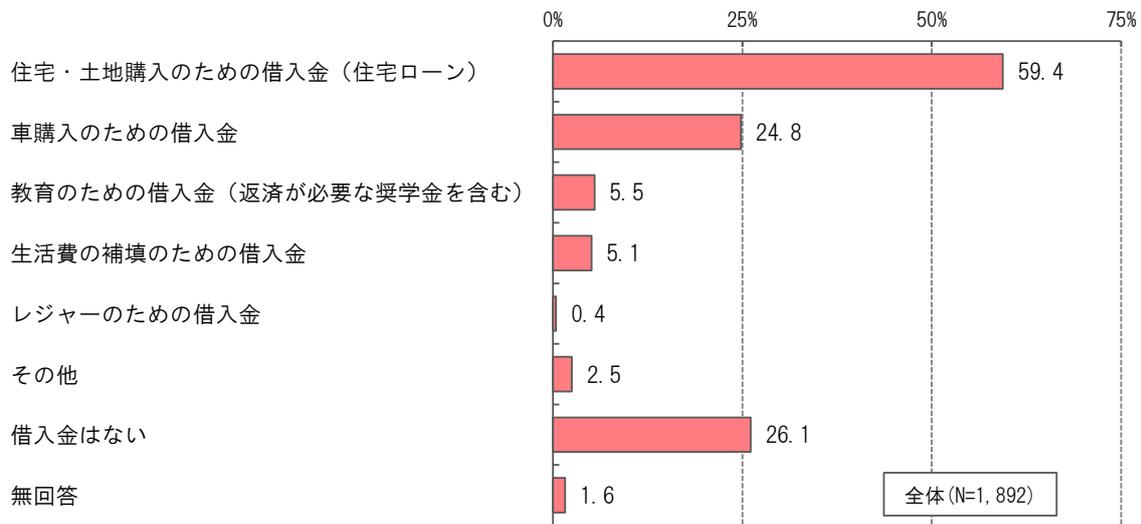
■世帯状況別■



■世帯状況別で見ると、ひとり親世帯であるは、「持家」50.7%がひとり親世帯でないと比べて少なく、「借家 (民間の賃貸住宅)」36.2%や「市営・県営住宅」4.3%はやや多い傾向がみられます。

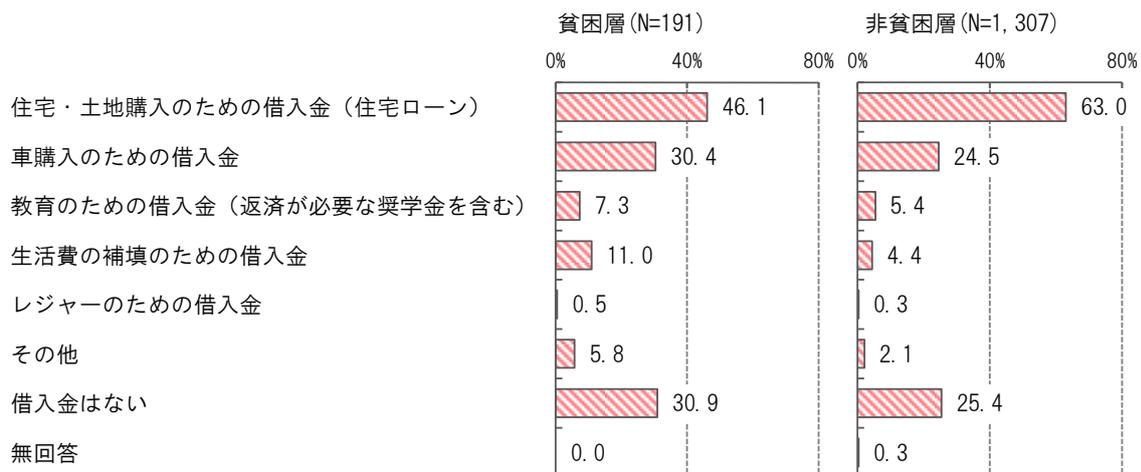
(37) 借入金の種類

問 30 あなたの世帯では、どのような借入金がありますか。(あてはまるものすべてに○)



■ 全体でみると、借入金の種類は「住宅・土地購入のための借入金 (住宅ローン)」59.4%が最も多く、以下「車購入のための借入金」24.8%、「教育のための借入金 (返済が必要な奨学金を含む)」5.5%、「生活費の補填のための借入金」5.1%となっています。一方、「借入金はない」は26.1%となっています。

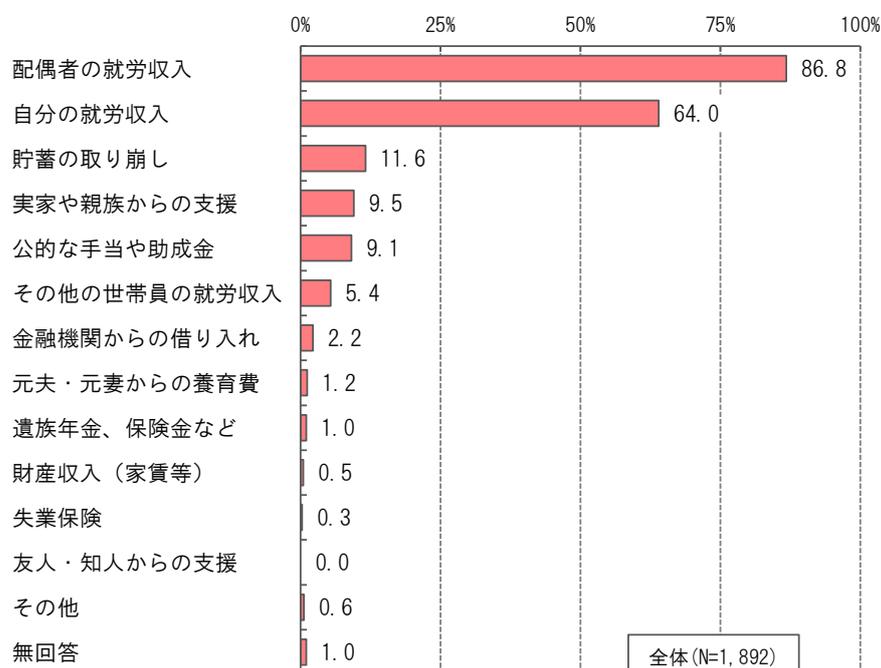
■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「住宅・土地購入のための借入金 (住宅ローン)」46.1%が非貧困層と比べて少なく、「車購入のための借入金」30.4%や「生活費の補填のための借入金」11.0%はやや多い傾向がみられます。

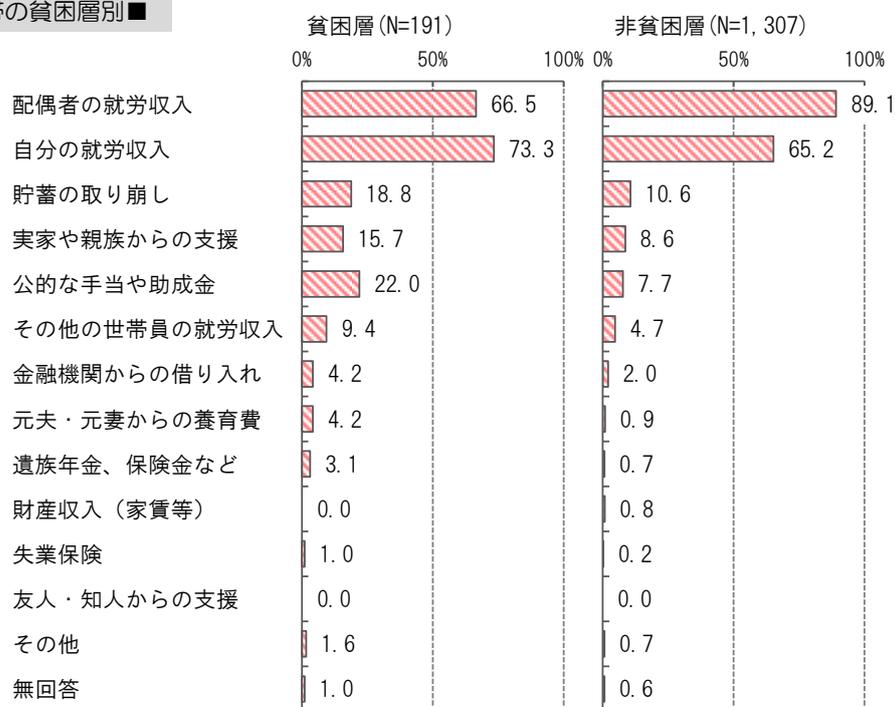
(38) 現在生活をまかなっているもの

問 31 あなたの生活は、現在、何でまかなわれていますか。(あてはまるものすべてに○)



■ 全体で見ると、現在生活をまかなっているものは「配偶者の就労収入」86.8%が最も多く、以下「自分の就労収入」64.0%、「貯蓄の取り崩し」11.6%、「実家や親族からの支援」9.5%、「公的な手当や助成金」9.1%となっています。

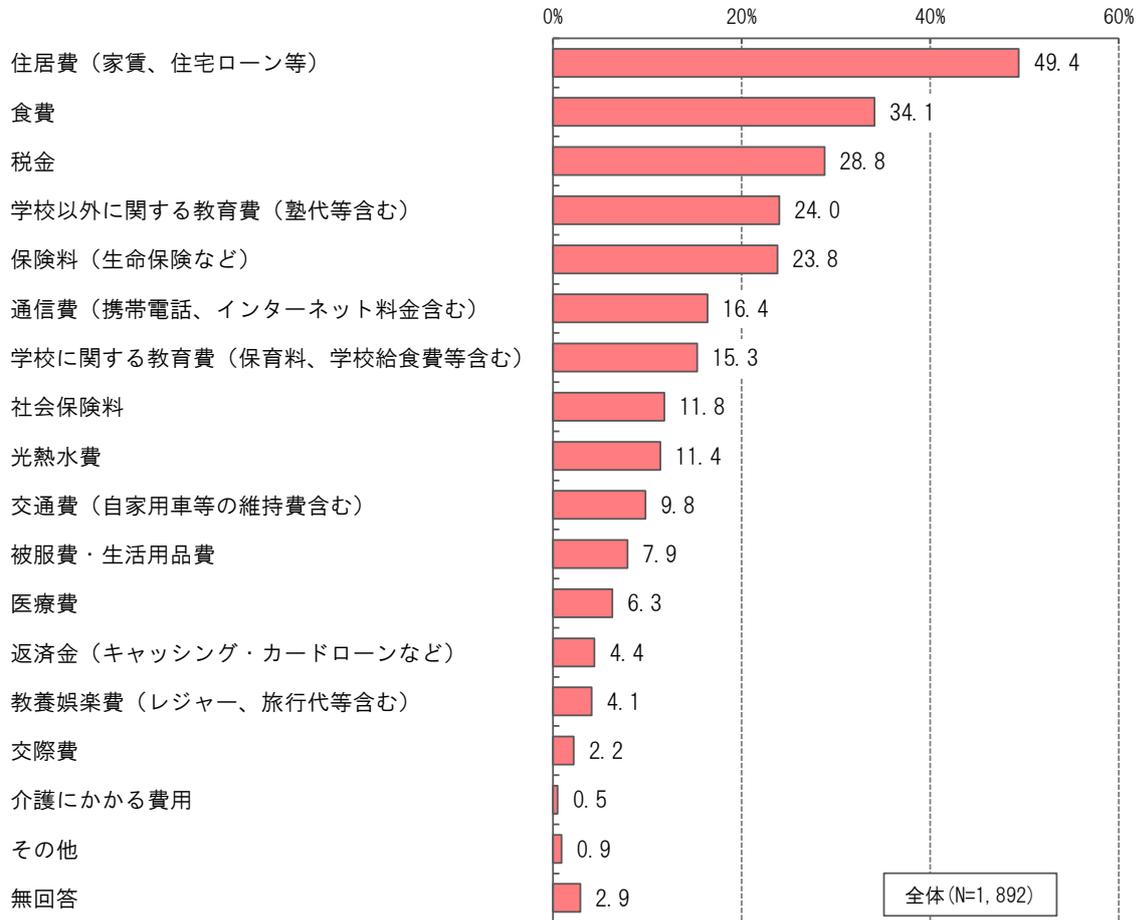
■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「自分の就労収入」73.3%が最も多くなっています。非貧困層と比べて「配偶者の就労収入」が少なく、「自分の就労収入」、「貯蓄の取り崩し」、「実家や親族からの支援」、「公的な手当や助成金」、「その他の世帯員の就労収入」は多い傾向がみられます。

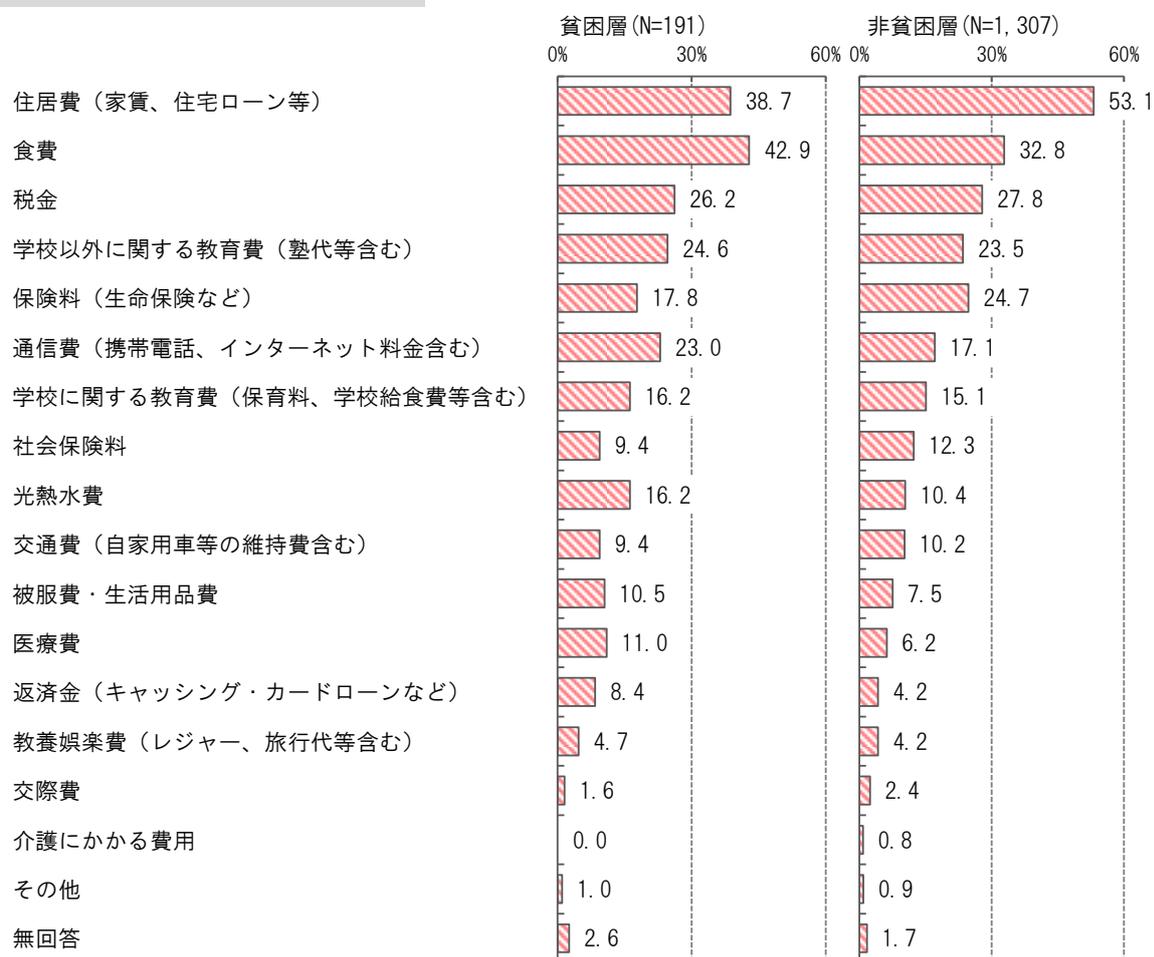
(39) 家計において負担を感じる経費

問 32 家計において負担を感じる経費は何ですか。(○は3つまで)



- 全体で見ると、家計において負担を感じる経費は「住居費 (家賃、住宅ローン等)」49.4%が最も多く、以下「食費」34.1%、「税金」28.8%、「学校以外に関する教育費 (塾代等含む)」24.0%、「保険料 (生命保険など)」23.8%となっています。

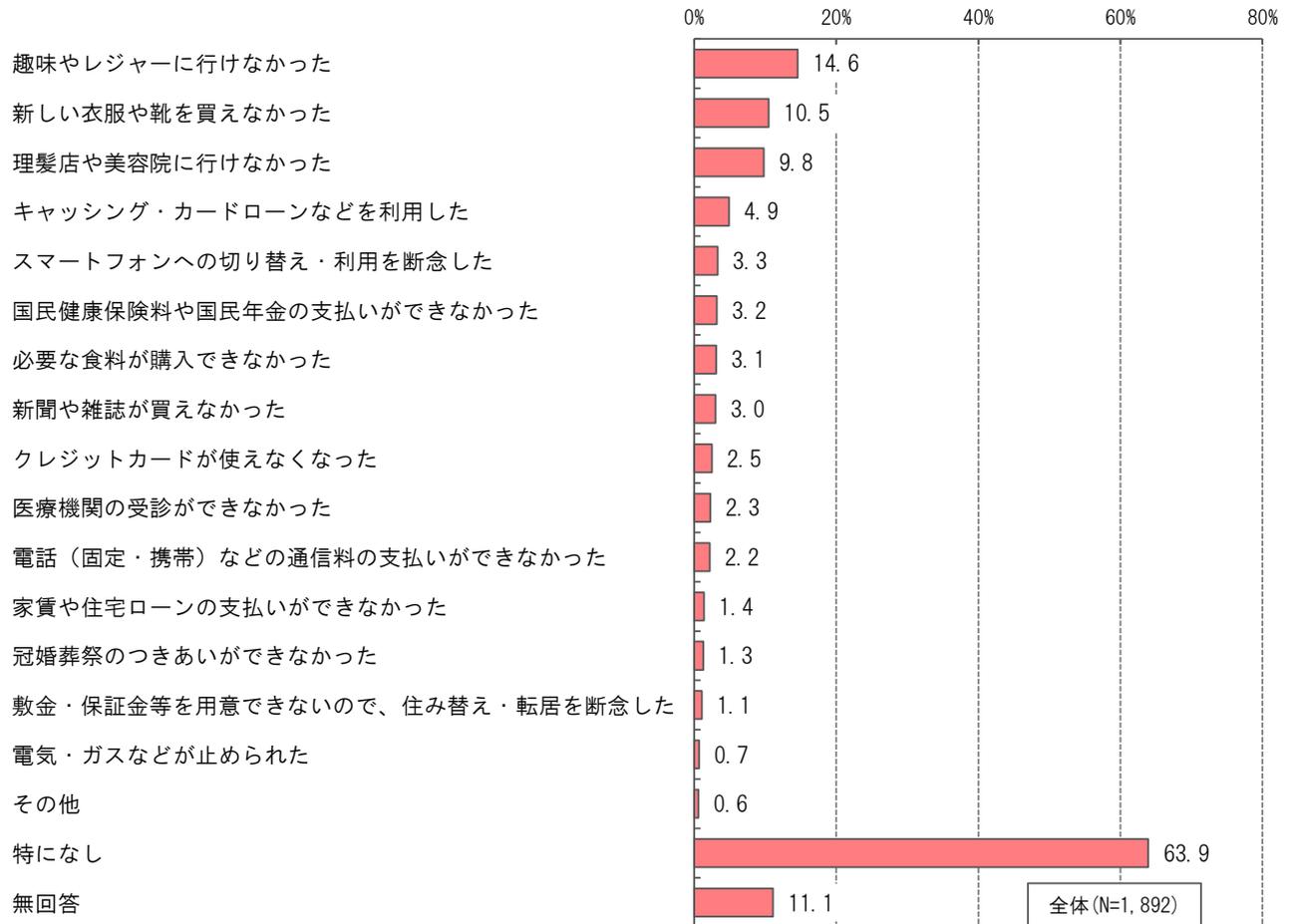
■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「食費」42.9%が最も多く、以下「住居費 (家賃、住宅ローン等)」38.7%、「税金」26.2%、「学校以外に関する教育費 (塾代等含む)」24.6%、「通信費 (携帯電話、インターネット料金含む)」23.0%となっています。非貧困層と比べて「住居費 (家賃、住宅ローン等)」や「保険料 (生命保険など)」がやや少なく、「食費」、「通信費 (携帯電話、インターネット料金含む)」、「光熱水費」、「医療費」はやや多い傾向がみられます。

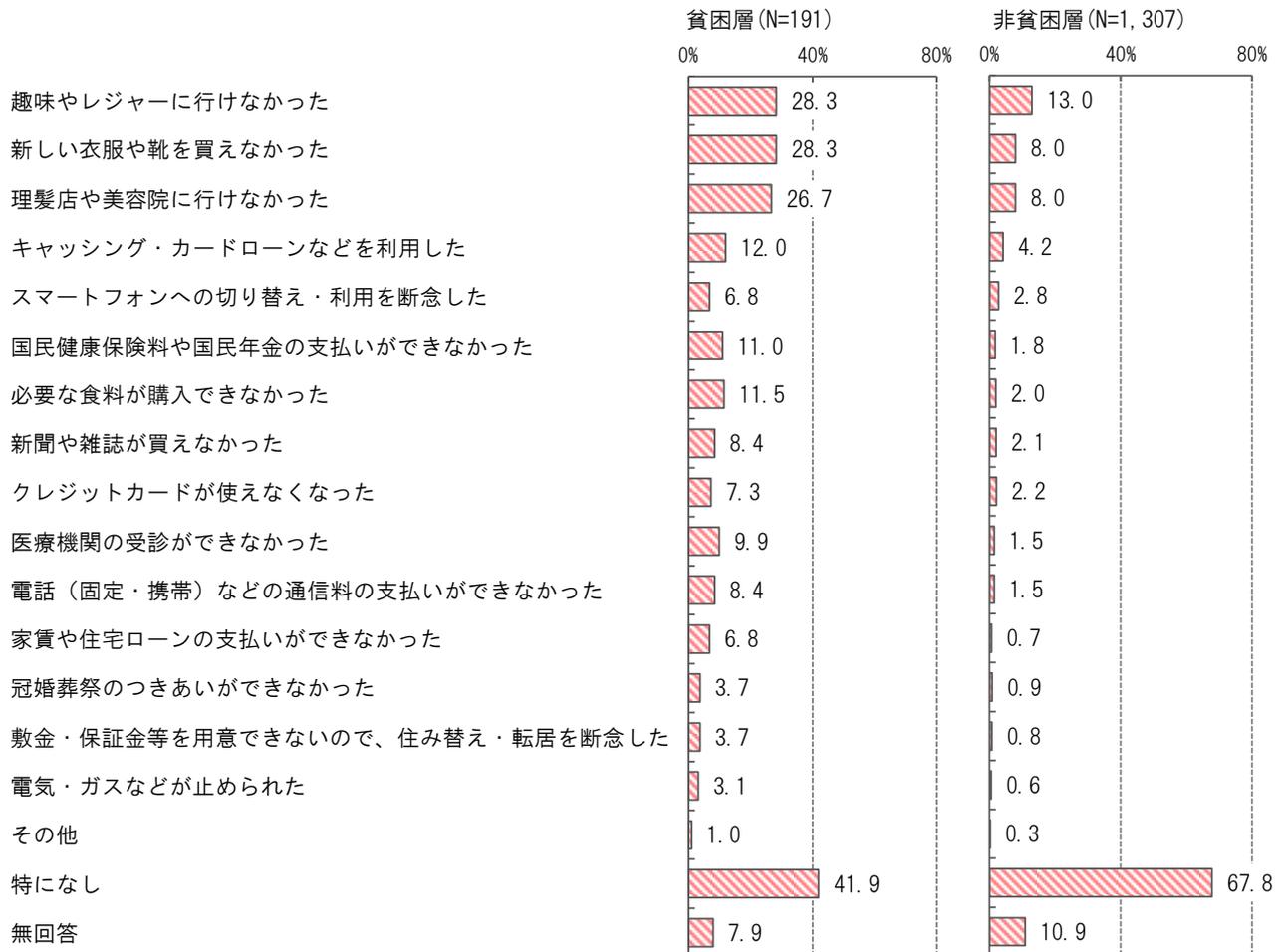
(40) おおむね半年の間に、経済的な理由で経験したものの

問 33 あなたの世帯では、おおむね半年の間に、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



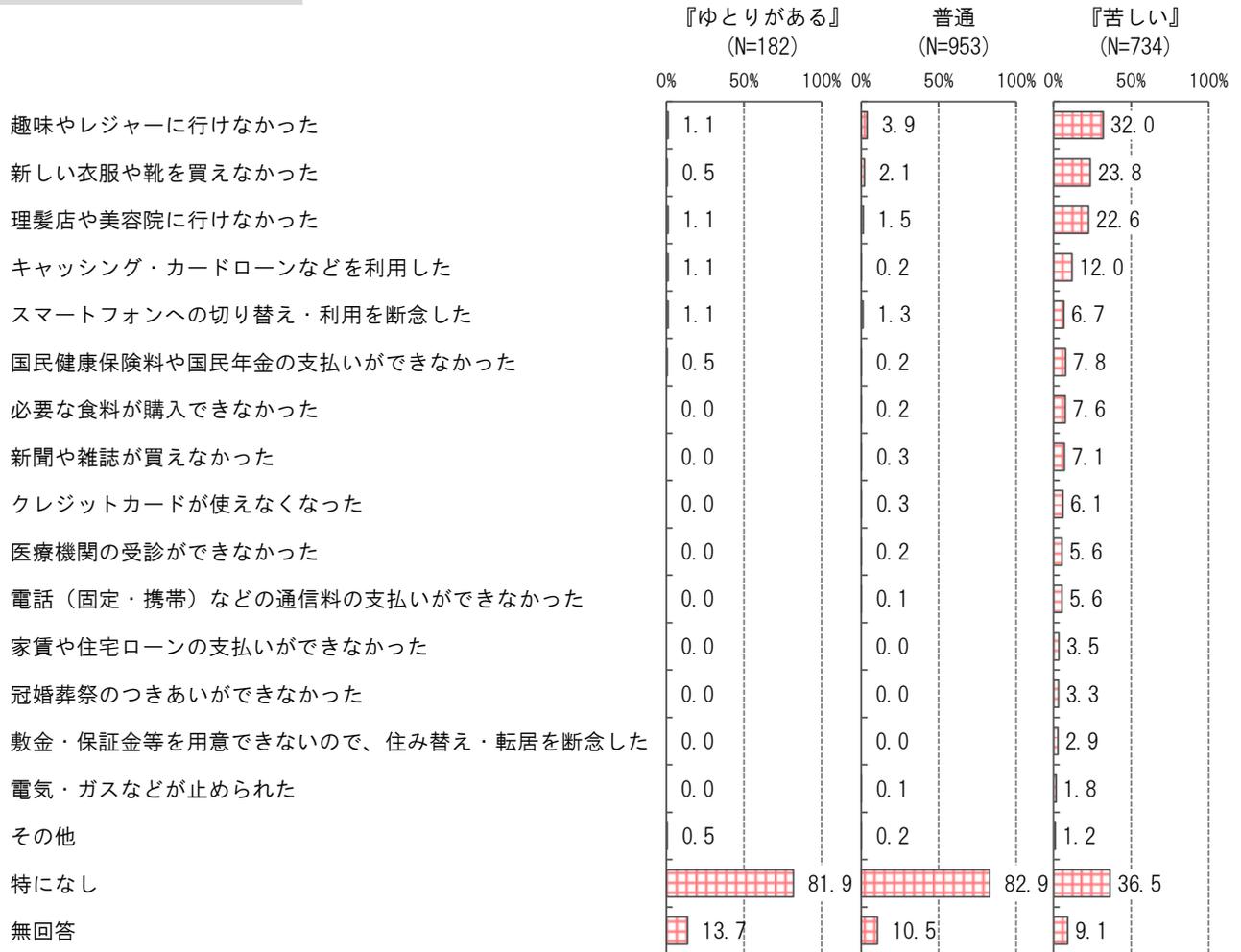
■ 全体で見ると、おおむね半年の間に、経済的な理由で経験したものは「趣味やレジャーに行けなかった」14.6%が多く、以下「新しい衣服や靴を買えなかった」10.5%、「理髪店や美容院に行けなかった」9.8%となっています。一方、「特になし」は63.9%となっています。

■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■子どもがいる現役世帯の貧困層別で見ると、貧困層は、「特になし」41.9%が非貧困層と比べて少ない傾向がみられます。また、経済的な理由で経験したものすべてにおいて非貧困層よりも多く、「趣味やレジャーに行けなかった」、「新しい衣服や靴を買えなかった」、「理髪店や美容院に行けなかった」は、いずれも2割を超えています。

■経済的状況別■

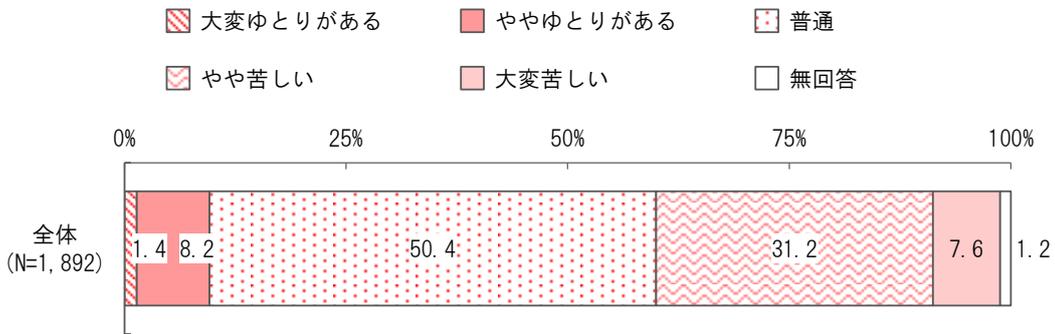


※『ゆとりがある』は、問 34 現在の暮らしの経済的状況で、「大変ゆとりがある」または「ややゆとりがある」と回答した人。『苦しい』は、「やや苦しい」または「大変苦しい」と回答した人。

■経済的状況別でみると、『ゆとりがある』や普通は、「特になし」が8割を超えています。一方、『苦しい』は、「特になし」が少なくなっています。経済的な理由で経験したもののなかでは「趣味やレジャーに行けなかった」32.0%、「新しい衣服や靴を買えなかった」23.8%、「理髪店や美容院に行けなかった」22.6%が多くなっています。

(41) 現在の暮らしの経済的状況

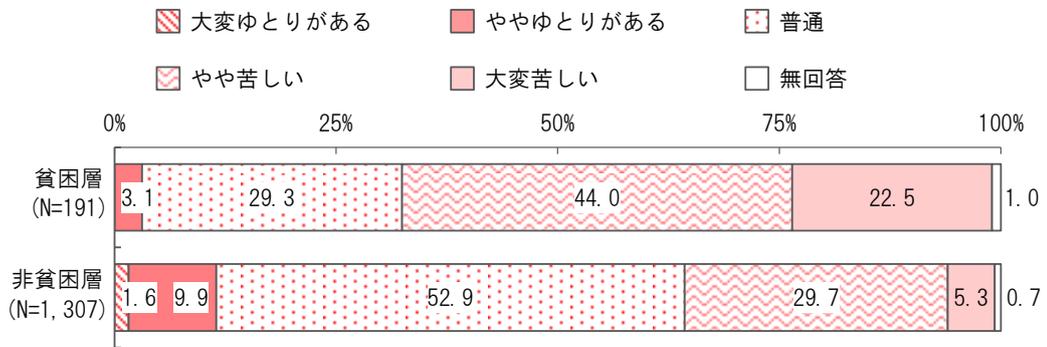
問 34 現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。(1つだけに○)



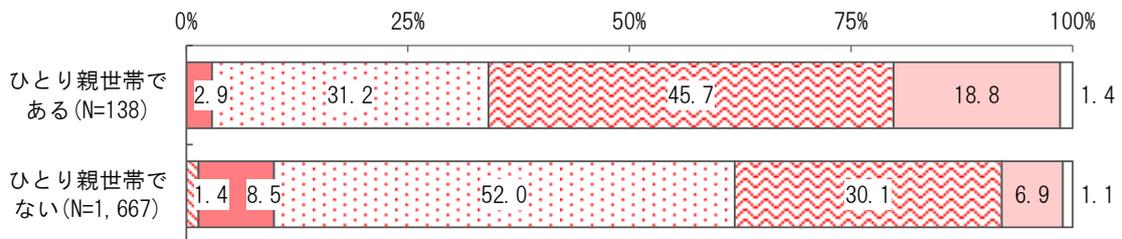
■ 全体で見ると、現在の暮らしの経済的状況は「普通」50.4%が最も多く、以下「やや苦しい」31.2%、「ややゆとりがある」8.2%、「大変苦しい」7.6%、「大変ゆとりがある」1.4%となっています。

「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”は9.6%、「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた“苦しい”は38.8%となっています。

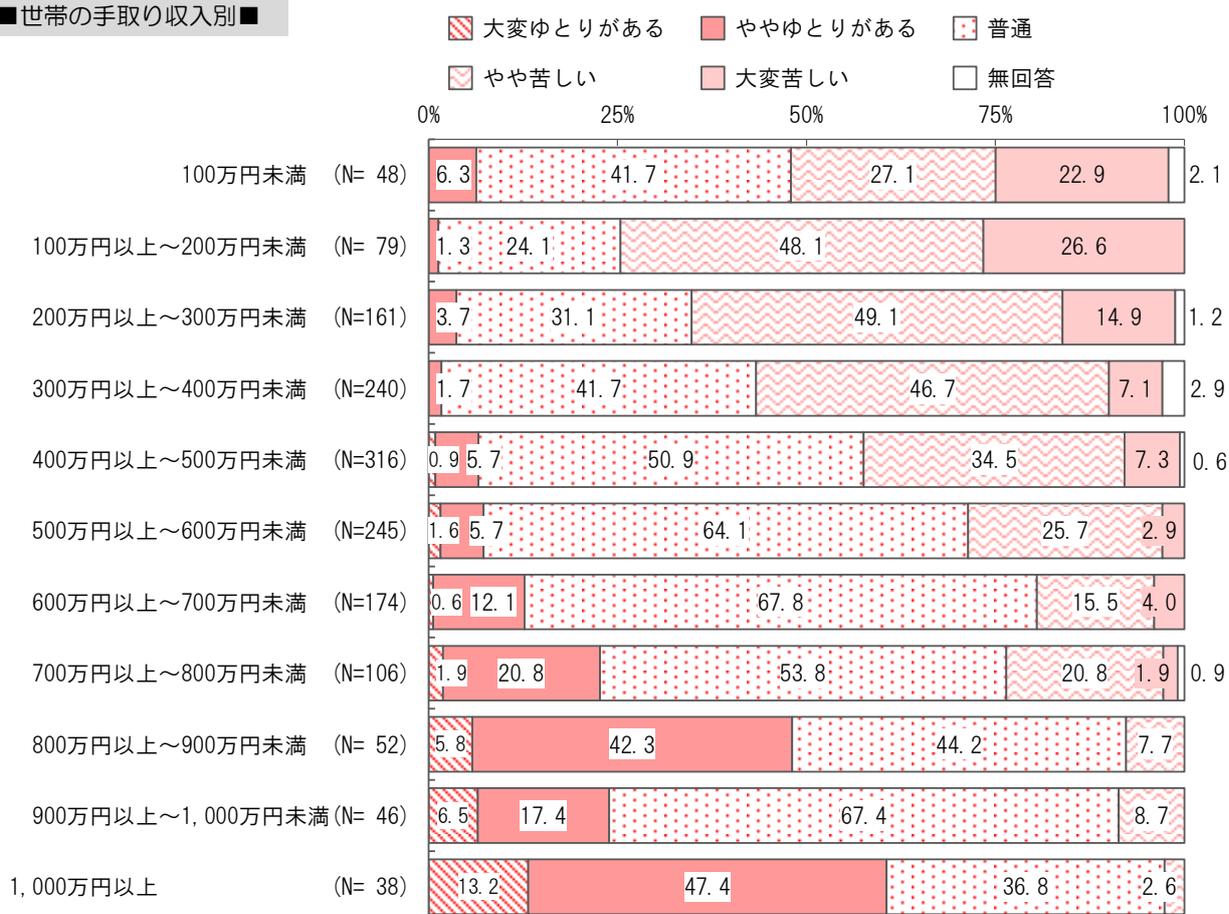
■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別 ■



■ 世帯状況別 ■



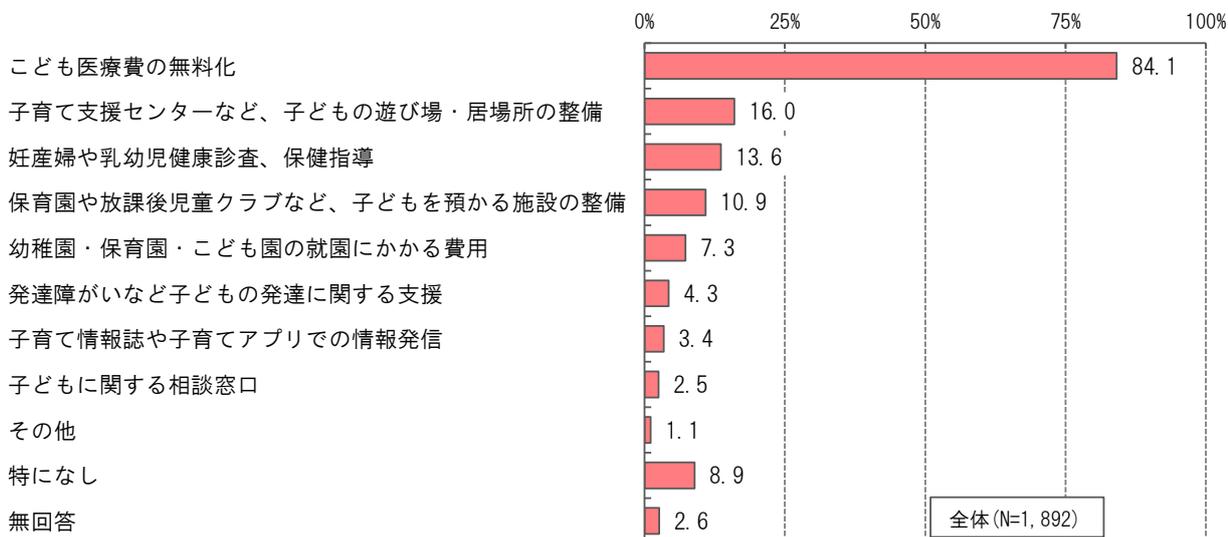
■世帯の手取り収入別■



- 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、“苦しい”が66.5%となっています。一方、非貧困層は、「普通」が52.9%と半数を超え、“苦しい”は35.0%となっています。
- 世帯状況別でみると、ひとり親世帯であるは、“苦しい”が64.5%となっています。一方、ひとり親世帯でないは、「普通」が52.0%と半数を超え、“苦しい”は37.0%となっています。
- 世帯の手取り収入別でみると、100万円以上～200万円未満は、“苦しい”が74.7%、200万円以上～300万円未満は64.0%、300万円以上～400万円未満は53.8%となっており、手取り収入が400万円未満の世帯で“苦しい”が半数を超えています。手取り収入が400万円以上～800万円未満になると「普通」が半数を占め、手取り収入が上がるほど“ゆとりがある”が多くなる傾向がみられます。

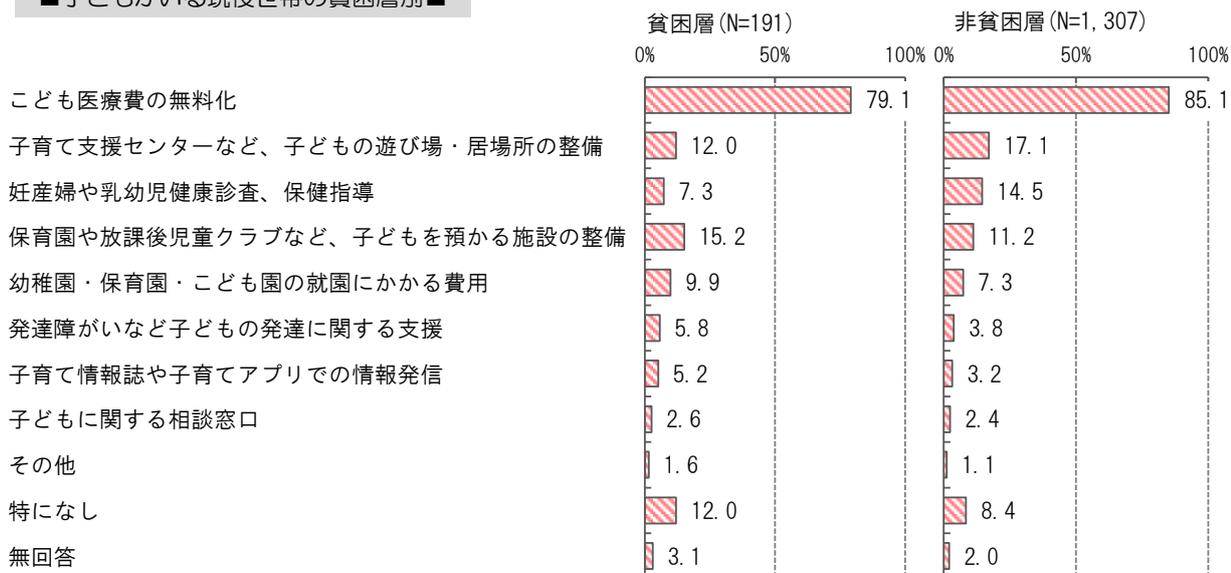
(42) 満足度の高い磐田市の子育て支援等サービス

問 35 磐田市で行っている子育てや子育て世帯に対する支援等について、あなたの満足度の高いサービスを選んでください。(〇は3つまで)



■ 全体でみると、満足度の高い磐田市の子育て支援等サービスは「こども医療費の無料化」84.1%が最も多く、以下「子育て支援センターなど、子どもの遊び場・居場所の整備」16.0%、「妊産婦や乳幼児健康診査、保健指導」13.6%、「保育園や放課後児童クラブなど、子どもを預かる施設の整備」10.9%となっています。

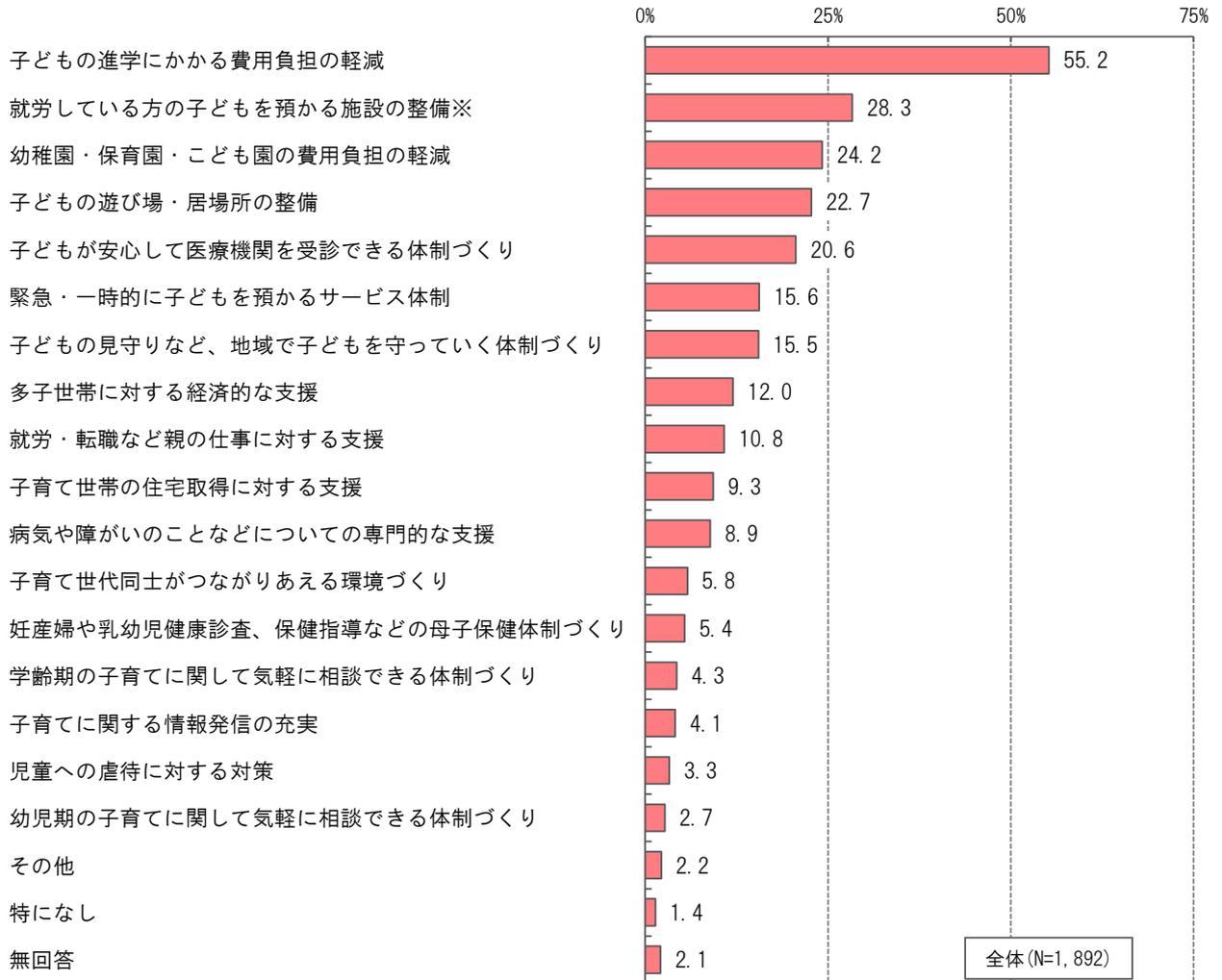
■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



■ 子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「こども医療費の無料化」79.1%、「子育て支援センターなど、子どもの遊び場・居場所の整備」12.0%、「妊産婦や乳幼児健康診査、保健指導」7.3%が非貧困層と比べてやや少なく、「保育園や放課後児童クラブなど、子どもを預かる施設の整備」15.2%はやや多い傾向がみられます。

(43) 子育てや子育て世帯に必要なまたは重要度の高いと思う支援

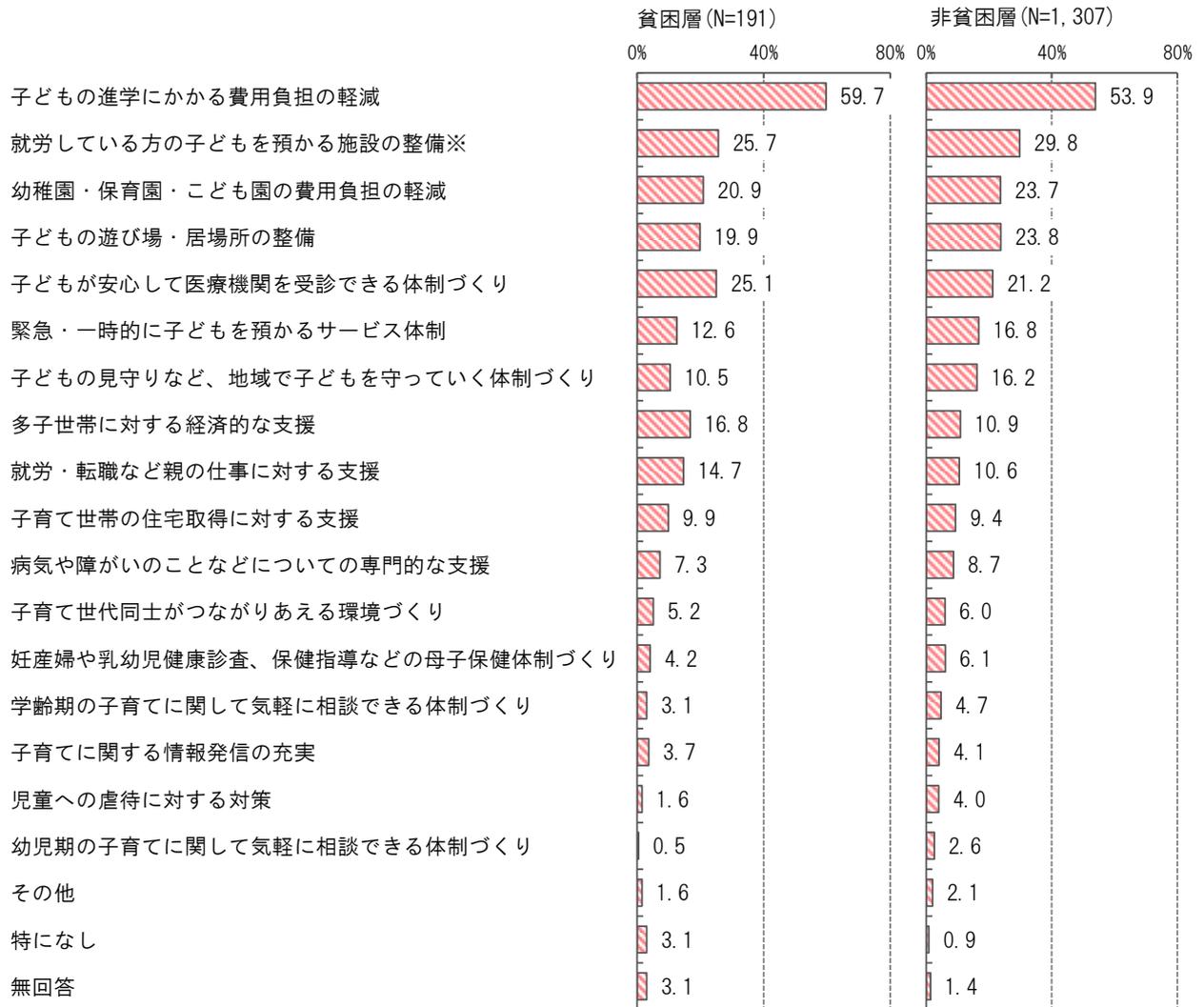
問 36 子育てや子育て世帯に必要なまたは重要と思う支援は何だと思いますか。重要度の高いと思うものを選んでください。(〇は3つまで)



※選択肢省略：(保育園や放課後児童クラブなど、) 就労している方の子どもを預かる施設の整備

- 全体で見ると、子育てや子育て世帯に必要なまたは重要度の高いと思う支援は「子どもの進学にかかる費用負担の軽減」55.2%が最も多く、以下「保育園や放課後児童クラブなど、就労している方の子どもを預かる施設の整備」28.3%、「幼稚園・保育園・こども園の費用負担の軽減」24.2%、「子どもの遊び場・居場所の整備」22.7%、「子どもが安心して医療機関を受診できる体制づくり」20.6%となっています。

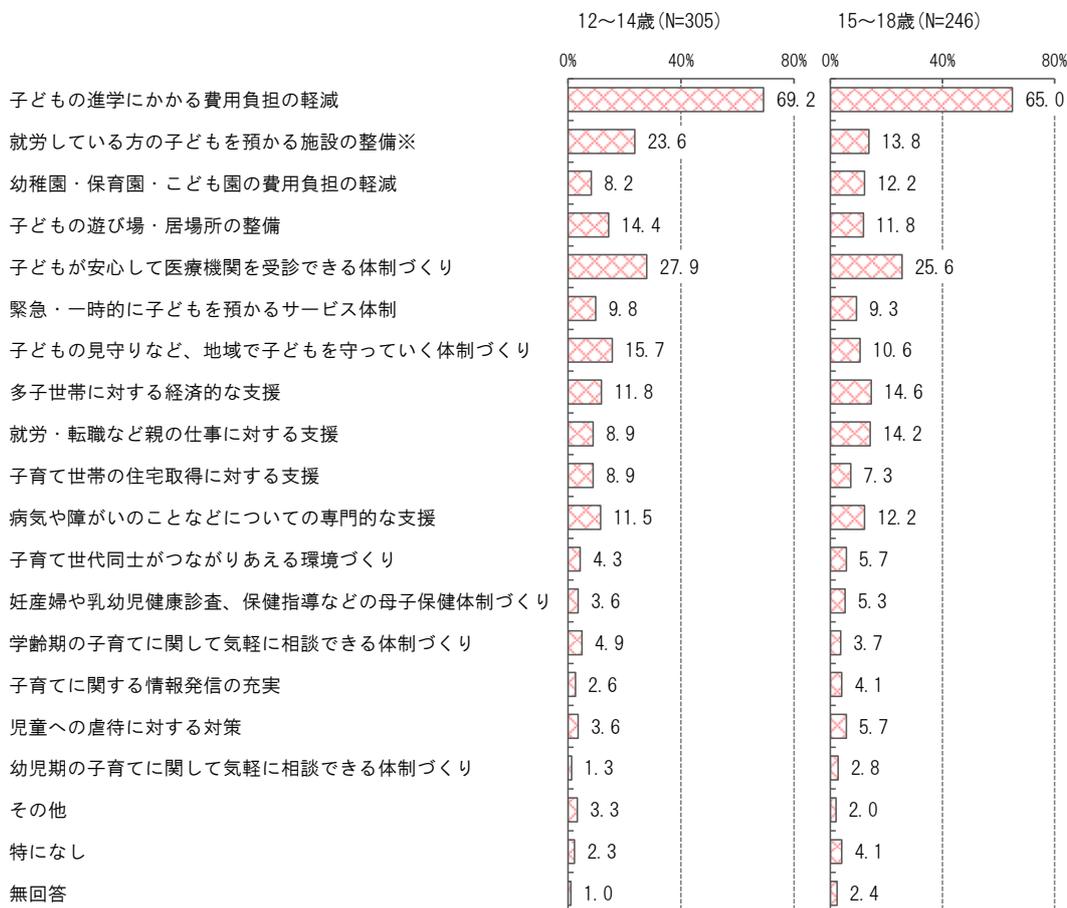
■子どもがいる現役世帯の貧困層別■



※選択肢省略：(保育園や放課後児童クラブなど) 就労している方の子どもを預かる施設の整備

■子どもがいる現役世帯の貧困層別でみると、貧困層は、「子どもの進学にかかる費用負担の軽減」59.7%や「多子世帯に対する経済的な支援」16.8%が非貧困層と比べてやや多く、「子どもの見守りなど、地域で子どもを守っていく体制づくり」10.5%はやや少ない傾向がみられます。

■子どもの年齢別■



※選択肢省略：(保育園や放課後児童クラブなど、) 就労している方の子どもを預かる施設の整備

【再掲】子どもの年齢別 上位5項目

単位：(%)

		1位	2位	3位	4位	5位
0～2歳	調査数(人)	幼稚園・保育園・こども園の費用負担の軽減	子どもの進学にかかる費用負担の軽減	就労している方の子どもを預かる施設の整備※	子どもの遊び場・居場所の整備	緊急・一時的に子どもを預かるサービス体制
	349	45.6	38.7	37.2	29.2	21.5
3～5歳	調査数(人)	子どもの進学にかかる費用負担の軽減	幼稚園・保育園・こども園の費用負担の軽減	就労している方の子どもを預かる施設の整備※	子どもの遊び場・居場所の整備	緊急・一時的に子どもを預かるサービス体制
	316	44.0	39.2	34.2	30.4	21.8
6～11歳	調査数(人)	子どもの進学にかかる費用負担の軽減	就労している方の子どもを預かる施設の整備※	子どもの遊び場・居場所の整備	子どもが安心して医療機関を受診できる体制づくり	子どもの見守りなど、地域で子どもを守っていく体制づくり
	647	59.4	28.6	24.0	23.3	18.9
12～14歳	調査数(人)	子どもの進学にかかる費用負担の軽減	子どもが安心して医療機関を受診できる体制づくり	就労している方の子どもを預かる施設の整備※	子どもの見守りなど、地域で子どもを守っていく体制づくり	子どもの遊び場・居場所の整備
	305	69.2	27.9	23.6	15.7	14.4
15～18歳	調査数(人)	子どもの進学にかかる費用負担の軽減	子どもが安心して医療機関を受診できる体制づくり	多子世帯に対する経済的な支援	就労・転職など親の仕事に対する支援	就労している方の子どもを預かる施設の整備※
	246	65.0	25.6	14.6	14.2	13.8

※選択肢省略：(保育園や放課後児童クラブなど) 就労している方の子どもを預かる施設の整備
表内の網掛けは、全体で1番多い項目

- 子どもの年齢別でみると、5歳以下は、「幼稚園・保育園・こども園の費用負担の軽減」や「子どもの進学にかかる費用負担の軽減」の順位が高く、いずれも約4割を占めています。また、他の年齢と比べて「緊急・一時的に子どもを預かるサービス体制」が多い傾向がみられます。6歳以上は、「子どもの進学にかかる費用負担の軽減」が5割を超えており、12～14歳では69.2%と約7割を占めています。また、年齢が上がるほど「子どもが安心して医療機関を受診できる体制づくり」の順位が高く、12歳以上では2位となっています。

Ⅲ 調査のまとめ

調査結果のまとめ

(1) 子どもの貧困率について

本調査においては、2ページに記載の通り、平成23年度「親と子の生活意識に関する調査」(内閣府)分析結果の貧困線を参考に、本市調査においては、問2の世帯人数(6ページ)、問28の可処分所得(65~66ページ)の回答より、世帯人員別の貧困層区分を設定しました。(図1)

それぞれの回答人数からみると、世帯人数及び可処分所得の回答のあった判定可能世帯(1,498件)のうち、貧困層世帯は12.8%(191件)となりました。世帯員についてみると、13.5%(6,540人のうち882人が該当)となっており、2016年国民生活基礎調査(2015年値)での「子どもがいる現役世帯(世帯主が18歳以上65歳未満で子どもがいる世帯)」の貧困率(12.9%)と同程度の割合となっています。

また、子どもの貧困率においても、本市の13.6%(2,951人のうち401人が該当)に対し、国では13.9%と、同程度の割合となっています。

図1：世帯人数ごとの貧困層となる区分ごとの回答人数

世帯人員	内閣府調査における貧困線	貧困層となる区分	1 100万円未満	2 100万円以上 200万円未満	3 200万円以上 300万円未満	4 300万円以上 400万円未満	5 400万円以上 500万円未満	6~11 500万円以上	12 わからない 無回答
2人	177万円	200万円未満	7	11	11	4	3	5	5
3人	217万円	200万円未満	7	20	34	40	60	110	63
4人	250万円	200万円未満	16	22	52	110	140	284	144
5人	280万円	300万円未満	9	20	32	47	65	155	88
6人	306万円	300万円未満	6	4	22	24	22	75	46
7人	331万円	300万円未満	1	1	4	10	22	23	31
8人以上	354万円	400万円未満	1	-	4	4	4	7	10
無回答			1	1	2	1	-	2	-



貧困層



非貧困層



判定不可

(2) 本市の貧困層の特徴

① 家族構成

ひとり親世帯（11 ページ）の該当率で貧困層と非貧困層での差が大きく、全体ではひとり親世帯が 7.3%、非貧困層では 4.9%となっているのに対し、貧困層ではひとり親世帯が 28.3%と 3 割近くを占めています。同居家族の状況（8 ページ）では、父親の同居割合が貧困層で低いことから、ひとり親世帯でも母子世帯での貧困層該当率が高いことが推測されます。

近くに子どもの預かりを頼める人の有無（9 ページ）をみると、非貧困層に比べて貧困層で子どもの預かりを頼める人の割合がやや低くなっており、さらに、ひとり親世帯では子どもの預かりを頼める人が「いない」人が約 3 割を占める結果となっています。

また、満足度の高い磐田市の子育て支援等サービス（78 ページ）では、最も満足度の高いサービスは「こども医療費の無料化」となっていますが、「幼稚園や放課後児童クラブなど、子どもを預かる施設の整備」において貧困層で 15.2%と、非貧困層（11.2%）に比べてやや高い割合となっています。子どもを一時的に預かる施設等へのニーズが高いことが推測されます。

② 子どもの生活状況

子どもの生活状況（15～23 ページ）では、子どもとの日常会話や園・学校に関する会話の頻度では大きな違いはみられなかったものの、一緒に遊ぶ時間や読み聞かせ、からだを動かす、テレビやDVDを見る時間では貧困層での頻度が少ない結果となりました。また、ひとり親世帯ではその差が大きく、一緒に遊ぶ時間や外出する時間、読み聞かせの時間などで頻度が少なくなっています。

また、小学校以上の子どもをもつ世帯での経験（33～40 ページ）では、家族旅行や子どもを塾・習い事に通わせることなどで「経済的にできない」が非貧困層に比べて貧困層で多くなっており、子どもの経験について貧困層と非貧困層で差があることがわかります。

③ 教育・進学

希望する子どもの進学先（25・26 ページ）について貧困層では、非貧困層に比べて「大学まで」が少ないのに対し、「高校まで」や「専修学校・各種学校まで」が多く、希望通りの学校まで進むかどうか（27 ページ）では、「思わない」が多くなっています。これは、ひとり親世帯でも同様の傾向となっており、希望通りの学校に進むと思わない理由（28 ページ）では、ひとり親世帯では「経済的な余裕がないから」が突出して多く、次いで「お子さんの学力から考えて」もその他の世帯に比べて高い割合となっています。

子どもの成績（30 ページ）では、貧困層で「遅れている」が約 2 割を占め、非貧困層（12.3%）に比べて多くなっています。子どもに関する悩み（52 ページ）でも、非貧困層では「しつけ」が最も多くなっているのに対し、貧困層では「学力・進学」が最も高くなっています。また、子育てで特に大変だと感じること（49・50 ページ）では「子どもの学力・学習習慣」が非貧困層に比べて貧困層で高くなっており、子どもの学習支援へのニーズが高いことが推測されます。

④ 保護者の状況

保護者の就業形態（43・44 ページ）をみると、父母ともに正社員・正規職員での就業率が非貧困層に比べて貧困層でやや低くなっています。最終学歴（47・48 ページ）をみると、非貧困層では父親は「大学まで」、母親は「高専、短大、専門学校等卒業」が最も高いのに対して、貧困層では父母ともに「高校卒業」が最も高くなっています。教育格差が経済格差に影響を与えていることが推測されます。また、父母の学歴の状況から、子どもの進学希望先の差についても影響を与えていることが推測されます。

生活意識（56～64 ページ）をみると、貧困層では、「自分自身の生活が充実している」、「将来に希望をもっている」、「ありのままの自分を認めてくれる人がいる」では、『あてはまらない』の割合が高く、「今の生活はつらいことの方が多い」、「働いても働いても生活が楽にならない」、「仕事と子育てで心身ともに余裕がない」、「いろんなプレッシャーに押しつぶされそうな気持ちになる」、「どこまでがんばればよいかわからない」では『あてはまる』の割合が高くなっており、保護者自身の自己肯定感が低い傾向がみられる結果となっています。

自身の生活の悩み（53 ページ）をみると、すべての項目で貧困層での割合が高い一方で、その相談先（54 ページ）では「相談しない、相談しなかった」が非貧困層に比べてやや高くなっています。相談しない理由（55 ページ）をみると、「相談しても事態は変わらないから」が高くなっており、相談窓口の周知とともに、相談が解決への第一歩であることの啓発が必要です。

IV 調査票

子どもの生活に関するアンケート

ご協力をお願い

磐田市では、子育てしやすい環境づくりや子どもたちの健やかな成長のため、子育て支援施策の充実に取り組んでいます。

このアンケート調査は、磐田の未来を創る子どもたちの健やかな成長を支え、将来の可能性をより高めるために、子どもの生活実態や家庭の状況を含めた子育て世帯の生活環境・経済状況をお聞きすることで、保護者の方のお声を施策に反映させていきたいと考え実施するものです。

ぜひ、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

平成 29 年 11 月

◆回答にあたってのお願い

- 磐田市内在住の、18 歳未満のお子さんがある世帯から無作為抽出を行い、3,000 人に調査票を配布しています。
- 名前をご記入いただく必要はありません。
- 答えたくない質問やあてはまらない質問には、お答えいただかなくても結構です。
- 質問文をお読みいただき、あてはまる番号を○で囲んでください。「1 つだけに○」「○は 3 つまで」「あてはまるものすべてに○」などの注意書きのとおりお答えください。「その他」を選ばれた場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問によっては、() 内に人数などを直接記入するものがありますのでご注意ください。
- この調査で「お子さん」とは、封筒の宛名に記載されているお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には、封筒の宛名に記載されているお子さんのことについてのみお答えください。
- お答えいただいた内容につきましては、この調査の目的以外に使用することはありません。また、調査結果はすべて統計的に処理され、個人が特定されることもありません。

回答後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れて返信（切手は不要）してください。

平成 29 年 11 月 17 日（金） までにご返信ください。

【お問い合わせ先】

磐田市こども部子育て支援課

電話：0538-37-4896 F A X：0538-37-4631

問 6 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(1つだけに○)

※この調査での「ひとり親世帯」とは、死別、離婚、未婚、別居などにより、現に配偶者のいない男性または女性が、18歳未満のお子さんを育てている世帯とします。

※単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居している場合は除きます。また法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も「ひとり親世帯」からは除かれます。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1 該当しない | 2 該当する(死別) | 3 該当する(離婚) |
| 4 該当する(未婚) | 5 該当する(別居) | 6 該当する(その他) |

宛名のお子さんのことについておたずねします。

問 7 お子さんの性別を教えてください。(1つだけに○)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問 8 お子さんの年齢を教えてください。

※平成 29 年 4 月 1 日現在の年齢で記入してください。

お子さんの年齢 () 歳

問 9 お子さんが現在通っている学校教育機関等を教えてください。(1つだけに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 未就園 | 2 保育園(こども園保育園枠を含む) |
| 3 幼稚園(こども園幼稚園枠を含む) | 4 児童発達支援事業所 |
| 5 小学校 | 6 中学校 |
| 7 高校 | 8 特別支援学校 |
| 9 フリースクール | 10 学校には行っていない |

問 10 お子さんが家にいるとき、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 父親 | 2 母親 |
| 3 祖父・祖母 | 4 兄弟姉妹 |
| 5 おじ、おばなど親族 | 6 近所の人・地域の人 |
| 7 その他() | |

問 11 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。

(それぞれ1つに○)

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない
お子さんとあいさつや日常会話を交わす	1	2	3	4	5
お子さんと一緒に遊ぶ	1	2	3	4	5
お子さんに絵本や本の読み聞かせをする	1	2	3	4	5
お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5
お子さんと一緒にからだを動かす	1	2	3	4	5
お子さんと一緒にテレビやDVDを見る	1	2	3	4	5
お子さんと学校や園の話をする	1	2	3	4	5
お子さんと一緒に料理をする	1	2	3	4	5
お子さんと一緒に外出をする	1	2	3	4	5

問 12 お子さんに、むし歯はありますか。(1つだけに○)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 ある(未治療) | 2 ある(治療中) | 3 あった(治療済) |
| 4 ない | 5 わからない | |

問 12-1 問 12で「1」と答えた方におたずねします。

治療していない理由は何ですか。(1つだけに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 治療に行く時間がない | 2 治療を受ける費用がない |
| 3 治療する必要がない | 4 その他() |
| 5 特に理由はない | |

問 13 お子さんの進学は、希望としては、どこまでを考えていますか。(1つだけに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 中学校 | 2 高校 |
| 3 短大 | 4 大学 |
| 5 大学院 | 6 専修学校・各種学校 |
| 7 その他 () | 8 特にな |

問 13-1 問 13 で「1～7」と答えた方におたずねします。

あなたは、お子さんが問 13 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------|
| 1 思う (⇒問 14 へ) | 2 思わない |
| 3 わからない (⇒問 14 へ) | |

問 13-2 問 13-1 で「2」と答えた方におたずねします。

その理由について教えてください(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 お子さんの希望と異なるから | 2 お子さんの学力から考えて |
| 3 経済的な余裕がないから | 4 勉強のサポートができないから |
| 5 その他 () | |

問 14 あなたから見て、お子さんが頼りにしていると思われる大人がいますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 父親 | 2 母親 |
| 3 祖父・祖母 | 4 おじ、おばなど親族 |
| 5 学校の先生 | 6 塾や習い事の先生 |
| 7 あなたの友人・知人 | 8 近所の人・地域の人 |
| 9 その他 () | 10 特にな |

<問 15～18 は、宛名のお子さんが小学生以上の方のみお答えください>

問 15 お子さんの成績は、学年の中でどれくらいですか。(1つだけに○)

1 成績良好	2 まあまあ良好
3 普通	4 やや遅れている
5 かなり遅れている	6 わからない

問 16 お子さんは、これまで不登校※になったことはありますか。(1つだけに○)

※ここでいう不登校とは年間 30 日以上欠席をする程度の状態を指します。

1 不登校経験なし	2 過去に不登校経験あり
3 現在不登校中	4 わからない

問 17 あなたの世帯では、過去 1 年間に、経済的な理由により、お子さんが学校の遠足や修学旅行に参加させることができないことがありましたか。

(1つだけに○)

1 よくあった	2 ほとんどなかった
3 ときどきあった	4 まったくなかった

問 18 あなたの世帯では、おおむね 1 年の間に、次のような経験をされたことがありますか。(それぞれ 1 つに○)

	している	していない	
		したくない	で経済的に
子どもを地域の少年団活動や学校の部活動に参加させる	1	2	3
子どものための本、服や靴を買う	1	2	3
子どもにこづかいを渡す	1	2	3
子どもを学習塾や習い事に通わせる	1	2	3
子どもが必要とする文具や教材を買う	1	2	3
子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげる	1	2	3
家族旅行(日帰りを含む)に行く	1	2	3

ここからは、全員におたずねします。

あなたとあなたの配偶者※のことについておたずねします。

※ここでの「配偶者」には、法律上婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある人も含みます。配偶者がいらっしゃらない場合には、配偶者についての質問はご回答いただかなくて結構です。

問 19 あなたとあなたの配偶者の年齢は現在おいくつですか。

(1) あなた	(2) あなたの配偶者
() 歳	() 歳

問 20 あなたとあなたの配偶者は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。

(それぞれ1つだけに○)

(1) あなた	(2) あなたの配偶者
1 している(1つの仕事をしている)	1 している(1つの仕事をしている)
2 している(複数の仕事をしている)	2 している(複数の仕事をしている)
3 していない	3 していない
	4 わからない

問 20-1 問 20で「1」または「2」と答えた方におたずねします。

あなたとあなたの配偶者の現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか。

(それぞれ1つだけに○)

※複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事の就業形態を教えてください。

(1) あなた	(2) あなたの配偶者
1 正社員・正規職員	1 正社員・正規職員
2 パート・アルバイト	2 パート・アルバイト
3 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員	3 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員
4 人材派遣会社の派遣社員	4 人材派遣会社の派遣社員
5 自営業主(商店主・農業など)	5 自営業主(商店主・農業など)
6 自家営業の手伝い	6 自家営業の手伝い
7 その他()	7 その他()

問 21 あなたとあなたの配偶者は、以下のような経験をしたことがありますか。
(それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) あなた	(2) あなたの配偶者
1 両親が離婚した	1 両親が離婚した
2 成人する前に母親が亡くなった	2 成人する前に母親が亡くなった
3 成人する前に父親が亡くなった	3 成人する前に父親が亡くなった
4 成人する前の生活は経済的に困っていた	4 成人する前の生活は経済的に困っていた
5 親から暴力を振るわれたことがある	5 親から暴力を振るわれたことがある
6 親と疎遠になっている(なっていた)	6 親と疎遠になっている(なっていた)
7 親の介護が負担になっている(なっていた)	7 親の介護が負担になっている(なっていた)
8 配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある	8 配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある
9 配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある	9 配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある
10 上記のいずれも経験したことがない	10 上記のいずれも経験したことがない
	11 わからない

問 22 あなたとあなたの配偶者の最終学歴は以下のうちどれですか。
(それぞれ1つだけに○)

(1) あなた	(2) あなたの配偶者
1 中学校卒業	1 中学校卒業
2 高校中退	2 高校中退
3 高校卒業	3 高校卒業
4 高専、短大、専門学校等中退	4 高専、短大、専門学校等中退
5 高専、短大、専門学校等卒業	5 高専、短大、専門学校等卒業
6 大学中退	6 大学中退
7 大学卒業	7 大学卒業
8 大学院中退	8 大学院中退
9 大学院修了	9 大学院修了
10 その他教育機関中退	10 その他教育機関中退
11 その他教育機関卒業	11 その他教育機関卒業
12 その他()	12 その他()
	13 わからない

あなたのことについておたずねします。

問 23 子育てをしていて特に大変だと感じることは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 子どもの健康管理・食生活の管理 | 2 子どもの生活態度・生活習慣のしつけ |
| 3 子どもの学力・学習習慣 | 4 反抗期や思春期の子どもへの接し方 |
| 5 保育料、学費にかかる費用 | 6 学習塾や習い事にかかる費用 |
| 7 将来の進学に向けた学資の準備 | 8 生活費全般の確保 |
| 9 子どもと一緒に過ごす時間の確保 | 10 仕事と子育ての両立 |
| 11 その他 () | 12 特にない |

問 24 お子さんに関する次のような悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| 1 発育・発達 | 2 病気・健康問題 | 3 しつけ |
| 4 友人関係 | 5 就園・就学 | 6 学力・進学 |
| 7 いじめ | 8 不登校 | 9 異性関係 |
| 10 その他 () | 11 特にない | |

問 25 あなたは、現在、ご自身の生活に関して、どのようなことについて悩んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|-----------|-----------|
| 1 生活費 | 2 子どもの養育費 | 3 仕事 |
| 4 住宅 | 5 健康 | 6 対人関係 |
| 7 自身の老後 | 8 家族 | 9 その他 () |
| 10 特に悩んでいることはない | | |

問 26 あなたは、問 24・25 の悩みをどなた(どこ)に相談していますか(しましたか)。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--------------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 |
| 3 職場の人 | 4 子どもの通う学校等 |
| 5 子どもの友達の親 | 6 子育てサークル・団体 |
| 7 NPOなどの民間の団体 | 8 民生委員・児童委員 |
| 9 インターネットの児童サイトやSNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) | |
| 10 公的な相談窓口 (市役所、子育て支援センター、こども相談室等) | |
| 11 その他 () | |
| 12 相談しない、相談しなかった | |

**問 26-1 問 26 で「12 相談しない、相談しなかった」と答えた方におたずねします。
その理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）**

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 信頼できる人がいないから | 2 理解してもらえないから |
| 3 最初からすべてのことを話すことが負担だから | 4 プライベートな話をするのが負担だから |
| 5 悩んでいることを知られたくないから | 6 相談しても事態は変わらないから |
| 7 時間がないから | 8 相談できる場所を知らないから |
| 9 その他（ | ） |

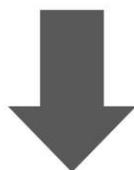
問 27 あなたの現在の生活意識について教えてください。（それぞれ1つに○）

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
現在、自分の生活は充実している	1	2	3	4	5
将来に希望をもっている	1	2	3	4	5
ありのままの自分を認めてくれる人がいる	1	2	3	4	5
今の生活はつらいことの方が多い	1	2	3	4	5
働いても働いても生活が楽にならない	1	2	3	4	5
仕事と子育てで、心身ともに余裕がない	1	2	3	4	5
いろんなプレッシャーに、押しつぶされそうな気持ちになる	1	2	3	4	5
いつもまわりの人の目が気になる	1	2	3	4	5
どこまでがんばればよいのかわからない	1	2	3	4	5

経済的な状況についておたずねします。

問 28 前年（平成 28 年）のあなたの世帯の手取り収入（いわゆる可処分所得^{かしょぶんしよとく}）の合計額は、およそいくらでしたか。世帯の収入から、税金や社会保険料の額を差し引いた後の額で教えてください。（1つだけに○）

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{手取り収入} \\ \text{かしょぶんしよとく} \\ \text{(可処分所得)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{収入 ※1} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{支払った税金や社会} \\ \text{保険料等の額 ※2} \\ \hline \end{array}$$



※1 収入は、働いて得た給料だけでなく、株式配当等の副収入、公的な援助や手当、養育費、仕送りを含めた額です。

※2 所得税、住民税、固定資産税、社会保険料、年金保険、介護保険などで支払った額です。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 100万円未満 | 2 100万円以上～200万円未満 |
| 3 200万円以上～300万円未満 | 4 300万円以上～400万円未満 |
| 5 400万円以上～500万円未満 | 6 500万円以上～600万円未満 |
| 7 600万円以上～700万円未満 | 8 700万円以上～800万円未満 |
| 9 800万円以上～900万円未満 | 10 900万円以上～1,000万円未満 |
| 11 1,000万円以上 | 12 わからない |

問 29 あなたのお住まいについてお答えください。（1つだけに○）

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 持家 | 2 借家（民間の賃貸住宅） |
| 3 市営・県営住宅 | 4 公社・公団（UR）賃貸 |
| 5 社宅 | 6 間借 |
| 7 その他（ | ） |

問 30 あなたの世帯では、どのような借入金がありますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1 住宅・土地購入のための借入金
（住宅ローン） | 2 車購入のための借入金 |
| 3 教育のための借入金
（返済が必要な奨学金を含む） | 4 生活費の補填のための借入金 |
| 5 レジャーのための借入金 | 6 その他（ |
| 7 借入金はない | ） |

問 31 あなたの生活は、現在、何でまかなわれていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 あなたの就労収入 | 2 配偶者の就労収入 |
| 3 その他の世帯員の就労収入 | 4 実家や親族からの支援 |
| 5 友人・知人からの支援 | 6 貯蓄の取り崩し |
| 7 財産収入(家賃等) | 8 公的な手当や助成金 |
| 9 遺族年金、保険金など | 10 失業保険 |
| 11 金融機関からの借り入れ | 12 元夫・元妻からの養育費 |
| 13 その他() | |

問 32 家計において負担を感じる経費は何ですか。(○は3つまで)

- | |
|---------------------------|
| 1 食費 |
| 2 住居費(家賃、住宅ローン 等) |
| 3 光熱水費 |
| 4 通信費(携帯電話、インターネット料金含む) |
| 5 交際費 |
| 6 教養娯楽費(レジャー、旅行代等含む) |
| 7 被服費・生活用品費 |
| 8 学校に関する教育費(保育料、学校給食費等含む) |
| 9 学校以外に関する教育費(塾代等含む) |
| 10 医療費 |
| 11 介護にかかる費用 |
| 12 交通費(自家用車等の維持費含む) |
| 13 保険料(生命保険など) |
| 14 税金 |
| 15 社会保険料 |
| 16 返済金(キャッシング・カードローン など) |
| 17 その他() |

問 33 あなたの世帯では、おおむね半年の間に、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 電気・ガスなどが止められた
- 2 クレジットカードが使いなくなった
- 3 国民健康保険料や国民年金の支払いができなかった
- 4 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いができなかった
- 5 家賃や住宅ローンの支払いができなかった
- 6 必要な食料が購入できなかった
- 7 新しい衣服や靴を買えなかった
- 8 新聞や雑誌が買えなかった
- 9 冠婚葬祭のつきあいができなかった
- 10 医療機関の受診ができなかった
- 11 理髪店や美容院に行けなかった
- 12 スマートフォンへの切り替え・利用を断念した
- 13 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した
- 14 趣味やレジャーに行けなかった
- 15 キャッシング・カードローンなどを利用した
- 16 その他（）
- 17 特になし

問 34 現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。(1つだけに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1 大変ゆとりがある | 2 ややゆとりがある |
| 3 普通 | 4 やや苦しい |
| 5 大変苦しい | |

問 35 磐田市で行っている子育てや子育て世帯に対する支援等について、あなたの満足度の高いサービスを選んでください。(○は3つまで)

- 1 子育て情報誌や子育てアプリでの情報発信
- 2 妊産婦や乳幼児健康診査、保健指導
- 3 保育園や放課後児童クラブなど、子どもを預かる施設の整備
- 4 幼稚園・保育園・こども園の就園にかかる費用
- 5 子育て支援センターなど、子どもの遊び場・居場所の整備
- 6 子どもに関する相談窓口
- 7 こども医療費の無料化
- 8 発達障がいなど子どもの発達に関する支援
- 9 その他 ()
- 10 特になし



問 36 子育てや子育て世帯に必要なまたは重要と思う支援は何だと思えますか。重要度の高いと思うものを選んでください。(○は3つまで)

- 1 子育てに関する情報発信の充実
- 2 妊産婦や乳幼児健康診査、保健指導などの母子保健体制づくり
- 3 保育園や放課後児童クラブなど、就労している方の子どもを預かる施設の整備
- 4 幼稚園・保育園・こども園の費用負担の軽減
- 5 子育て世代同士がつながりあえる環境づくり
- 6 幼児期の子育てに関して気軽に相談できる体制づくり
- 7 学齢期の子育てに関して気軽に相談できる体制づくり
- 8 子どもの見守りなど、地域で子どもを守っていく体制づくり
- 9 子どもの遊び場・居場所の整備
- 10 子どもが安心して医療機関を受診できる体制づくり
- 11 緊急・一時的に子どもを預かるサービス体制
- 12 病気や障がいのことなどについての専門的な支援
- 13 子どもの進学にかかる費用負担の軽減
- 14 多子世帯に対する経済的な支援
- 15 子育て世帯の住宅取得に対する支援
- 16 就労・転職など親の仕事に対する支援
- 17 児童への虐待に対する対策
- 18 その他 ()
- 19 特になし

* * * * *

磐田市 子育て世帯の生活に関する実態調査報告書

発行：平成 30 年 2 月

編集：磐田市こども部子育て支援課

〒438-0077 磐田市国府台 57-7 i プラザ

電話：0538-37-4896

FAX：0538-37-4631

* * * * *